

# 岩手県教育年報

平成25年度版

岩手県教育委員会

## 序

本県教育委員会は、教育委員会制度発足以来、毎年、教育年報を  
発刊し、本県教育の動向を把握して参りました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の発災から間もな  
く4年経とうとしておりますが、未だに教育活動が制限されてい  
る学校も多く、一日も早い学び舎の正常化が求められております。

このため、県教育委員会は、「いわての復興教育」、幼児児童生  
徒の心のサポートや児童生徒の安全で安心な教育環境の確保など学  
びの場の復興に向け、引き続き全力で取り組むとともに、「知・  
徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向け  
て、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」をもとに、学校教  
育、社会教育、生涯教育、文化芸術、スポーツの振興を図って参り  
ました。

この教育年報は、平成25年度における教育施策の概要や実績等を  
幅広く収録しております。

震災以来、本県の子どもたちに国内外の皆様方からいただきました  
数多くの御支援や励ましに対し、心から感謝申し上げますととも  
に、この年報が、教育に直接携わる方々はもとより、関係各位に広  
く御活用いただければ幸いです。

平成27年2月

岩手県教育委員会

教育長 高橋 嘉行

## 平成25年度版 岩手県教育年報について

岩手県教育委員会では、「いわて県民計画」（平成21年12月策定：計画期間 平成21年度～平成30年度）に掲げる教育政策のうち、教育委員会が所管する分野の今後10年間の基本方向について、より理解を深めるためのガイドラインとして、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定しました。

平成25年度版岩手県教育年報は、この「岩手の教育振興」の施策の体系を基礎として作成しています。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波からの復興に向けた取組については、冒頭に第1章として取りまとめました。

※ 被害状況及び平成24年度までの取組については平成22・23・24年度版「岩手県教育年報」をご覧ください。

# 目 次

## 第 1 章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

第 1 県教育委員会の取組	1
---------------	---

## 第 2 章 教育行財政

### 第 1 節 教育行政

第 1 平成25年度 岩手県教育委員会経営計画	5
第 2 岩手県教育委員会	17
第 3 表彰及び栄典	18

### 第 2 節 教育財政

[参考] 管理部門	24
[参考] 市町村教育委員会	26

## 第 3 章 教育施策の推進状況

### 第 1 節 社会の変化に対応する教育の推進

第 1 目標達成型の学校教育の推進	29
第 2 社会人として自立できる能力の育成	31
第 3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進	39
第 4 教員の適正配置	40
第 5 教員研修の充実	41
第 6 教員研究等の充実	44

### 第 2 節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第 1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成	46
第 2 学習面における基礎・基本の定着	46
第 3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進	48

### 第 3 節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第 1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	50
第 2 生活面における基礎・基本の定着	52
第 3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実	53

### 第 4 節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第 1 体力向上や運動に親しむ態度の育成	58
第 2 健康教育の充実	59
第 3 指導者の資質・授業力向上	63

### 第 5 節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

第 1 「就学指導」から「就学支援」へ	65
第 2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実	65
第 3 特別支援教育の理解促進	66
第 4 特別支援学校生徒の就労支援の充実	67

### 第 6 節 学校教育を支える教育環境の充実

第 1 県立高校の望ましい教育環境の整備	68
第 2 学校施設の耐震化の推進	73
第 3 修学資金の支援等	74

第4	教育環境の整備	79
<b>第7節</b>	<b>教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進</b>	
第1	学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり	86
第2	多様な体験学習の充実（学習機会の確保）	92
第3	地域の教育課題の解決・家庭教育の充実	95
<b>第8節</b>	<b>広がりと深まりのある生涯学習の振興</b>	
第1	多様な学習活動を支援する環境の整備充実	98
第2	生涯にわたる学習機会の充実	100
	（1 県立生涯学習推進センター）	107
	（2 県立図書館）	110
	（3 県立青少年の家）	114
	（4 県立博物館）	118
[参考]	県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）	125
<b>第9節</b>	<b>地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興</b>	
第1	文化振興基金を活用した支援等	127
第2	中学生・高校生に対する文化活動支援	138
第3	文化芸術による地域振興体制づくりへの支援	142
<b>第10節</b>	<b>郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産と伝統文化の振興</b>	
第1	世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用	143
第2	伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	145
<b>第11節</b>	<b>生涯スポーツの振興</b>	
第1	運動・スポーツに親しむ人々の広がり	151
第2	運動・スポーツに親しめる場の広がり	152
第3	ネットワークの広がり	158
<b>第12節</b>	<b>競技スポーツの強化</b>	
第1	中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成	159
第2	競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援	160
第3	広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援	161
第4	スポーツ医・科学サポート体制の充実	161
[参考]	各県営施設で開催された主な競技会・イベント等	162

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

第1	短期給付事業	163
第2	長期給付事業	163
第3	厚生福利事業	164
第4	貸付事業	165
第5	宿泊施設	165

### 第2節 教職員互助会

第1	短期給付事業	166
第2	長期給付事業	166
第3	厚生福利事業	166
第4	特別弔慰積立事業	168

第5 貸付事業 .....	168
---------------	-----

[参考資料]

1 県教育委員会機構図 .....	169
2 県教育委員会が所管する附属機関の委員 .....	170
3 県教育委員会会議 .....	172
4 県教育委員会関係主要行事 .....	174
5 私立学校 .....	176
6 県教育委員会が所管する公益法人・公益信託等 .....	178
7 県教育関係諸団体 .....	180

## 第1章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

### 第1 県教育委員会の取組

#### 1 きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

##### (1) 大震災津波体験を踏まえた「いわての復興教育」の推進

- ・「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動を推進するために、平成25年度の「復興教育推進校」（小学校33校、中学校32校、全ての県立学校）を指定し、特色ある復興教育の取組を支援するとともに、その事例を県教育研究発表会で普及した。
- ・平成25年2月に作成した「いわての復興教育」プログラム【改訂版】に基づく児童生徒用の副読本と教師用手引きの作成に取り組んだ。
- ・実践的な防災教育を推進し、児童生徒が自然災害の危険に際して、自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」の育成や児童生徒が安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上を図る取組に対して支援を行った。
- ・県総務部総合防災室と連携し、地域と連携した防災教育研修会を開催した。

##### (2) 臨床心理士の被災校への派遣による幼児児童生徒の心のサポート

###### ア 教員研修の実施

- ・15種類の研修パッケージを作成し、教育事務所、各市町村の研修会及び校内研修を実施した。

###### イ 人的支援等

- ・平成25年4月から、広域を巡回するカウンセラーとして、沿岸南部教育事務所に6名、宮古教育事務所に3名、県北教育事務所に2名計11名の臨床心理士を被災地に常駐させ、サポート体制を強化した。

###### ウ 心とからだの健康観察

- ・平成25年9月に、平成23・24年度と同様の内容による「心とからだの健康観察」を実施し、平成26年1月に県の集計結果を公表した。
- ・平成26年3月には地域別、市町村別のデータを取りまとめ、市町村教育委員会、各学校へフィードバックを行った。

##### (3) 学校施設の復旧整備

- ・平成25年度は、県立学校の被害校のうち宮古高校のヨット部室の災害復旧を完了したほか、高田高校の第一体育館新築工事を完了した。

##### (4) 被災児童生徒の学習支援等のための加配教員の配置

- ・平成25年度は、平成23、24年度に引き続き、文部科学省に加配を申請し、要望通り加配（小中学校教員200人、県立学校37人）が認められ、加配教員を配置した。

##### (5) 「いわての学び希望基金」を活用した給付型奨学金制度

- ・東日本大震災津波により著しい被害を受けた幼児、児童、生徒、学生等の就学の支援、教育の充実等のための事業に要する経費の財源に充てるために設置した「いわての学び希望基金」を財源として、被災により親権者を失った児童生徒及び学生に対し、返還不要の奨学金を給付し、就学援助を行った。
- ・平成25年度における奨学給付金決定児童・生徒・学生数 519人（平成26年3月31日現在）

(6) 「いわての学び希望基金」を活用した教科書購入費等給付事業

- ・被災した高校生の高等学校における就学の支援を目的として、「いわての学び希望基金」を活用した教科書購入費等給付事業により、教科用図書購入費、制服購入費及び修学旅行費の全部又は一部の給付を実施した。

(7) 被災高校生を対象とした奨学金制度

- ・(財)岩手育英奨学会を通じ、新たな奨学金制度「タイプC〈東日本大震災津波等特例採用〉」により、東日本大震災津波により被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援した。

【無利子であるほか、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込み額が一定額に満たない場合、願出により返還義務を一括免除】

○貸与月額 18,000円～35,000円

○奨学金貸与生徒数 222人（平成26年3月末現在）

(8) 教職員の心と体のケア

- ・平成25年度も保健師2名、看護師1名による教職員に対する健康相談や面談を継続して実施した。

2 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

(1) 被災市町村における文化施設の復旧支援

- ・公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する10施設のうち、7施設の工事が終了した。（平成26年3月末現在）

(2) 被災市町村における埋蔵文化財発掘調査支援

- ・平成24年度から、復興事業の進捗に伴う埋蔵文化財調査の増加に対応するため、埋蔵文化財担当職員を4名から9名に増員し、平成25年度は、文化庁等の調整により、県教委には他道府県からの専門職員8名、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターには他財団からの専門職員3名の他、市町村教委には県内外市町村からのべ17名の専門職員の派遣を受入れた。
- ・沿岸市町村支援として、平清水Ⅲ遺跡（野田村）、和野Ⅰ遺跡（田野畑村）、腰廻館跡（岩泉町）、割畑沢遺跡（山田町）、片岸貝塚（釜石市）の発掘調査について、当該市町村教委の支援を実施した。

(3) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地児童生徒文化活動支援事業の創設

- ・小学校、中学校及び高等学校の文化芸術活動の振興を図るとともに、被災した児童生徒を支援するため、いわての学び希望基金を活用した被災地児童生徒文化活動支援事業により、各種大会等に参加するための旅費の補助を実施した。

(4) 被災地域の歴史資料や文化財等の修復・保存

- ・「文化財レスキュー」として、国の被災文化財等救援委員会や県文化振興事業団や市町村の協力を得ながら、被災した陸前高田市、釜石市、宮古市等の文化財の保全を実施した。

## 第1章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

### 第1 県教育委員会の取組

【岩手県立博物館における主な被災文化財等の救援状況】

市町村	機関・施設	資料	措置内容
陸前高田市	市立図書館	岩手県指定文化財吉田家文書及び関連資料等	救出、安定化处理
	海と貝のミュージアム 他	貝類標本 他	救出、安定化处理 他
大船渡市	教育委員会	絵図	安定化处理
釜石市	教育委員会	古文書、軸物	安定化处理
	教育委員会	民具	収蔵庫内及び収蔵資料洗浄
大槌町	教育委員会	絵図及び古文書	安定化处理
		土器	救出
山田町	山田町	海藻標本	安定化处理のための技術指導及び一部保管
	教育委員会	古文書及び書簡類	安定化处理
宮古市	市役所・市民文化会館	絵画	乾燥、くん蒸
	教育委員会	森合家調度品	乾燥、くん蒸

#### (5) 県立図書館による震災関連資料の収集及び公開

- ・岩手県立図書館において収集した震災関連資料を公開する「震災関連資料コーナー」を平成24年4月1日に設置し、平成25年度においても継続して設置した。

### 3 社会教育・生涯学習環境の整備

#### (1) 被災市町村における社会教育施設の復旧支援

- ・公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する60施設のうち、33施設の工事が完了した。（平成26年3月末現在）

#### (2) 「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の推進

- ・東日本大震災津波により急務となった沿岸被災地の「地域コミュニティの再生」や、これまでの潜在的な地域課題に対して、4つの事業【①教育振興運動・家庭教育支援事業②放課後子ども教室推進事業③学校支援地域本部事業④中高生の学習支援事業】を国庫補助事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施した。
- ・教育振興運動としては17市町村302活動、家庭教育支援事業としては8市町村144講座を実施し、地域課題の解決を図った。
- ・放課後子ども教室推進事業では、22市町村が117教室を開設し、放課後の子どもの居場所づくりを推進した。
- ・学校支援地域本部事業では、18市町村で43本部を設置し、地域コーディネーター等が学校支援ボランティアの活動を推進した。
- ・中高生の学習支援は、大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石市、宮古市、田野畑村の17箇所において、教育委員会やNPO等の団体が児童生徒の学習の場づくりを行った。390名の生徒が登録・参加し、大学生や地元塾講師、教員経験者等が講師として学習をサポートした。

### 4 スポーツ・レクリエーション環境の整備

#### (1) 被災者の健康づくりサポート

- ・平成24年度から、被災者の健康づくりサポートのため、アスレチックトレーナーを被災地に派遣し、健康相談、トレーニングやコンディショニングの指導を行うアスレチックトレーナー派遣事業を実施し、平成25年度は、延べ34回開催した。

#### (2) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地生徒運動部活動支援事業の創設

- ・中学生及び高校生の体育・スポーツの振興と競技力の向上を図るとともに、被災した生徒を支

援するため、平成24年度に創設した「いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業」を平成25年度も実施し、県大会及び東北大会等に出場するための旅費を補助した。

## 5 学校における放射線量の調査と低減措置等

### (1) 放射線量低減に向けた取組等

- ・引き続き放射線の影響等を把握し生徒の安全を確保する必要があることから、教育事務所等に配置したサーベイメーター（7台）により、定期的に（月1回程度）各学校において教職員等が空間線量率の測定を行い、測定結果をHPで公表した。
- ・市町村立学校については、設置者である市町村において学校等における放射線量の測定及び除染を行い、事業に要する経費については、県（環境生活部）が市町村等への助成制度により支援を行った。

### (2) 学校給食に対する取組

- ・学校給食のより一層の安全・安心を確保する観点から、学校給食を自校調理で実施している県立学校（特別支援学校8、夜間定時制高等学校3）において、放射性物質濃度の測定を行い、測定結果をHPで公表した。
- ・提供後給食の学校給食における放射性物質の有無や量について調べるモニタリング検査を国の委託事業により県内5施設（市町村4、県立学校1）で実施し、結果をHPで公表した。

## 6 国への要望等

年月日	内 容
平成25年 6月26日	知事から政府等に対し「東日本大震災津波に関する要望」を実施。
10月16日	東北6県合同（本県は教育長対応）で政府等に対し「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による東北復興への波及について」の要望活動を実施。

## 第2章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成25年度 岩手県教育委員会経営計画

東日本大震災津波による未曾有の被害を受けた本県の復旧・復興の担い手は子どもたちです。子どもたちが、岩手の未来を切り拓き、変容する社会の中を生き抜く力を身に付けるうえで、教育の果たす役割は極めて大きいものがあります。また、県民の教育に対する関心、期待はますます多様化、高度化しています。

このため、教育委員会は、「いわての復興教育」、幼児児童生徒への心のサポートや児童生徒の安全で安心な教育環境の確保など学びの場の復興に向け、引き続き全力で取り組むとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」をもとに中長期的展望に立ち、学校教育の施策の重点化を図りながら、時代のニーズに的確に対応し、社会教育、生涯学習、文化芸術、スポーツの振興を図っていくものです。

今年度は、特に、いじめ問題への対応など命を大切に教育の充実、地域連携型の防災教育の推進など、直面する学校教育の課題に積極的に取り組むほか、平成28年に本県で開催される「希望郷いわて国体」に向けた取組を行います。

いうまでもなく、教育行政を推進するに当たり県民の理解、協力が得られる前提となるのは「信頼」です。全ての教職員が教育に携わる職員としての倫理観、使命感の意識醸成に努め、あらゆる機会をとらえてコンプライアンスの徹底を図り、教職員一人ひとりの自覚と行動によって不祥事の未然防止に向けて取り組むことにより、県民の信頼を確固たるものとするとともに、教育に対する期待に応えていかなければなりません。

#### ◆震災からの教育の復興

##### I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

〔重点事項〕 いわての復興教育の推進

幼児児童生徒の心のサポートの充実

児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

今回の東日本大震災津波を乗り越え、未来を創造していくために、10年後、20年後の岩手の復興・発展を担い得る子どもたちを育成することが、今後の岩手の教育に課せられた使命であり、いわての復興教育を県下全体で取り組むことは、本県の教育推進において大きな意義をもつものと考えます。

また、被災した幼児児童生徒一人ひとりの心のサポートや、きめ細かな対応をするための体制の充実に継続的に取り組むとともに、東日本大震災津波等により被災した県立学校施設の復旧整備や耐震性を向上するための補強工事等を実施し、安全で安心な教育環境の充実に努めます。

さらに、被災によって親を失った児童等が安心して学業に専念できるよう、就学支援を行います。

## 1 いわての復興教育の推進

### (1) 「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動の推進

- ・「いわての復興教育」プログラム（改訂版、H25.2）に基づき、より充実した復興教育が全県共通理解のもとに行われるよう、市町村教育委員会と連携しながら各学校の取組を進めます。
- ・推進校の事例を実践事例集や研修会、Web ページ等で普及し、復興教育の充実が図られるよう支援します。また、内陸地区で推進校を増やして、プログラムに基づく特色ある教育活動の実践事例等を収集し、市町村教育委員会と連携しながら、各学校への情報提供を進めます。

### (2) 「いわての復興教育」副読本の作成と活用方法の周知

- ・東日本大震災津波の体験を踏まえ、災害の知識や身の守り方、復興における自分自身の役割、地域とのかかわり方などを総合的に学ぶ「いわての復興教育」プログラムと連動した副読本を作成し、その活用方法を周知します。

### (3) 地域と連携した防災教育の推進

- ・学校防災体制を確立し、児童生徒が自然災害の危険に際して、自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」の育成に取り組みます。
- ・地域全体で防災に対する意識を高め、安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上を図ります。

## 2 幼児児童生徒の心のサポートの充実

- ・東日本大震災津波による被害が大きかった地域の子どもたちの心のサポートに引き続き取り組みます。
- ・臨床心理士等の派遣や専門家で構成する県内大学チームによる支援を継続します。
- ・「心とからだの健康観察」の結果を詳細に分析し、経年による変化を踏まえた「こころのファイル」の作成・活用等を行うことで、中長期にわたる支援を進めていきます。

## 3 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

### (1) 被災した学校施設の復旧整備

- ・甚大な被害を受けた県立高田高等学校について、建築工事に着手し、平成 26 年度末までの校舎、体育館等の主要施設の完成を目指し、計画的に整備を進めます。
- ・市町村立学校について、各市町村の復興計画等を踏まえ、学校施設の早期復旧整備が図られるよう支援します。

### (2) 県立学校施設の耐震化

- ・岩手県耐震改修促進計画に基づき、平成 27 年度末までに耐震化率 100%を目標とし、学校施設の耐震化に着実に取り組みます。

### (3) 県立学校施設の整備

- ・教育環境の向上を図るため老朽化施設の改修を進めるとともに、花巻農業高等学校の増築について、計画的に整備を進めます。

### (4) 学校における放射線対策

- ・県立学校に通学する児童生徒の被ばくに対する不安を軽減するため、放射線の空間線量率を定期的に測定し、低減措置が必要な箇所があった場合は、速やかに土壌等の除染作業を実施します。
- ・学校給食を実施する県立学校で食材及び提供後給食等の放射性物質濃度測定を実施するととも

に、測定機器を保有しない市町村等からの依頼に応じた測定を行うなど、引き続き学校給食食材に対する安全安心の確保に努めます。

(5) 被災により親や生活基盤を失った児童生徒への支援

- ・「いわての学び希望基金」を活用し、被災により親を失った児童生徒に対して奨学金を給付する取組を継続します。
- ・「いわての学び希望基金」を活用し、生活基盤を失った高校生に対して教科書・制服・修学旅行経費を支援する取組を継続します。

(6) 被災児童生徒の心のサポート及び学習支援等のための加配教員の配置

- ・児童生徒の心のサポート及び学習支援等に対応するため、教職員の加配が必要な小・中学校及び県立学校に対し、引き続き加配教職員を配置します。

(7) 教職員の健康管理

- ・教職員の心と体のケアを支援するための取組を推進します。

(8) 特別支援学校卒業生の就職支援

- ・東日本大震災津波被害の大きい沿岸部の特別支援学校における現場実習や就職支援を強化するため、職業指導支援員を配置します。

(9) 児童生徒の学習支援等を行う居場所づくりの推進

- ・被災地における児童生徒等の学習環境を保障するため、放課後及び週末等における学習支援等を行う居場所づくりを推進します。

II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

〔重点事項〕 被災地における文化芸術活動の再興

復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援

被災文化財の救出及び保存・管理支援

被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

東日本大震災津波からの早期の復興を図るための開発事業に係る埋蔵文化財調査を推進するとともに、文化芸術活動の復興を図るため、文化芸術施設等の機能回復を支援します。

また、被災地の貴重な文化財の修復・復元や民俗芸能活動などの復興を支援します。

(1) 被災地における文化芸術活動の再興

- ・被災した文化芸術施設の機能回復を支援します。
- ・被災地で優れた文化芸術鑑賞機会を確保するとともに、文化芸術活動の早期再興を支援します。

(2) 復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援

- ・被災地の国・県復興関連開発事業に伴う埋蔵文化財調査を推進します。
- ・市町村の復興関連埋蔵文化財調査について支援します。

(3) 被災文化財の救出及び保存・管理支援

- ・被災地から救出した文化財や美術品等が修復され、適切な保存・管理がなされるよう積極的に支援します。

(4) 被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

- ・「いわての学び希望基金」を活用し、被災した児童生徒の文化活動の大会への参加支援に取り

組みます。

### Ⅲ 社会教育・生涯学習環境の整備

#### 〔重点事項〕 社会教育施設の復旧支援

##### 地域コミュニティの再生支援

##### 教育振興運動の充実と生涯学習ネットワークの形成

大震災津波により被災した、社会教育及び生涯学習の推進拠点である社会教育施設の機能回復の支援を行うとともに、地域人材の活用等により、子どもを中心とした地域活動及び地域住民の学習・交流機会を設け、地域コミュニティの再生を支援します。

#### (1) 社会教育施設の復旧支援

- ・被災した市町村の社会教育施設の復旧・再開を支援します。

#### (2) 地域コミュニティの再生支援

- ・国事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用し、市町村の社会教育事業の推進を支援します。

#### (3) 教育振興運動の充実と生涯学習ネットワークの形成

- ・教育振興運動推進方針に「復興教育」を位置付け、学校教育との連携により運動の充実を図ります。
- ・復興へ向けた取組を通じ、生涯学習ネットワークの形成を支援します。

### Ⅳ スポーツ・レクリエーション環境の整備

#### 〔重点事項〕 スポーツ・レクリエーション環境の整備

##### 被災生徒の運動部活動の大会等への参加支援

スポーツ・レクリエーション活動の早期の復興を図るため、拠点となる施設の機能回復の支援や各地域のスポーツ活動、健康づくりの再生支援を行うとともに、各種競技大会等への参加機会を確保するための支援を行います。

#### (1) スポーツ・レクリエーション環境の整備

- ・被災市町村や団体等の実情とニーズに応じ、スポーツ・レクリエーション活動の推進体制の整備等を支援します。
- ・自校のグラウンド等で体育授業や運動部の活動が十分に行えない学校に対して、限られた状況でもできる運動プログラムや活動の場を提供するなどの支援を行います。

#### (2) 被災生徒の運動部活動の大会等への参加支援

- ・「いわての学び希望基金」を活用し、被災した生徒の運動部活動の県大会及び東北大会等への参加支援に取り組みます。

### ◆いわて県民計画「第2期アクションプラン」の着実な推進

#### I 学校教育の充実

##### 〔重点事項〕 目標達成型学校経営の推進

## 児童生徒の学力向上、授業改善の推進と家庭学習の充実

## 中学校教育の充実強化

## キャリア教育の充実

## 豊かな心を育む教育の推進

## 特別支援教育の充実

学校教育の根幹である学習面の基礎・基本を確実に定着させるとともに基本的な生活習慣や規範意識の確立を通して社会人になるということの意義を教えることは不易であり、最も大切なことです。

また、同時に、子ども一人ひとりの個性や特性等にきめ細かに対応し、小学校、中学校、高等学校の各段階を一連の流れから捉えて、その能力の伸長を図ることが求められます。

さらに、平成25年度は、全ての学校種、全ての教科で新学習指導要領が適用され、改訂の趣旨を踏まえた学習活動の充実が求められます。

## 1 教育推進に関する諸計画の一体的な推進

「いわて県民計画」においては、「岩手の未来を担う子どもたちを育てるひとつづくりは、長期的な視点で取り組んでいくことが必要」と明記されていることも踏まえ、次に掲げる教育施策に関する諸計画を中心に、義務教育、高等学校教育、特別支援教育等の各プランの連携、整合をとりながら、一体的な推進を図っていくものです。

また、平成28年度から導入する公立高校の新入試制度について、周知を図っていきます。

## \* 教育推進に関する諸計画体系

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| ● いわて県民計画                    | (H21. 12 策定 H21～H30) |
| ● いわて県民計画第2期アクションプラン         | (H24. 2 策定 H23～H26)  |
| ● 岩手県東日本大震災津波復興計画            | (H23. 8 策定 H23～H30)  |
| ● 岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画（第1期） | (H23. 8 策定 H23～H25)  |
| ○ 岩手の教育振興                    | (H22. 3 策定 H21～H30)  |
| ○ これからの岩手の義務教育               | (H21. 3 策定 概ね10年間)   |
| ○ 今後の高等学校教育の基本的方向            | (H22. 3 策定 概ね10数年間)  |
| ・ 第二次県立高等学校整備計画              | (時期未定)               |
| ○ いわてキャリア教育指針                | (H22. 3 策定)          |
| ○ 新しいわて特別支援教育推進プラン（仮称）       | (H25. 12 策定予定)       |
| ○ 岩手県子どもの読書活動推進計画（第2次）       | (H21. 6 策定 H21～H25)  |
| ○ 「いわての復興教育」プログラム            | (H24. 2 策定 H23～H27)  |

## 2 家庭・地域との協働による学校経営の推進

## (1) 目標達成型の学校経営の推進

・各学校が、校長のリーダーシップのもと、全教職員の参画によりそれぞれの学校経営計画を策定し、設定した目標や具体的な取組等の達成状況や進め方などについて自己評価を行い、その結果と改善の状況等について保護者や地域等に対して広く公表、報告する取組を引き続き進めます。

## (2) 学校と家庭・地域の協働の推進

- ・自己評価の結果について、保護者や学校評議員、地域住民などの学校関係者が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて評価する学校関係者評価の実施率向上とその公表に一層取り組みます。
- ・各小・中学校は、地域の実情に応じながら、いわて型コミュニティ・スクールの取組の充実を図っていくとともに、家庭学習の充実や読書活動の推進等について、いわて型コミュニティ・スクールと教育振興運動の目標の共有化を図るなど、教育振興運動と連携した取組を一層進めます。

(3) 学校経営における組織力の向上

- ・各学校が、じっくり子どもにかかわり、創意工夫ある教育活動を行えるよう、教員の多忙化解消の観点から仕事をしやすい環境整備、仕組みづくりに取り組みます。
- ・主幹教諭の配置校を拡大し、主幹教諭を活用した学校の諸課題の解決に向けた体制整備を推進します。

(4) 児童生徒の居場所づくりの推進

- ・地域の人材を活用した放課後の安全で安心な児童の居場所づくりを推進します。

3 児童生徒の学力向上

(1) 「わかる授業」のための授業改善の推進

- ・明確な学習課題の提示と児童生徒の定着を把握する場面を設定した授業の展開など、より分かりやすい授業への改善を進めます。
- ・教員相互が授業を参観するなど、校内での授業力を向上させるような研修の充実を図ります。
- ・授業改善を推進するために、指導主事等が訪問指導等を行い、学校の取組を支援します。

(2) 家庭学習の充実

- ・授業内容の理解を促進するための授業と連動した家庭学習に取り組むことや教育振興運動と連携して取り組むことなどにより、家庭学習の充実を図ります。

(3) 数学（算数）・英語の学力向上

- ・各学校が、それぞれの実態に応じた学力向上の目標を設定し、その目標を達成するための小・中・高等学校での指導の連続性の確保、効果的な改善策の策定や授業改善に係る指導・助言など、学校、市町村、県等の取組の連携を強化することにより、数学（算数）・英語の学力向上を図ります。

(4) 特色ある教育課程の編成

- ・学習指導要領の趣旨等の周知を図りながら、全ての学校がそれぞれの実態と特色等を十分考慮した教育課程を編成し、充実した教育活動が展開できるよう支援します。
- ・岩手の歴史、文化等を学ぶ教育や情報教育、環境教育、放射線教育、国際理解教育等の特色ある教育課程を通じて、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、変化の激しい社会を生きる人間として必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学ぶ態度を養います。

(5) 少人数学級の推進

- ・地域や学校の実情に応じた学級編制に係る市町村裁量の拡大に適切に対応しながら、小学校1年生、2年生及び中学校1年生に加え、選択制による小学校3年生での35人以下学級を実施し、児童生徒一人ひとりに目の届く環境を整え、基礎学力の向上を図ります。

(6) 中学校における学校生活サポートの充実

- ・中学校において、生徒の学習定着上の課題や生徒指導上の諸課題に対応するため、引き続き、必要な学校に教員の日常の活動を支援する経験豊かな非常勤講師等を配置します。

#### 4 キャリア教育の充実

##### (1) 発達段階に応じたキャリア教育の充実

- ・各学校において、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」に基づき「キャリア教育全体計画」を作成し、学校教育活動全体で小・中・高等学校の発達段階に応じた計画的・組織的なキャリア教育に取り組むことにより、児童生徒が将来、社会人、職業人として自立できるための「総合生活力」<sup>※1</sup>と「人生設計力」<sup>※2</sup>を育成します。

##### (2) 社会への接続支援

- ・生徒一人ひとりの多様な進路希望の達成と、将来の本県を支える人材育成に向けた各高等学校の取組を進めます。
- ・教員を対象とした、企業等の見学や企業人の講話等を中心とした実践的な研修会を実施するなど、産業界と協働して岩手の求める人材を育成する取組を進めます。

※1 総合生活力：児童生徒が将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力

※2 人生設計力：児童生徒が主体的に人生計画を立て、進路選択をし、決定できる能力

#### 5 豊かな心を育む教育の推進

##### (1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

- ・各学校の道徳教育全体計画の中で、道徳教育推進教師を中心とした組織や役割を明確にした推進体制を確立して、道徳教育の充実に取り組みます。
- ・小・中・高それぞれの校種に応じて作成した道徳資料集を活用した道徳教育の推進を図ります。
- ・学校教育の中にボランティア活動などの体験活動や自然体験活動、文化芸術体験活動、読書活動などを位置付けながら豊かな心を育む教育の充実を図ります
- ・教員の学級経営・ホームルーム経営の充実を図り、児童生徒の理解を進め、好ましい人間関係づくりや規範意識の醸成に取り組みます。

##### (2) 教育相談機能の充実

- ・学校不適応の未然防止、早期発見・早期対応のためにスクールカウンセラーを配置するなど児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進するとともに、学校心理士の資格を有する教員を養成し、児童生徒の教育相談体制の充実を図ります。

##### (3) いじめ根絶に向けた取組の推進

- ・いじめ問題の根絶に向け、様々な機関の専門家が参画する専門会議を設置して、実践的研究指定校の取組を支援するとともに、教員研修の充実を図り、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう関係機関と連携した取組を推進します。

#### 6 健やかな体を育む教育の推進

##### (1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

- ・各種研修や指導主事の学校訪問指導により、体力向上に取り組みます。
- ・小学校体育実技アシスタントの派遣等により、体育授業の充実を図ります。
- ・専門的な指導者を必要とする学校へ地域のスポーツ指導者を派遣し、運動部活動の活性化を図ります。

(2) 家庭と連携した健康教育の充実

- ・児童生徒の自律的な健康づくりに取り組む姿勢と能力を育成し、健康な生活を自ら送ることができるように、関係機関・地域・家庭と連携して、教員・児童生徒に対する研修等を一層推進します。
- ・児童生徒の肥満及びやせ傾向や運動習慣、体力低下などの課題解決に向けて、岩手県食育推進計画等をもとに関係部局との連携を図りながら、地域・家庭とともに生活習慣の改善や食育の充実を図ります。

7 特別支援教育の充実

(1) 「新しいわて特別支援教育推進プラン」（仮称）の策定

- ・「共に学び、共に育つ教育」を理念とした新プラン（計画期間：H25～30）を策定します。
- ・策定にあたっては、パブリックコメントの実施等により、広く県民の声を聴取し、その結果を反映していきます。

(2) 就学前及び小・中・高等学校における特別支援教育の充実

- ・地域の幼稚園や保育所を継続的に訪問し、指導方法に関する相談や支援を行います。
- ・研修や相談等を通じて、通常の学級及び特別支援学級における「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づく指導の充実を図ります。
- ・市町村教育委員会への支援体制の整備や高等学校への特別支援教育の体制づくりを進めます。

(3) 特別支援学校における教育の充実

- ・特別支援学校と小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習を推進します。
- ・特別支援学校におけるキャリア教育を充実し、小学部から高等部まで継続性のある指導ができるよう研究、研修の充実に努めます。

(4) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

- ・特別支援教育ボランティアの養成や活用などにより、県民への啓発活動に取り組みます。

(5) 特別支援学校卒業生の就職支援

- ・公的機関における現場実習の受入れの促進や、特別支援学校についての理解浸透を図るため県内各地域において企業との連携協議会を設置し、現場実習や就職支援を強化します。

II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

〔重点事項〕 教育振興運動の充実

家庭教育の充実

中学生・高校生の読書活動の推進

学習活動を支援する環境の充実

社会教育施設におけるサービスの向上

学校、家庭、地域住民等の連携協力による社会教育の充実に取り組みます。

また、県民の学習意欲や学びの成果が地域で生かされる生涯学習の環境づくりを推進します。

(1) 教育振興運動の充実

- ・運動の理念の定着及び運動推進の改善に取り組むとともに、いわて型コミュニティ・スクールとの連携による全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）に継続して取り組

みます。

(2) 家庭教育の充実

- ・「本県における家庭教育支援の在り方に関する提言」（H24.6 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議）を受け、家庭教育や子育てについての悩みを抱え、孤立しがちな保護者と地域とを結びつけ、地域全体で子育てを支援する体制づくりに取り組みます。
- ・学習情報の提供や相談体制の充実を図ります。

(3) 読書活動の推進

- ・児童生徒の読書活動の現状と「岩手県子どもの読書活動推進計画（第2次）」（いわて子ども読書プラン 2009）の成果と課題を踏まえ、次期プラン（計画期間：H26～30）を策定します。
- ・学校教育との連携により、『いわての中高生のためのおすすめ図書100選』を活用した中高生の読書活動を推進します。

(4) 学習活動を支援する環境の充実

- ・生涯学習情報の収集・提供、地域人材の研修機会の充実を図り、生涯を通じた学びの環境づくりに向けた取組を進めます。
- ・本県において開催される「全国生涯学習ネットワークフォーラム 2013」を通じ、復興に係るネットワークの構築と生涯学習を通じた地域づくり・社会づくりに努めます。

(5) 社会教育施設におけるサービス向上

- ・県立社会教育施設（図書館、博物館、美術館及び青少年の家）における県民サービスの向上に努めます。
- ・市町村社会教育施設における社会教育事業の推進支援により、県民の多様なニーズに適切に対応した生涯学習の振興を図ります。

Ⅲ 文化芸術の振興

〔重点事項〕 地域における文化芸術活動の支援

世界遺産登録の推進

文化財の保存と継承

文化芸術は、地域の「ゆたかさ」や「ひと」を育むものであり、県民が郷土に誇りや愛着を持ち、地域に伝わる歴史、文化等の理解を深めるとともに、地域の特色ある文化芸術が暮らしに根付くよう取組を進め、その継承と振興を図ります。

(1) 岩手県文化芸術振興指針の推進

- ・文化振興基金の効果的な活用を図りながら、地域の特色ある文化芸術をテーマとした住民参加型のまちづくりや新進・若手芸術家等を支援します。
- ・文化芸術情報の発信を推進します。

(2) 世界遺産登録の推進

- ・世界遺産に登録された「平泉の文化遺産」については、適切な保存管理と普及啓発を推進しつつ、「拡張」による追加登録に向けた取組を進めます。
- ・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」については、関係自治体と連携し、共同で世界遺産登録に向けた取組を推進します。

(3) 文化財の保存・管理

- ・文化財の保存・管理を進めるとともに、文化財指定を推進します。

#### IV 豊かなスポーツライフの振興

〔重点事項〕 競技力向上のための取組強化  
スポーツ健康科学サポート体制の充実  
生涯スポーツの振興

スポーツは、県民に大きな夢と感動を与えるものであり、県民の誰もがスポーツに親しみ、健康で活力ある豊かな地域づくりにつなげるための取組を支援します。

また、希望郷いわて国体において天皇杯順位8位以内入賞を目指すとともに、各種全国大会で本県選手が上位入賞を果たせるよう、競技力向上に向けた取組を推進します。

##### (1) 競技力向上のための取組強化

- ・希望郷いわて国体に向けた競技力向上のための取組については、入賞の可能性の高い競技・種別に重点をおいた選手強化を推進するとともに、指導者の資質向上及び一貫指導体制を充実させ、関係団体・機関と連携し強化体制を充実させていきます。
- ・トップアスリートの輩出を目指すいわてスーパーキッズ発掘・育成事業を推進するなど、活躍がめざましいジュニア層のレベル向上に計画的に取り組めます。

##### (2) スポーツ健康科学サポート体制の充実

- ・専門的スタッフ等の人員を配置するなど、スポーツ健康科学サポート体制の充実を図り、国体選手等が計画的・継続的なトレーニングを行うとともに指導者の資質向上を図る取組を推進します。
- ・被災市町村を含めた岩手県全体の競技スポーツの強化や県民の健康づくりに取り組めます。

##### (3) 生涯スポーツの振興

- ・総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援など、県民の生涯スポーツへの取組を推進します。

#### V 業務推進の基本姿勢

##### (1) 行動規範の確保

- ・岩手県職員憲章及び岩手県教職員コンプライアンスマニュアルに則り、教育に携わる職員としての自信と誇りを持ち、質の高い教育活動を創出します。
- ・教職員による不祥事の未然防止のため、日常のチェックや個人の意識高揚はもちろんのこと、予兆を見逃さない、自浄作用が発揮できる組織風土づくりを強化します。
- ・主幹教諭の配置校を拡大するなど、学校の諸課題の解決に向けた体制整備を推進します。

##### (2) 学校現場でのOJTの推進

- ・学校現場の知（ノウハウ）を共有しながら学校内での日常業務を通じた人材育成を推進し、教職員の指導力向上を図るため、OJT（On the Job Training）による指導、啓発のための取組を推進します。

##### (3) 現場支援としての事務局体制の強化

- ・教育は学校現場、子どもが主役であることを基底として、事務局の価値は現場支援にあることを再認識し、現場の実態に即した解決が図られるよう、現場主義を一層徹底します。

##### (4) 組織横断的な業務推進

- ・教育に関わる分野は、自組織のみでは解決困難な業務課題が多くなりつつあり、また、他部門からの協力要請も多く、関係機関との緊密な連携が必要であり、特に、福祉・商工労働・地域振興部門やPTA等各種団体、市町村との連携と役割分担の明確化により課題解決に向けた取組を進めます。

(5) 業務の効率化及び質の向上

- ・各所属においては業務の改善・効率化に主体的、継続的に取り組むものとし、それぞれの顧客に対する満足度を高めていきます。
- ・教育現場においては、教員が子ども一人ひとりに向き合う時間が最大限確保されるよう、常に工夫・改善に努めます。

(6) P D C A サイクルを踏まえた経営計画の推進

- ・各所属における経営計画の推進に当たっては、常にP D C Aサイクルを意識し、的確な現状分析を踏まえた目標を掲げ、その達成状況を確認しながら必要な改善策を講じ、施策への反映に向けた業務遂行に努めます。
- ・各教育施策の立案に当たっては、事務事業の点検・評価、サマーレビュー、政策評価等を通じて一体的、計画的に行います。

(7) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進

- ・「いわて県民計画」第2期アクションプランに掲げる別記の各目標の実現に向けて、政策評価を的確に行い、着実に達成できるよう各事業に取り組みます。

## 第2章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成25年度 岩手県教育委員会経営計画

(別記) いわて県民計画アクションプラン【政策編】に掲げる目標値（目指す姿指標）

#### ◆ 家庭・地域との協働による学校経営の推進

- ① 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合  
（基準値：H20）58% →（目標：H25）69%
- ② 「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合  
（基準値：H22）— →（目標：H25）90%

#### ◆ 児童生徒の学力向上

- 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合  
（基準値：H22）64% →（目標：H25）66%

#### ◆ 豊かな心を育む教育の推進

- ① 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合  
（基準値：H22）56% →（目標：H25）59%
- ② 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合  
（基準値：H22）78% →（目標：H25）81%

#### ◆ 健やかな体を育む教育の推進

- ① 児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均値以上の項目割合（小・中学校全学年）  
（基準値：H22）73.6% →（目標：H25）78.0%
- ② 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合（小学校全学年）  
（基準値：H22）87.4% →（目標：H25）88.6%

#### ◆ 特別支援教育の充実

- ① 作成が必要なすべての児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合  
（基準値：H22）38% →（目標：H25）84%
- ② 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合  
（基準値：H22）92.0% →（目標：H25）93.5%

#### ◆ 生涯を通じた学びの環境づくり

- 生涯学習リーダー登録者数（累計）  
（基準値：H22）614人 →（目標：H25）690人

#### ◆ 文化芸術の振興

- ① 県内の公立文化施設における催事数  
（基準値：H22）912件 →（目標：H25）866件
- ② 民俗芸能ネットワーク加盟団体数  
（基準値：H22）343団体 →（目標：H25）370団体

#### ◆ 豊かなスポーツライフの振興

- ① スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）  
（基準値：H22）38.1% →（目標：H25）49%
- ② 国民体育大会天皇杯得点順位  
（基準値：H22）33位 →（目標：H25）17位

## 第2 岩手県教育委員会

### 1 教育委員会委員及び教育長（平成26年3月31日現在）

職名	氏名	委員としての任期
委員長 (平成21年10月11日～)	八重樫 勝	平成23年10月11日～平成27年10月10日 (平成19年10月11日～平成23年10月10日)
委員長職務代理者[第1順位] (平成25年10月11日～)	坂本 ゆり	平成22年10月1日～平成26年9月30日 (平成14年10月1日～平成22年9月30日)
委員長職務代理者[第2順位] (平成25年10月11日～)	小平 忠孝	平成25年10月11日～平成29年10月10日 (平成21年10月11日～平成25年10月10日)
委員	村井 三郎	平成24年10月1日～平成28年9月30日 (平成20年10月1日～平成24年9月30日)
委員	芳沢 茎子	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員・教育長	菅野 洋樹	平成24年4月1日～平成28年3月31日 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

### 2 事務局及び学校以外の教育機関の職員の異動状況（平成25年度定期人事異動、単位：人）

職の区分	異動区分	退職	転出	昇任	配置換等	転入	採用	計
		指導主事、社会教育主事等の専門職員	1	40	26	64	44	0
教育長・事務職員	教育長	0	0	0	0	0	0	0
	次長級	2	4	2	1	2	0	11
	総括課長級	1	4	0	7	5	0	17
	担当課長級	0	0	1	2	2	0	5
	主任主査級	1	4	3	6	2	0	16
	主査級	0	11	4	25	12	0	52
	主事級	0	1	1	12	1	1	16
小計	4	24	11	53	24	1	117	
技能労務職員		0	0	0	0	0	0	0
計		5	64	37	117	68	1	292

### 3 教育委員会議開催状況（平成25年度）

区分	開催回数（回）
定例会	12
臨時会	3
委員協議会	7

### 第3 表彰及び栄典

#### 1 平成25年度文部科学大臣表彰（本県関係）

##### (1) 教育者表彰

高橋 嘉雄（岩手県立盛岡農業高等学校長）  
陳ヶ岡 安雄（盛岡市立桜城小学校長）  
中村 雅英（盛岡市立河南中学校長）

##### (2) 優秀教員表彰

内記 徹（岩手県立不来方高等学校）  
村松 玲子（岩手県立不来方高等学校）

##### (3) 地方教育行政功労者表彰

川村 秀彦（前紫波町教育委員会教育長）  
中野 新一（前軽米町教育委員会教育長）  
下田 和夫（前一戸町教育委員会委員長）

##### (4) 優良PTA表彰

青笹小学校PTA（遠野市）  
世田米中学校PTA（住田町）  
江釣子幼稚園PTA（北上市）

##### (5) 社会教育功労者表彰

和川 時章（元 宮古市子ども会育成連合会事務局長）  
菅原 三千司（元 藤沢町社会教育委員 元 藤沢町公民館運営審議会委員）

##### (6) 優良公民館表彰

釜石市立甲子公民館  
久慈市立夏井公民館

##### (7) 地域文化功労者表彰

佐藤 匡（岩手県ギター協会会長 元 社団法人岩手県芸術文化協会理事）  
早池峰大償流土沢山伏神楽保存会（花巻市）

##### (8) 生涯スポーツ功労者表彰

岩館 健三郎（岩手県ソフトボール協会顧問）  
多田 公孝（岩手県卓球協会名誉副会長）  
谷上 淳（岩手県アイスホッケー連盟会長）

##### (9) 学校保健及び学校安全表彰

ア 学校保健関係  
漆久保 潔（学校医）  
佐藤 讓（学校歯科医）  
イ 学校安全関係  
該当なし

##### (10) 視聴覚教育功労者表彰

石塚 公美子（盛岡市）

##### (11) スポーツ推進委員功労者

橋本 昭治（奥州市）

##### (12) 子どもの読書活動優秀実践表彰

ア 団体（者）表彰  
読書ボランティア おはなしころりん（大船渡市）  
イ 図書館表彰  
北上市立中央図書館  
ウ 学校表彰  
一関市立萩荘小学校  
久慈市立小久慈小学校

## 2 平成25年度岩手県教育表彰

### (1) 事績顕著者

本県教育文化の発展向上に尽力した功労者54名、11団体を表彰した。

#### ア 学校教育

宮古市立鍬ヶ崎小学校  
宮古市立第二中学校  
岩手県立伊保内高等学校

#### イ 学校保健

菊池和彦	(学校医)
西島浅香	(学校医)
金子博純	(学校医)
渡邊立夫	(学校医)
湯川英機	(学校医)
三浦良雄	(学校医)
佐藤正伸	(学校医)
佐藤重雄	(学校医)
菅野孝	(学校医)
小野寺哲朗	(学校医)
松井忠宣	(学校医)
齋藤政孝	(学校医)
須藤守夫	(学校医)
三浦幹也	(学校歯科医)
杉山ちか子	(学校歯科医)
八森新二	(学校歯科医)
岡本潤一	(学校歯科医)
千田隆一	(学校歯科医)
伊藤廣明	(学校歯科医)
佐藤正孝	(学校歯科医)
千葉清明	(学校歯科医)
吉原睦	(学校歯科医)
菊池万里子	(学校歯科医)
小松元	(学校歯科医)
三澤芳光	(学校歯科医)
東山敬貴	(学校歯科医)
山田雅男	(学校歯科医)
谷村友興	(学校歯科医)
伴雅子	(学校薬剤師)
中沢久美子	(学校薬剤師)
小笠原妃恵子	(学校薬剤師)
伊藤陽子	(学校薬剤師)
田村宏司	(学校薬剤師)

#### ウ 社会教育

鱒沢小学校PTA  
山目小学校PTA  
岩手県立水沢工業高等学校PTA  
奥州市立南都田幼稚園PTA  
岩手県立大槌高等学校PTA

#### エ 社会体育

日高浩	(岩手県合気道連盟会長)
佐々木一郎	(岩手県体操協会会長)
菊池達男	(釜石水泳協会会長)

第2章 教育行財政  
 第1節 教育行政  
 第3 表彰及び栄典

内 記 徹 (ハンドボール競技)  
 田 中 泉 樹 (ホッケー競技)  
 谷 藤 文 明 (岩手県スポーツ少年団本部長)  
 及 川 松 男 (金ケ崎町体育協会会長)  
 岩 崎 実 (ベンチプレス競技)  
 特定非営利活動法人 まつぞのスポーツクラブ  
 特定非営利活動法人 フォルダ  
 公益社団法人日本3B体操協会岩手県支部

オ 学術、文化

佐 藤 紳 夫 (岩手書道協会会長)  
 大 矢 邦 宣 (平泉文化遺産センター館長)

カ 教育行政

川 村 登 (前盛岡市教育委員会委員長)  
 小山田 洋 子 (八幡平市教育委員会委員長)  
 千 葉 洋 一 (葛巻町教育委員会委員長)  
 遠 藤 武 光 (岩手町教育委員会委員長)  
 盛 川 通 正 (滝沢村教育委員会教育長)  
 照 井 善 耕 (花巻市教育委員会委員長)  
 似 内 宏 和 (遠野市教育委員会委員長)  
 藤 堂 隆 則 (一関市教育委員会教育長)  
 新 田 章 (金ケ崎町教育委員会教育長)  
 佐 藤 浩 一 (大船渡市教育委員会教育長)  
 熊 谷 榮 子 (普代村教育委員会委員)

(2) 永年勤続者 550人

3 平成25年度叙勲 (本県関係)

春秋の別	職 名 等	氏 名	年齢	勲 等
春	元岩手県教育委員会教育長	大 隅 英 喜	71	瑞宝小綬章
春	元岩手県立花北商業高等学校長	東 久	79	瑞宝小綬章
春	元岩手県立盛岡工業高等学校長	木 村 昇	71	瑞宝小綬章
春	元盛岡市立緑が丘小学校長	中 嶋 恒 宏	79	瑞宝双光章
春	元花巻市立桜台小学校長	梅 木 栄 夫	79	瑞宝双光章
春	元盛岡市立松園小学校長	吉 村 暢 夫	79	瑞宝双光章
春	元一関市立山目小学校長	南 舘 廣太郎	78	瑞宝双光章
春	元盛岡市立河南中学校長	佐々木 満	78	瑞宝双光章
春	元北上市立黒沢尻西小学校長	高 橋 一 臣	70	瑞宝双光章
秋	元岩手県立平舘高等学校長	赤 澤 義 昭	76	瑞宝小綬章
秋	元岩手県立花巻北高等学校長	高 橋 善 一	75	瑞宝小綬章
秋	元岩手県立水沢工業高等学校長	横 尾 尚 芳	72	瑞宝小綬章
秋	元岩手県普代村教育委員会委員長	道 合 多喜夫	71	旭日双光章
秋	元北上市立南小学校長	佐 藤 稜 吉	78	瑞宝双光章
秋	元大船渡市立第一中学校長	佐 藤 善 士	76	瑞宝双光章
秋	元盛岡市立下小路中学校長	伊 藤 正 通	76	瑞宝双光章
秋	元盛岡市立河南中学校長	平 山 惇	75	瑞宝双光章
秋	現学校医	大 津 定 子	75	瑞宝双光章
秋	元花巻市立花巻中学校長	佐 藤 茂	71	瑞宝双光章

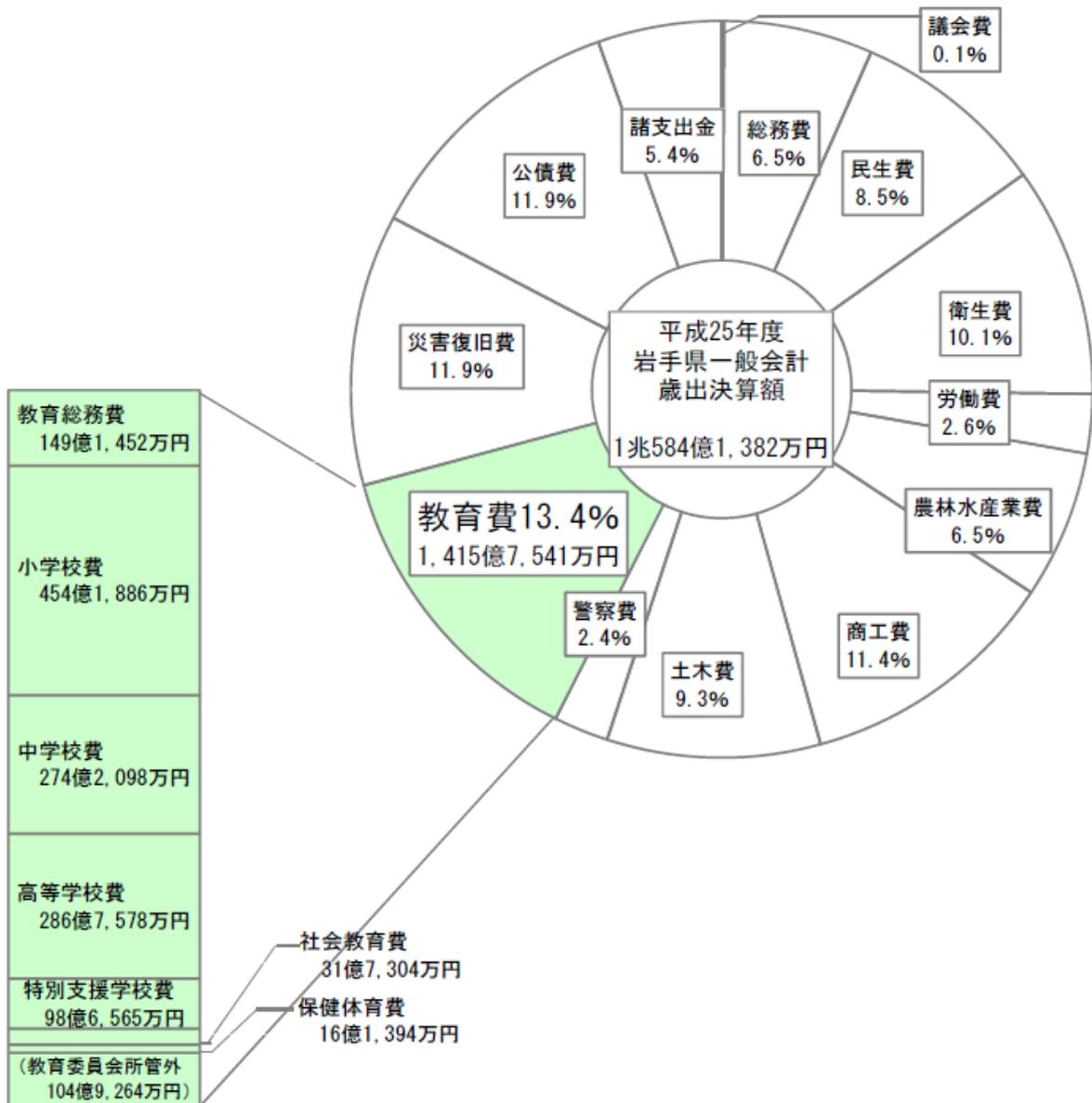
## 第2節 教育財政

### ○ 平成25年度岩手県一般会計決算と教育費決算の概要

平成25年度の岩手県一般会計歳入歳出決算額は、歳入1兆1,580億2,386万円、歳出1兆584億1,382万円であり、これを前年度決算額に比べると、歳入△4.9%、歳出△4.4%とそれぞれ減少した。

一般会計歳出決算額のうち教育委員会所管分は、教育費1,415億7,541万円のうち1,310億8,277万円及び災害復旧費1,261億4,256万円のうち5億6,820万円の計1,316億5,097万円であり、一般会計歳出決算額に占める割合は、12.4%となっている。

### 【平成25年度岩手県一般会計歳出決算額 目的別構成比】



第2章 教育行財政  
第2節 教育財政

【平成25年度 教育費 歳出予算・決算額】

区 分	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)
一般会計総額	1,349,672,738,948	1,058,413,820,862	219,394,331,648	71,864,586,438
教育費（教委所管分）	132,876,916,000	131,082,766,016	633,172,560	1,160,977,424
教育総務費	15,669,498,000	14,914,522,521	82,553,000	672,422,479
教育委員会費	19,791,000	19,590,488	0	200,512
事務局費	2,742,547,000	2,638,113,558	56,815,000	47,618,442
教職員人事費	11,332,550,000	10,732,143,027	0	600,406,973
教育指導費	1,029,887,000	984,952,259	25,738,000	19,196,741
教育センター費	419,381,000	416,883,302	0	2,497,698
恩給及び退職年金費	125,342,000	122,839,887	0	2,502,113
小学校費	45,441,579,000	45,418,854,181	0	22,724,819
教職員費	45,441,579,000	45,418,854,181	0	22,724,819
中学校費	27,453,363,000	27,420,983,444	0	32,379,556
教職員費	27,446,888,000	27,414,650,749	0	32,237,251
学校管理費	6,475,000	6,332,695	0	142,305
高等学校費	29,114,467,000	28,675,780,883	298,667,000	140,019,117
高等学校総務費	24,969,747,000	24,930,421,164	0	39,325,836
全日制高等学校管理費	1,549,004,000	1,533,021,176	0	15,982,824
定時制高等学校管理費	58,351,000	56,204,861	0	2,146,139
教育振興費	925,123,000	912,416,628	0	12,706,372
学校建設費	1,606,425,000	1,237,901,094	298,667,000	69,856,906
通信教育費	5,817,000	5,815,960	0	1040
特別支援学校費	9,956,511,000	9,865,646,362	25,205,000	65,659,638
特別支援学校費	9,956,511,000	9,865,646,362	25,205,000	65,659,638
社会教育費	3,241,199,000	3,173,040,633	4,472,000	63,686,367
社会教育総務費	1,197,682,000	1,179,692,736	0	17,989,264
文化財保護費	652,011,000	616,640,563	0	35,370,437
芸術文化振興費	221,925,000	219,771,688	0	2,153,312
図書館費	345,589,000	337,250,294	4,472,000	3,866,706
博物館費	342,943,000	342,289,833	0	653,167
美術館費	481,049,000	477,395,519	0	3,653,481
保健体育費	2,000,299,000	1,613,937,992	222,275,560	164,085,448
保健体育総務費	600,252,000	561,806,794	0	38,445,206
体育振興費	520,856,000	503,995,717	0	16,860,283
体育施設費	879,191,000	548,135,481	222,275,560	108,779,959
災害復旧費（教委所管分）	651,670,500	568,198,640	51,236,000	32,235,860
教育施設災害復旧費	651,670,500	568,198,640	51,236,000	32,235,860
学校施設災害復旧費	632,766,500	554,124,755	51,236,000	27,405,745
体育施設災害復旧費	18,904,000	14,073,885	0	4,830,115
（教育委員会所管分計）	133,528,586,500	131,650,964,656	684,408,560	1,193,213,284

第2章 教育行財政  
第2節 教育財政

[単位：円、%]

区 分	前年度最終予算額 (D)	対前年比(金額) E (A-D)	対前年比(増減率) E/D
一般会計総額	1,438,050,815,390	△88,378,076,442	△6.1
教育費（教委所管分）	138,984,167,000	△6,107,251,000	△4.4
教育総務費	16,694,196,000	△1,024,698,000	△6.1
教育委員会費	16,422,000	3,369,000	20.5
事務局費	2,793,059,000	△50,512,000	△1.8
教職員人事費	12,318,148,000	△985,598,000	△8.0
教育指導費	1,007,002,000	22,885,000	2.3
教育センター費	415,038,000	4,343,000	1.0
恩給及び退職年金費	144,527,000	△19,185,000	△13.3
小学校費	47,514,195,000	△2,072,616,000	△4.4
教職員費	47,514,195,000	△2,072,616,000	△4.4
中学校費	28,809,165,000	△1,355,802,000	△4.7
教職員費	28,801,191,000	△1,354,303,000	△4.7
学校管理費	7,974,000	△1,499,000	△18.8
高等学校費	30,982,766,000	△1,868,299,000	△6.0
高等学校総務費	25,794,569,000	△824,822,000	△3.2
全日制高等学校管理費	1,514,818,000	34,186,000	2.3
定時制高等学校管理費	57,840,000	511,000	0.9
教育振興費	1,029,694,000	△104,571,000	△10.2
学校建設費	2,580,028,000	△973,603,000	△37.7
通信教育費	5,817,000	0	0.0
特別支援学校費	10,056,284,000	△99,773,000	△1.0
特別支援学校費	10,056,284,000	△99,773,000	△1.0
社会教育費	3,097,579,000	143,620,000	4.6
社会教育総務費	1,188,932,000	8,750,000	0.7
文化財保護費	722,807,000	△70,796,000	△9.8
芸術文化振興費	221,606,000	319,000	0.1
図書館費	194,068,000	151,521,000	78.1
博物館費	305,514,000	37,429,000	12.3
美術館費	464,652,000	16,397,000	3.5
保健体育費	1,829,982,000	170,317,000	9.3
保健体育総務費	559,924,000	40,328,000	7.2
体育振興費	404,157,000	116,699,000	28.9
体育施設費	865,901,000	13,290,000	1.5
災害復旧費（教委所管分）	543,171,000	108,499,500	20.0
教育施設災害復旧費	543,171,000	108,499,500	20.0
学校施設災害復旧費	530,951,000	101,815,500	19.2
体育施設災害復旧費	12,220,000	6,684,000	54.7
（教育委員会所管分計）	139,527,338,000	△5,998,751,500	△4.3

[参考] 管理部門

1 市町村立学校

(1) 教職員の人事異動

平成25年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県の視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県の視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

- ア 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック14地区とし、在任中に2ブロック3地区以上勤務することを原則とした。
- イ ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流を活発にした。
- ウ へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。
- エ 小中学校併設校9校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。
- オ 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。  
新たに75人の校長と68人の副校長を登用した。
- カ 新採用教員については、6教育事務所に配置した。  
教諭の新規採用は113人であった。
- キ 退職者は264人であり、校長は94人、副校長は19人であった。

【平成25年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	小学校			中学校			計		
	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計
校長	48	106	154	15	49	64	63	155	218
副校長	47	85	132	23	40	63	70	125	195
主幹教諭	5	9	14	2	10	12	7	19	26
教諭(指導教諭含)	284	419	703	225	334	559	509	753	1,262
養護教諭	26	52	78	10	24	34	36	76	112
栄養教諭	3	6	9	4	5	9	7	11	18
学校栄養職員	0	0	0	1	1	2	1	1	2
事務職員	40	36	76	24	16	40	64	52	116
小計	453	713	1,166	304	479	783	757	1,192	1,949
市町村教委等転出者	8			10			18		
合計	1,174			793			1,967		

注：事務局及び県立学校への転出者(小学校15人、中学校22人、計37人)を含まない。

校種間異動者(中学校から小学校へ3人、小学校から中学校へ10人)を含んでいる。

【校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	11	2	13
同一教育事務所管外	42	20	62
計	53	22	75

【副校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	3	5	8
同一教育事務所管外	40	20	60
計	43	25	68

【新採用職員】[単位：人]

	小学校	中学校	計
教諭	57	56	113
養護教諭	5	1	6
栄養教諭	4	1	5
事務職員	12	0	12

【退職者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
校長	68	26	94
副校長	13	6	19
教諭	64	40	104
養護教諭	14	9	23
学校栄養職員	2	1	3
事務職員	19	2	21
計	180	84	264

(2) 教育相談員

教育相談員は、公立小中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問に計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校数は68.5校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任副校長や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

2 県立学校

【平成25年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	退職	昇任、配置換、転出	転入、採用	計
高等学校教員	87	433	55	575
特別支援学校教員	19	132	41	192
実習助手	8	13	8	29
寄宿舍指導員	1	18	3	22
事務職員	16	78	35	129
栄養教諭・栄養士	0	0	0	0
技能労務・海事職員	5	9	0	14
計	136	683	142	961

このうち、校長は、退職が25人であり、任命換、配置換、昇任、転入及び採用が42人であった。

(1) 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、27人を校長に登用した。また、広く全県的視野に立って、23人の中堅教員を副校長に登用した。

(2) 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

ア 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に沿岸被災地の学校に勤務する教員、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員との交流に重点を置いた。

イ 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。

なお、平成24年度の人事異動は、東日本大震災津波の凍結分の異動に平成24年度の異動分が加わったため、大規模な異動となったが、平成25年度の人事異動は例年よりやや多い程度の規模となった。

[参考] 市町村教育委員会

1 市町村教育委員会委員長（平成26年3月31日現在）

市町村名	委員長		委員長の任期
盛岡市	星野勝利	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
八幡平市	小山田洋子	(再)	平成25年11月15日～平成26年11月14日
雫石町	上野宏	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
葛巻町	千葉洋一	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
岩手町	遠藤武光	(再)	平成25年7月21日～平成26年7月20日
滝沢市	内村宣夫	(再)	平成25年12月23日～平成26年12月22日
紫波町	高橋榮幸	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
矢巾町	松尾光則	(新)	平成25年5月1日～平成26年4月30日
花巻市	照井善耕	(再)	平成26年3月25日～平成27年3月24日
遠野市	中浜艶子	(新)	平成25年11月26日～平成26年11月25日
北上市	小原広記	(再)	平成25年6月1日～平成26年5月31日
西和賀町	深澤武志	(再)	平成26年1月1日～平成26年12月31日
奥州市	高橋清融	(再)	平成26年3月31日～平成27年3月30日
金ヶ崎町	及川紀美子	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
一関市	鈴木功	(再)	平成25年10月29日～平成26年10月28日
平泉町	佐熊睦子	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
大船渡市	佐藤浩一	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
陸前高田市	横田佑侖	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
住田町	千葉英夫	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
釜石市	佐藤猛夫	(新)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
大槌町	沼田義孝	(新)	平成25年9月21日～平成26年9月20日
宮古市	坂下昭弘	(再)	平成25年8月30日～平成26年8月29日
山田町	山崎喜六	(再)	平成25年10月19日～平成26年10月18日
岩泉町	伊東勝幸	(再)	平成25年12月21日～平成26年12月20日
田野畑村	熊谷勤巳	(新)	平成26年3月31日～平成26年9月30日
久慈市	鹿糠敏文	(再)	平成25年4月28日～平成26年4月27日
洋野町	青澤侑子	(再)	平成26年2月14日～平成27年2月13日
野田村	大沢伸子	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
普代村	佐々木康雄	(再)	平成25年10月1日～平成26年9月30日
二戸市	清川泰	(再)	平成26年2月22日～平成27年2月21日
軽米町	戸草内勝夫	(再)	平成26年3月25日～平成27年3月24日
九戸村	千葉和彦	(再)	平成25年8月12日～平成26年8月11日
一戸町	春日川寛治	(再)	平成25年12月25日～平成26年12月24日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

2 市町村教育委員会教育長（平成26年3月31日現在）

市町村名	教 育 長		教育長の任期
盛岡市	千葉仁一		平成24年10月1日～平成28年9月30日
八幡平市	遠藤健悦	(再)	平成25年11月15日～平成29年11月14日
雫石町	吉川健次	(再)	平成25年12月26日～平成29年12月25日
葛巻町	中田直雅	(再)	平成25年12月25日～平成29年12月24日
岩手町	平澤勝郎		平成24年11月1日～平成28年10月31日
滝沢市	熊谷雅英	(新)	平成25年4月2日～平成29年4月1日
紫波町	侘美淳		平成24年10月1日～平成28年9月30日
矢巾町	越秀敏	(新)	平成25年5月1日～平成26年9月30日
花巻市	佐藤勝	(新)	平成26年2月20日～平成26年3月31日
遠野市	藤澤俊明	(再)	平成25年11月26日～平成29年11月25日
北上市	小原善則		平成23年6月1日～平成27年5月31日
西和賀町	(不在)		
奥州市	佐藤孝守		平成22年4月1日～平成26年3月31日
金ヶ崎町	新田章		平成24年10月1日～平成28年9月30日
一関市	藤堂隆則	(再)	平成25年10月29日～平成29年10月28日
平泉町	岩渕実		平成24年4月1日～平成26年12月31日
大船渡市	今野洋二	(再)	平成25年10月1日～平成29年9月30日
陸前高田市	山田市雄		平成24年10月1日～平成28年9月30日
住田町	多田茂	(再)	平成26年1月2日～平成26年3月31日
釜石市	佐藤功	(新)	平成25年4月1日～平成28年9月30日
大槌町	伊藤正治		平成24年3月31日～平成28年3月30日
宮古市	伊藤晃二	(新)	平成25年8月30日～平成29年8月29日
山田町	佐々木毅	(新)	平成25年4月2日～平成29年4月1日
岩泉町	三上潤	(再)	平成25年4月1日～平成29年3月31日
田野畑村	袈岩敏雄	(新)	平成26年1月6日～平成29年12月31日
久慈市	亀田公明		平成22年4月28日～平成26年4月27日
洋野町	麦澤正剛		平成25年2月14日～平成29年2月13日
野田村	大崎英雄		平成25年1月1日～平成28年12月31日
普代村	熊坂伸子		平成22年4月1日～平成26年3月31日
二戸市	鳩岡矩雄	(再)	平成26年2月22日～平成30年2月21日
軽米町	菅波俊美		平成25年3月25日～平成28年10月23日
九戸村	千葉利夫		平成24年7月9日～平成28年7月8日
一戸町	遠藤裕一		平成22年4月1日～平成26年3月31日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

### 3 市町村教育委員等研修

- 平成25年度市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）

【会場：愛知県名古屋市 公立学校共済組合名古屋宿泊所「ルブラ王山」】

1日目（平成25年10月17日）

- ・行政説明「初等中等教育をめぐる最近の動向について」  
：文部科学省大臣官房審議官 藤原 誠氏
- ・講演「教育委員会制度改革の現状と改革のゆくえ」  
：東京大学大学院教育学研究科准教授 村上 祐介氏
- ・パネルディスカッション「教育委員会制度改革と教育委員会事務局の活性化について」

2日目（平成25年10月18日）

- ・分科会「持続発展教育（ESD）の取組について」  
「特別支援教育の取組について」  
「幼保小中一貫教育の取組について」

## 第3章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況、東日本大震災津波からの復旧・復興状況などを踏まえながら、中長期的な目標の下、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

##### 1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップの下、家庭・地域との協働の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

- 重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小中学校における作成状況は100%である。

##### 2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

##### 3 「開かれた学校づくり」の推進

###### (1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小中学校 100%、高校96.8%、特別支援学校100%である。

###### (2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小中学校においても75%で設置されている。

#### 【目標】

児童・生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

<b>【進捗状況】</b>			<b>【今後の取組】</b> 学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供するとともに、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。
	H23岩手県	H23全国平均	
公立小学校	291校(78.0%)	83.7%	
公立中学校	131校(71.2%)	84.4%	
公立高等学校	65校(100%)	83.5%	
公立特別支援学校	13校(100%)	83.3%	

(3) 学校評価の実施

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小中学校で全国平均を下回っているものの、8割を超える学校が実施している。

<b>【目標】</b>							
平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。							
(1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。							
(2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。							
(3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。							
<b>【実施状況】</b>	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施		
	岩手県 (H23)	全国 (H23)	岩手県 (H23)	全国 (H23)	岩手県 (H23)	全国 (H23)	
	公立小学校	373校(100%)	100%	373校(100%)	98.8%	313校(83.9%)	96.0%
	公立中学校	181校(98.4%)	100%	181校(100%)		156校(85.2%)	95.7%
	公立高等学校	65校(100%)	100%	65校(100%)		55校(84.6%)	97.8%
公立特別支援学校	13校(100%)	100%	13校(100%)	13校(100%)		98.3%	

(4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小中学校における開設状況は5割を下回っている。

<b>【目標】</b>			
全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。			
<b>【進捗状況】</b>	H25岩手県		<b>【今後の取組】</b> 学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。
	公立小学校	49.3%	
	公立中学校	45.5%	
	県立学校	100%	

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第1 目標達成型の学校経営の推進 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### 4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

#### 5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に招へいするなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

#### 6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

### 第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を活用して、学校の取組促進に努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

#### 2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 3 学校裁量を生かした創意工夫

#### (1) 平成25年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

##### 文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
学力向上実践研究推進事業（確かな学力育成のための実践研究事業）	県 北	洋野町（種市小）	H23・24・25
道徳教育総合支援事業（道徳推進事業）	中 部	遠野市立小友小学校	H25
人権教育研究指定校事業	中 部	北上市立和賀西小学校	H25
いじめ問題総合対策事業	県 南	奥州市	H25
	県 北	二戸市	H25
魅力ある学校づくり調査研究事業	盛 岡	見前南中学校区（見前南小・永井小）	H24・25
教育課程研究指定校事業	宮 古	宮古市立宮古西中学校（美術）	H25

##### 岩手県教育委員会指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
小学校高学年における教科担任制の導入モデル指定研究事業	盛 岡	滝沢村地区（滝沢第二小学校）	H23・24・25
県研究指定校事業	盛 岡	矢巾町立矢巾中学校・矢巾北中学校（数学）	H25・26
	県 南	金ヶ崎町立金ヶ崎中学校（英語）	
	県 北	二戸市立金田一小学校（言語活動）	

#### (2) 教科書関係

##### ア 採択の概要

平成22年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成23年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

##### イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成25年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

(ア) 平成26年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

(イ) 教科用図書選定のための資料について

#### ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成25年度使用教科書展示会を、平成25年6月14日から14日間、次の18カ所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／県南／川崎／大船渡／住田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

#### (3) 高等学校教育全般

平成22年3月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成25年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の18項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

#### 【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

学校経営改革／学力・授業力向上／キャリア教育／豊かな人間性の育成／特別支援教育／健康教育

#### 【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】

特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究

#### 【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】

競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

#### 【平成25年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	指定年度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	H24～28
	盛岡第三	H23～27
	釜石	H24～28

#### (4) 定時制・通信教育

平成25年度における定時制課程の学校数は、9校（独立校1校、併置校6校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高校本校（宮古分室含む。）、奥州校の2校である。

昭和56年度から定時制高校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっており、平成25年度における技能

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

連携教育は、杜陵高校通信制と岩手看護高等専修学校で行われている。

昭和63年4月には杜陵高校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にして、働きながら学ぶ生徒を支援する教育に加え、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

#### ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成25年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	120	—	—	—	2	—	—	122	21.4
通信制	330	94	—	—	—	—	—	—	94	28.5
合計	890	214	—	—	—	2	—	—	216	24.0

[平成24年5月1日現在の生徒数計は、定時制173人、通信制110人、合計283人であり、それぞれ22人減、34人減、56人減]

(イ) 在籍生徒数（平成25年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	495	—	—	—	14	—	—	509	22.1
通信制	—	1,115	—	—	1	—	—	—	1,116	—
合計	2,240	1,610	—	—	1	14	—	—	1,625	—

[平成24年5月1日現在の生徒数計は、定時制637人、通信制1,262人、合計1,899人であり、それぞれ72人減、236人増、308人減]

#### イ 就学奨励事業

就学促進と教育の機会均等の確保のため「高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付」「高等学校定時制課程教科書及び通信制課程教科書給与事業」「夜間定時制高等学校給食費補助」を実施している。

#### ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成25年5月10日

会場……………杜陵高校

参加者……………42人

(イ) 第63回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成25年9月29日

会場……………岩手県立宮古高等学校社会科教室

参加者等……………約100人（発表12人）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、IT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

#### (1) 情報関連機器の整備状況（平成25年3月現在） [単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	5.9	7.5	59.2	82.5	54.5	74.8
中学校	4.7	6.5	62.3	81.8	52.7	76.2
高等学校	4.6	5.1	98.4	93.5	100.0	76.1
特別支援学校	3.4	3.6	95.0	90.2	100.0	79.1
合計	5.2	6.5	68.3	84.4	59.8	75.4

(参考) 第2期教育振興基本計画による基準（文部科学省）

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	電子黒板・実物投影機の整備	無線LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6人	1学級当たり1台	100%	100%

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

#### (2) 教員の指導力の向上

##### ア 教員のICT活用指導力の状況（平成25年3月現在）

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合[単位:%]	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	82.1	79.7
授業中にICTを活用して指導する能力	69.7	67.5
児童・生徒のICT活用を指導する能力	68.9	63.7
情報モラルなどを指導する能力	76.9	74.8
校務にICTを活用する能力	78.9	75.5

##### イ 教員情報活用能力向上のための研修

小中高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

##### ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

### 5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

#### (1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 10人

イ 国籍

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

米国、英国、カナダ、オーストラリア

#### ウ 配置先

学校教育室	1人
総合教育センター	1人
県立高校	8人

#### 【配置・訪問学校名】

盛岡第三、盛岡北、不来方、花巻北、花巻南、水沢、一関第一、釜石、杜陵、紫波総合大迫、盛岡青松支援

#### (2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、外国語指導の向上を目的として、より効率的かつ効果的な運用を図ることとし、平成20年度から一部の業務を民間業者に委託して、県内すべての高等学校に外国語指導助手を配置している。

（平成25年度 民間業者による外国語指導助手35名）

#### 6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」並びに平成24年3月に作成した「いわてが目指すキャリア教育」リーフレットを活用し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

#### (1) 実践的キャリア教育研修会（北上川流域ものづくりネットワーク共催）の開催

企業見学や人材育成担当者等からの講話を通して、実社会や産業とのつながりについて認識するとともに、キャリア教育に対する視野を広げる機会とする。

地区名	期 日	見学先	担当教育事務所
盛 岡	平成25年8月8日(木)	(株)やまびこ盛岡事業所	盛岡教育事務所
花 巻	平成25年9月9日(月)	ケミコン岩手(株)	中部教育事務所
奥 州	平成25年8月30日(金)	デンソー岩手(株)	県南教育事務所
大船渡	平成25年1月29日(水)	太平洋セメント(株)	沿岸南部教育事務所
宮 古	平成25年6月7日(金)	(株)エフビー (会長講話)	宮古教育事務所
二 戸	平成25年7月10日(水)	SWS東日本(株)	県北教育事務所

#### (2) キャリア教育指導者養成研修への派遣

キャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校1人、中学校3人、高等学校1人が受講した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### (3) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が行うキャリアアップサポート推進事業（各学校が実施する外部講師による講演会、生徒の企業見学等）を支援した。

#### (4) いわてのキャリア教育実践研修講座の実施

総合教育センターにおいて、教員研修を年2回実施。（平成24～27年度の4ヵ年計画）

この研修は、キャリア教育の計画立案や実践にあたって直面する諸課題の解決方法をより具体的に学ぶと共に、各校の実践内容について研究協議を行い、キャリア教育の実践に役立てることを目的としたものである。

## 7 職業教育の充実

### (1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育の更なる充実が求められていくものと考えられる。

### (2) 職業教育の活性化に向けて

#### ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、さらに、産業界と連携しながら、体験的な学習を推進していく必要がある。

#### イ 学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施

平成19年度から平成22年度まで実施した文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」の成果を踏まえ、平成22年度から県単独事業として実施している「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」において、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどを実施することにより生徒の実践力の向上が図られた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

分野	平成25年度「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」実施校
農業分野	盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校、遠野緑峰高校
工業分野	盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校
商業分野	盛岡商業高校、花北青雲高校、北上翔南高校、水沢商業高校、一関第二高校、大東高校、大船渡東高校、釜石商工高校、遠野緑峰高校、宮古商業高校、久慈東高校
水産分野	高田高校、宮古水産高校
家庭分野	平舘高校、花北青雲高校、大船渡東高校、宮古水産高校

### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

#### 1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人ひとりが在り方生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

#### 2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成25年5月1日現在小学校85校、中学校36校となっており、全学校に占める割合は、小学校23.7%、中学校20.8%で、小中学校全体では22.8%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校108校（30.2%）、中学校4校（2.3%）である。

##### (1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導DVDを活用し、複式学級における学習指導の充実に努めた。

##### (2) 複式指導等改善巡回講座の実施

複式学級の特徴を生かした学習指導の充実に努めるため、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
宮 古	山田町立轟木小学校	平成25年6月5日	出前授業、講義、演習
県 北	軽米町立笹渡小学校	平成25年5月8日	授業参観、研究協議、講義、演習

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第4 教員の適正配置

第4 教員の適正配置

1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保し、学校を活性化することを目指して、スポーツ・社会人特別選考を実施するとともに、小中学校では、現職教員特別選考を実施し、即戦力となる人材の確保に努めた。

2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第7次定数改善計画、高等学校においては第6次定数改善計画により、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から平成19年度にかけて小学校1、2年生に35人学級編制を導入し、平成24年度には中学校1年生、平成25年度から小学校3年生まで拡大した。

3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

【平成25年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	478人
中学校	173人
高等学校	140人
特別支援学校	103人

4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度から特別支援学校教諭免許状の取得を促すため、特別支援教育に関する科目のみの認定講習を開催するなど、県として保有状況の改善に努めた。

(1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成25年7月30日～8月6日
受講者	158人
単位授与者	158人
開設講座	3講座

(2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

【教育職員の免許状授与状況（単位：件）】

免許状の種類	平成25年度	平成24年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	269	299
中学校教諭	366	341
高等学校教諭	436	422
養護教諭	22	37
特別支援学校教諭	83	85
自立教科教諭(理療)	0	0
特別支援自立活動	0	0
幼稚園教諭	405	448
栄養教諭	12	11
計	1,593	1,643
臨時免許状		
小学校助教諭	11	15
中学校助教諭	7	7
高等学校助教諭	54	61
養護助教諭	0	0
特別支援学校助教諭	12	10
自立教科助教諭(理療)	2	1
幼稚園助教諭	0	3
計	86	97
特別免許状	0	0
再交付・書換え		
再交付	256	183
書換え	320	298
計	576	481
合計	2,255	2,221
免許状授与証明書	585	475

## 第5 教員研修の充実

本県における教育振興上の重要課題の解決のため、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

### 1 平成25年度研修実績

#### (1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	人事・サービス上の諸問題、指導行政上の諸問題、復興教育・生徒指導関係、講演、講話（岩手の教育の目指すもの）、意見交換会、コンプライアンス、グループ協議	2	521
副校長研修講座	小中学校副校長	副校長に期待すること、人事管理上の諸問題、復興教育、リスクマネジメント、講話、講演、研究協議等	1	519
新任校長研修講座	小中学校新任校長	管理職としての心構え、先輩校長から学ぶ、指導行政の課題と学校経営、新任校長に望む、学校経営に望むこと、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、経営ビジョンづくりと共有化（研究協議）	2	77
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長の役割、人事管理上の諸課題、学校経営上の諸課題（研究協議）、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、指導行政と学校教育、講話（岩手の教育の目指すもの）、先輩副校長から学ぶ、演習（学校教育/サービス・法規）	3	71
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、学校の危機管理、インクルーシブ教育、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	27
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、生徒指導、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、新任副校長に期待する	2	32

#### (2) 初任者研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数	
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル 等	I	4	114
			II	4	114
			III	3	114
			宿泊研修	3	114
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、課題研修の進め方、社会奉仕体験の心構え 等	8	114	
市町村教育委員会研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組 等	3	114		
校内研修	各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際 等	300時間程度	114		

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

(3) 初任者研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等			研修者数
初任者研修	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観、社会奉仕体験活動	高校6 特支4			68 (高校41、特支27)
	総合教育センター研修	<b>【1年目】</b> 服務とその責任、復興教育、指導計画・指導案、教材研究、教科指導法、生徒理解、接遇、道德教育、特別支援教育、総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム活動、ボランティア活動、キャリア教育、情報モラル、教育相談、自己研修 等 <b>【2年目】</b> 学校安全、宿泊研修、レクリエーション活動 等 <b>【3年目】</b> 情報活用、学級経営、自己研修 等	高等学校 (1年目)	I	4	52
				II	4	40
				III	3	40
			特別支援学校 (1年目)	I	3	33
	II	4		27		
III	3	27				
IV	3	27				
所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導 等	180時間程度 (うち150時間は週日程に位置付ける)			68	

(4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修 (中央研修)	学校経営と教務主任、教務主任と教育法規、学校運営計画書と教育課程の編成、教務主任の校務上の課題、教務に役立つ情報活用等	2	66 (小42、中24)

(5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、総合的な学習の時間・自立活動の指導の取り組み、教務課運営の実際、文書事務等	3	27(高校22、特支5)

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

2 平成25年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分、要請研修、随時研修は除く）

(1) 所属種別研修講座数、研修者数

[単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職等	計
研修講座数	12	70	69	68	60	2	281 (延)
研修者数	98	2,007	1,376	1,409	615	57	5,562

(2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

研修名	講座名	研修者数											計	
		単 独					合 併							
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支	事務職		
基本研修	初任者研修	98	197	212	203	155								865
	教職経験5年研修		41	34	39	23								137
	教職経験10年研修													0
	授業力向上研修		672	458	388	150		353	242	201	78			2,542
	小 計	98	910	704	630	328	0	353	242	201	78		3,544	
特別研修	新任者				52			215	109	58	13			447
	教職専門		19	55	158	107		49	44	27	1			460
	事務職専門											36		36
	小 計	0	19	55	210	107	0	264	153	85	14	36		943
希望研修	教科研修		17	46	36	2			4	59	2			166
	領域等研修							34	30	25	18	16		123
	情報教育研修							11	19	51	5			86
	教育相談研修							58	44	47	7	1		157
	特別支援教育研修							82	29	15	24	3		153
	公開研修		155	4	2			96	42	46	28	1		374
	小 計	0	172	50	38	2	0	281	168	243	84	21	1,059	
	要請研修	249	3,575	1,209	1,529	654								7,216
	随時研修		150	94	93	4								341
	小 計	249	3,725	1,303	1,622	658								7,557
	派遣研修							8	4	2	2			16
	総 計	347	4,826	2,112	2,500	1,095	0	906	567	531	178	57		13,119

## 第6 教員研究等の充実

県立総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

### 1 高等学校におけるOJTの進め方に関する研究 ―授業力向上を目指した取組を通して―

多様化・複雑化する教育課題に対し、教員の資質能力向上をいかに意図的・計画的に図っていくかが大きな課題となっている。

この研究では、資質能力の中核をなす授業力に注目し、「高等学校における授業力向上を目指したOJT」をどのように進めるべきかについて研究した。報告書では「管理職のマネジメント」「小集団を基盤とした取組」「自己理解を基盤とした取組」を三つのポイントとしてまとめた。この研究に基づいて作成した「高等学校OJT推進者のための授業力向上ガイドブック」には、既存の取組を充実させる工夫や県内高等学校における実践例を盛り込み、学校ですぐ活用できるものとした。

### 2 小学校理科の学習指導要領に対応した教材開発に関する研究

県内小学校では、理科の校内研究や研修の機会が少ない実態があり、指導をどのように充実させていくかということが課題となっている。

この研究では、授業で使える「開発教材集」と、その「開発教材集」を授業の中でどのように活用すれば効果的かを示した「活用資料」を作成した。これらの指導資料は、学習指導要領改訂に伴い発行された教科書に基づいたもので、観察・実験を中心とする授業を目指し、準備から授業までの見通しなどを示している。

### 3 授業における電子黒板等ICT機器の活用実践集の作成

県内のほとんどの学校に電子黒板等ICT機器が導入されているが、小学校の約50%が週1回以下の活用にとどまり、中学校、高等学校においてはほとんど活用されていない実態が見られる。このように、ICT機器の活用には課題がある。

この研究では、「授業の目標を達成するための活用方法」「授業での活用イメージ」「活用の留意点」等について記載した「電子黒板等ICT機器活用実践集」を作成した。各学校でその実践集をもとに、ICT機器活用の推進を図ることで、児童生徒の学力向上を目指そうとするものである。

### 4 スマートフォンにおける情報モラル指導に関する研究

児童生徒のスマートフォン所持率は年を追うごとに急増しており、それに伴って児童生徒がトラブルに巻き込まれるケースも増えてきている。児童生徒の健全育成に向けて、情報モラル指導の強化が必要となってきている。

この研究では、スマートフォンの利用について指導用教材を作成した。この教材は、児童生徒が体験的に「プライバシー保護」や「情報セキュリティ」について学ぶことができるようになっている。各学校において、この教材を活用した授業を行うことで、情報モラル指導の充実を図ることができるようになっている。

### 5 「共に学び、共に育つ教育」の推進に関する研究

#### ―「交流籍」を活用した交流及び共同学習の取組の検証を通して―

「共生社会」の形成に向けて、特別支援学校在籍児童生徒の居住地校との交流及び共同学習の充実が重要な鍵となっている。しかし、その意義や進め方について十分に理解が進んでいるとは言えない状況がみられる。

この研究では、平成24年度に実施された「『交流籍』を活用した交流及び共同学習の取組」の成果と課題を検証し、計画的・組織的に推進するための要件を明らかにした。また、その要

件に即した具体的な手立ても含め、実践のポイント等を示した「交流及び共同学習ガイドブック」を作成した。各学校でこのガイドブックを活用した取組を推進することによって、交流及び共同学習の充実を図ろうとするものである。

#### 6 学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科の指導法に関する研究

学習指導要領が改訂され、国語科では「実社会で生きてはたらき、各教科等の学習の基本となる国語の能力を身に付けた児童生徒を育成すること」が改善の重点として示された。

この研究では、「読むこと」領域における「小・中・高等学校国語科授業づくりガイドブック」を作成した。その中で、どのような授業を目指し、どのような手順で授業づくりを進めるのか、どのように単元を構想し、どのように一単位時間の授業を進めるのか、評価をどうするのかについて具体的に解説している。ガイドブックの考え方に基づく授業づくりをすることが「実社会で生きてはたらき、各教科等の学習の基本となる国語の能力を身に付けた児童生徒を育成すること」につながる。

#### 7 小学校家庭、中学校技術・家庭の安全指導資料の作成

岩手県では、小学校家庭、中学校技術・家庭の指導において、技術・家庭を専門としない教員が学習指導を行うことが少なくない現状にある。そのため、実習室の安全管理や実習時の安全指導に課題が見受けられる。

この研究では、技術室・家庭科室などの実習室の安全管理及び実習を安全に進め、小学校家庭、中学校技術・家庭の指導の充実に役立てることを目的として「小学校家庭、中学校技術・家庭の安全指導資料」を作成した。指導資料は、「実習室の環境整備と管理」と「実習中の事故防止」の2つで構成されている。「実習中の事故防止」については、家庭では調理実習・調理活動とミシンを使用した製作実習、中学校技術では材料と加工の製作実習を中心にまとめた。

#### 8 小・中学校における特別支援教育支援員の業務推進に関する研究

県内小・中学校においては、特別支援教育支援員の位置付けや役割が明確でなかったり、引継ぎや担任との連携に課題があったりする現状が見受けられる。

この研究では、学校が特別支援教育支援員を有効に活用し、業務を推進するための4つの要件を明らかにした。作成した『特別支援教育支援員の業務推進の手引』では、校内体制への位置付け、役割の共通理解、特性や場面に応じた支援、研修内容等について、具体的事例を挙げながら、業務推進の在り方を示している。

## 第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

### 第1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした、柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める状況を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

### 第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能、さらには、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

##### (1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組の推進

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査 集計・分析シートの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）
- ・ 「中学校数学授業改善プロジェクト委員会」の設置と「わかる授業」の在り方の検討

##### (2) 市町村教育委員会や関係機関などと連携した少人数教育の推進

#### 2 学力・授業力向上の取組

##### (1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に取り組むため、学校教育室に学力・授業力向上を担当する指導主事を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業

力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人ひとりが更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

(2) 取組内容

授業力向上セミナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施</li> <li>⇒モデル授業＋付箋紙ワークショップ＋講義による参加型の半日の研修会が基本</li> <li>⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li> </ul>
個別訪問
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【目的】 諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援</li> <li>● 【訪問対象校】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒フォローアップ対象者の所属する学校（※1）</li> <li>⇒県教委が指定する学校（※2）</li> <li>⇒訪問を希望する学校（※3）</li> </ul> </li> <li>● 【訪問内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議</li> <li>⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換</li> <li>⇒上記のほか、各校の実情や要望を考慮し、指導主事による模擬授業や録画した授業ビデオを使用した研修なども実施（※4）</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1 前年度初任研、5年研を受講した教員の所属する学校</li> <li>※2 中学校は県学調や英語チャレンジテスト等の結果に基づいて指定 高等学校の数学は原則として全校指定、英語は平成25年度中高連携英語力向上事業の17校を指定</li> <li>※3 個人、学校、市町村教育委員会として希望することも可能</li> <li>※4 日程調整が必要なため、予め連絡が必要</li> </ul> </div>

(3) 授業力向上セミナー・個別訪問実績

表-1 平成25年度 授業力向上セミナー・個別訪問 実績

	授業力向上セミナー							個別訪問		
	校種	年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)	参加者(人)			年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)
					小中学校	県立学校	合計			
数学	中学校	7	7	7	163	7	170	152	155	168
	高等学校	6	6	6	10	146	156	65	65	128
	小学校	6	6	6	180	0	180			
	特別支援学校								0	0
	計	19	19	19	353	153	506	217	220	296
英語	中学校	6	5	5	155	17	162	106	111	111
	高等学校	3	3	3	10	63	73	61	61	105
	計	9	8	8	165	80	235	167	172	216

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中・高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続のあり方についての研修

## 2 魅力ある学校づくりの推進

各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、学校の活性化と個性化を推進する事業であり、大学講習など進学指導に関する事業を実施した。

### 【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人ひとりの進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

主な取組

#### ○難関大学・超難関大学対策講座

県内各地域の難関大学志望の生徒を対象に広く呼びかけ、指導実績のある講師による対策講座を1年に3～4回合同で実施。

#### ○ウィンター・セッション

県内高校の進学希望者に大学で学ぶ内容や意義を知る機会を提供するため、県内5大学等で組織される「いわて高等教育コンソーシアム」と合同で実施。

## 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切にする心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

#### 1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、総合教育センターにおいて特別研修を実施し、道徳教育推進教師の資質向上を図った。

##### (1) 研修事業

- 平成25年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（(独)教員研修センター）  
平成25年6月3日～7日（5日間）指導主事（高等学校を含む）4名
- 平成25年度道徳教育指導者養成研修（東日本ブロック別指導者研修）（(独)教員研修センター）  
平成25年7月29日～31日（3日間）教諭（高等学校を含む）15名
- 総合教育センターでの特別研修「道徳の時間を『要』として進める道徳教育研修講座」  
平成25年11月11日～12日（2日間）教諭等

##### (2) 研究推進事業

- 児童生徒の心を耕す教育推進事業  
中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

#### 2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

##### (1) 体験活動の状況

体験活動の教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

## (2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

### ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えている。社会福祉協議会等関係機関と連携しながら、老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディー体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広がっている。

### イ 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

## (3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者研修を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・「いわて中高生のためのおすすめ図書100選」の活用と普及の推進、学校図書館運営に係る基本的事項及び先進的実践を学ぶ観点から、全ての教育事務所において学校図書館担当者の研修を実施
- ・平成16年3月に策定した、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「いわて子ども読書プラン」に基づく読書活動を推進

## 3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育の内容、幼稚園の運営・管理、保育技術等に関する説明や研究協議、演習を行った。また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等新規採用教員研修を実施した。教職経験者10年研修は、対象者なしのため、実施しなかった。

### (1) 園長等運営管理協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
サンセール盛岡	平成25年 5月28日	43	25	27	23	118

### (2) 保育技術協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成25年 7月 3日	16	11	67	7	101

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

##### 第2 生活面における基礎・基本の充実

#### (3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成25年 8月 9日	56	41	15	25	137

#### (4) 幼児期における子育て支援協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成25年11月26日	6	5	12	7	30

#### (5) 幼稚園等新規採用教員研修（主催：岩手県教育委員会）

区 分	会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)			
			公立	私立	保育所	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成25年 6月 5日～ 6月 6日	12	19	2	33
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成25年 7月29日～ 7月31日	12	24	5	41
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成25年10月16日～10月18日	12	10	2	24

#### (6) 幼稚園教職経験者10年研修（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)		
		公立	私立	合計
総合教育センター	※ 25年度該当者なし（実施せず）			

## 第2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

### ○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力等の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適應の問題が大きな教育問題となっている。

平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は128件で前年度から9件減少した。一方、いじめの認知件数は2,286件であり、前年度に比べ1,955件増加した。不登校児童生徒の状況については、小学校134人、中学校705人、高等学校401人であり、中学校・高等学校では不登校の比率が低下し、小学校では増加の傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成24年度は305人と前年度から9人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人ひとりの児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適應傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適應を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

#### 1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成25年5月13日～5月24日

【会 場】地区別8会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 160人（延べ）

#### 2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成25年度の表彰は次のとおりであり、計34個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が4、奨励表彰が28、努力表彰が2であり、小学校が5（個人3、団2）、中学校が6（個人2、団体4）、高校が23（個人15、団体8）である。

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

平成25年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	善行 (人命救助)	小個	一関市立金沢小学校 2年 菅原 穂乃花	平成25年2月27日、一関市花泉町内で発生した水難事故について、通報依頼を行うなど人命救助に貢献し、一関市消防本部から感謝状が贈られた。
2	善行 (人命救助)	中団	一関市立花泉中学校 1年 亀岡紗衣 熊谷直紀 熊谷茉理奈 菅原駿	平成25年2月27日、一関市花泉町内で発生した水難事故について、通報依頼を行うなど人命救助に貢献し、一関市消防本部から感謝状が贈られた。
3	善行 (人命救助)	高個	岩手女子高等学校 2年 石川 菜央	平成25年5月1日、北上川に入水した女性の救助に携わり、110番通報や救急車の要請を行うなど、人命救助に貢献し、盛岡東警察署長から感謝状が贈られた。
4	奨励 (文化活動)	中団	住田町立世田米中学校 特設木工部	日本木材青壮年団体連合会主催第37回全国児童・生徒木工工作コンクールにおいて、文部科学大臣賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高個	盛岡第四高等学校 2年 福島 志保	第14回高校生国際美術展美術の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
6	奨励 (文化活動)	高個	盛岡市立高等学校 2年 上山 凌	平成24年度財団法人上廣倫理財団主催第26回感動作文コンクールにおいて、文部科学大臣賞を受賞した。
7	奨励 (文化活動)	高団	盛岡第二高等学校 箏曲部	第37回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門において、文化庁長官賞を受賞した。
8	奨励 (文化活動)	高団	雫石高等学校 郷土芸能部	第37回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。
9	奨励 (文化活動)	高団	岩手高等学校 囲碁将棋部	第37回全国高等学校総合文化祭及び第49回全国高等学校将棋選手権大会男子団体戦において優勝し、文部科学大臣賞を受賞した。
10	奨励 (スポーツ)	高個	江南義塾盛岡高等学校 1年 梅村 錬	平成25年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技ミドル級において、第2位に入賞した。
11	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡第一高等学校 3年 荒川 沙絵	平成25年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会女子100mハードルにおいて、第2位に入賞した。
12	奨励 (スポーツ)	高団	沼宮内高等学校 男子ホッケー部	平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技において、準優勝した。
13	奨励 (スポーツ)	高団	宮古高等学校 女子ヨット部	平成25年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技女子FJ級デュエット競技において、第2位に入賞した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

#### 平成25年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	善行 (奉仕活動)	小団	洋野町立宿戸小学校 児童会ボランティア委員会	平成12年からアルミ缶回収活動や「ごみゼロ運動」等に取り組み、第14回環境美化教育優良校等表彰事業において、文部科学大臣賞を受賞した。
2	奨励 (文化活動)	小個	大槌町立吉里吉里小学校 5年 岡谷 開紀	毎日新聞社・毎日小学生新聞・日本児童画振興会主催第32回全国児童画コンクール小学校高学年の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	小団	岩手大学教育学部附属小学校 合唱部	第80回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール小学校の部において、銀賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	中個	滝沢市立姥屋敷中学校 2年 鈴木 綾	第35回全日本中学生水の作文コンクールにおいて、最優秀賞・国土交通大臣賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	中個	久慈市立長内中学校 3年 小倉 環	全国納税貯蓄組合連合会主催第47回中学生の税についての作文で内閣総理大臣賞を受賞した。
6	奨励 (文化活動)	高個	花巻北高等学校 2年 似内 萌花	第28回全国高等学校文芸コンクール散文の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
7	奨励 (文化活動)	高個	盛岡第三高等学校 2年 高橋 真梨	第28回全国高等学校文芸コンクール詩部門において、最優秀賞及び読売新聞社賞を受賞した。
8	奨励 (文化活動)	高団	盛岡第四高等学校 文芸部	第28回全国高等学校文芸コンクール部誌の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
9	奨励 (文化活動)	高団	不来方高等学校 合唱部	第66回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Aグループにおいて、金賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
10	奨励 (スポーツ)	小個	滝沢市立滝沢小学校 6年 中島 千咲代	第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会女子50メートルバタフライにおいて、第1位に入賞した。
11	奨励 (スポーツ)	中団	滝沢市立滝沢南中学校 新体操部	第31回全日本ジュニア新体操選手権大会男子団体競技において、第2位に入賞した。
12	奨励 (スポーツ)	中団	八幡平市立西根第一中学校 相撲部	平成25年度全国中学校体育大会及び第43回全国中学校相撲選手権大会団体において、準優勝した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

13	奨励 (スポーツ)	高個	花巻北高等学校 3年 石川 周平	JOCジュニアオリンピックカップ及び第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会男子110メートルハードルにおいて、第2位に入賞した。
14	奨励 (スポーツ)	高個	紫波総合高等学校 3年 後藤 悠	第68回国民体育大会自転車競技少年男子スプリントにおいて、第2位に入賞した。
15	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡第一高等学校 2年 佐藤 怜音	第32回全国高等学校弓道選抜大会男子の部個人競技において、準優勝した。
16	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡第四高等学校 1年 田代 優仁	第68回国民体育大会陸上競技男子少年B110メートルハードルにおいて、第2位に入賞した。
17	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡みたけ支援学校 高等部2年 民部田 奏	第13回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技ディスタンスレディース・スタンディングにおいて、第1位に入賞した。
18	奨励 (スポーツ)	高個	宮古恵風支援学校 高等部2年 佐藤 彩香	第13回全国障害者スポーツ大会陸上競技女子ソフトボール投げにおいて、第2位に入賞した。
19	奨励 (スポーツ)	高団	盛岡聴覚支援学校 高等部 陸上部	第50回記念全国聾学校陸上競技大会東京大会女子1部4×100mリレーにおいて、第2位に入賞した。
20	努力 (文化活動)	高個	盛岡となん支援学校 高等部3年 坂井 将斗	障がいにならず、生徒会長として何ごとにも真摯に取り組み、第32回肢体不自由児・者のデジタル写真展において、金賞を受賞し、多くの人々に夢や希望を与えた。
21	努力 (文化活動)	高個	盛岡みたけ支援学校 高等部2年 菅野 優希	難病にならず、復興への思い、両親や友人らへの感謝の気持ちを表現した作品が、第38回わたぼうし音楽祭作詞の部等で入選し、多くの人々に勇気や感動を与えた。

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

3 教育相談

平成25年度の相談受理件数は404件、延べ相談件数は1,988件であった。うち、電話相談が1,375件、面接による相談が613件（来所相談342件、訪問相談271件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で216件と53.5%を占めた。次いで、「知能・学業に関すること」が63件（15.6%）となっている。主訴別の相談件数では「集団不適応」と「対人関係」がともに64件と多く、何らかの要因により教室に入れない、友人等と関係が保てない子どもたちの姿が浮かび上がってくる。

不登校の校種別の相談件数は、高校が22件（47.8%）で最も多くなっている。さらに学年別に見ると高校は1年生が最も多く、中学校は2年生、小学校は5年生の相談が多かった。また、不登校の性別の相談件数は、校種が上がるにつれ男子の割合が増えている。

平成25年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は195件、メールは37件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では135件（69.2%）、メール相談では21件（56.8%）である。

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、( )内は%]

内容	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること	1	40	12	10	0	63(15.6)
性格・行動に関すること	4	63	68	79	2	216(53.5)
性に関すること	0	2	2	1	2	7( 1.7)
進路・適性に関すること	2	4	10	14	4	34( 8.4)
精神衛生に関すること	0	1	3	8	3	15( 3.7)
家庭教育一般に関すること	1	11	5	11	0	28( 6.9)
その他	2	13	8	12	6	41(10.2)
計(割合)	10(2.5)	134(33.2)	108(26.7)	135(33.4)	17(4.2)	404(100.0)

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、( )内は%]

主訴	件数(割合)
不登校	46(11.4)
集団不適応	64(15.8)
精神衛生 <small>(情緒障がい 神経症・同疑い)</small>	15( 3.7)
進路相談	34( 8.4)
学業	63(15.8)
いじめ	18( 4.5)
家庭教育 <small>(家庭内暴力等)</small>	28( 6.9)
生活指導	17( 4.2)
対人関係 <small>(交友関係等)</small>	64(15.8)
非行	7( 1.7)
性	7( 1.7)
その他	41(10.1)
計	404(100.0)

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

校種	性別		計
	男	女	
就学前	0	0	0
小学校	2	4	6
中学校	9	9	18
高校	12	10	22
その他	0	0	0
計	23	23	46

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件数	
小1	1	6
小2	0	
小3	0	
小4	0	
小5	5	
小6	0	
中1	3	18
中2	10	
中3	5	
高1	13	22
高2	3	
高3	6	
その他	0	0
計	46	46

## 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

### 第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

体力・運動能力調査を適切に実施し、各学校の現状と課題を的確に捉えた支援や運動部活動の活性化を図るために、地域スポーツ指導者の活用や指導主事の学校訪問指導等に取り組むとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めた。また、家庭や地域との連携により、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化を図られるように努めた。

#### 1 岩手っ子体力アップ運動

##### (1) 学校経営計画における健やかな体の育成に係る目標設定校及び実施割合

[単位：校、%]

	対象校数	実施校数	実施割合
小学校	358	358	100.0
中学校	172	172	100.0
合計	530	530	100.0

##### (2) 指導主事兼保健体育主事等の学校訪問指導

実施回数……小学校264回、中学校188回、合計452回

##### (3) 地域スポーツ指導者を活用した運動部活動等推進事業

###### ア 公立小学校体育実技アシスタント派遣事業

(ア) 派遣期間……平成25年6月～平成26年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……49人

(ウ) 派遣校数……67校

###### イ 中学校体育活動サポート事業

(ア) 派遣期間……平成25年6月～平成26年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……8人

(ウ) 派遣校数……9校

###### ウ 中学校・高等学校運動部活動地域スポーツ指導者派遣事業

(ア) 派遣期間……平成25年6月～平成26年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……15人

(ウ) 派遣校数……16校

##### (4) 小学校体育ステップアップ講習会

ア 期 日……平成26年1月

イ 会 場……北上市

ウ 参加者……小学校教員22人

## 第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

## 1 学校保健

## (1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

## ア 学校保健計画並びに保健室経営計画の立案、周知の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理並びに健康相談の活動を適切に行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立し、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

## イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

## (ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

## (イ) 関係機関団体との連携

- ・(一社)岩手県医師会学校医部会
- ・(一社)岩手県歯科医師会
- ・(一社)岩手県薬剤師会岩手県学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

## (2) 岩手県学校保健功労者表彰

	氏名	職名	現所属等
1	木村英一	元岩手県医師会学校医部会幹事	
2	佐藤保	学校歯科医	盛岡市立大宮中学校
3	小田澄	学校医	盛岡市立下小路中学校他
4	梅村和子	学校薬剤師	盛岡市立手代森小学校他
5	篠村達雅	学校医	雫石町立雫石中学校他
6	佐渡豊	学校医	岩手町立浮島小学校他
7	畠山良彦	学校歯科医	花巻市立桜台小学校
8	横山雅年	学校薬剤師	奥州市立藤里小学校他
9	根本昌幸	学校歯科医	一関市立赤荻小学校他
10	吉澤熙	学校医	陸前高田市立小友小学校他
11	植田俊郎	学校医	大槌町立大槌北小学校
12	山口美千代	学校薬剤師	岩泉町立岩泉小学校他
13	関根英雄	学校医	宮古市立第一中学校他
14	青木一	学校歯科医	洋野町立種市小学校他
15	藤田良二	学校医	二戸市立浄法寺小学校
16	川口仁志	県学校保健会高等学校部会会長	岩手県立不来方高等学校
17	菊池博美	元養護教諭	元県立盛岡視覚支援学校

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第2 健康教育の充実

## 2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声がけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成24年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は下表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

### (1) 災害発生件数 [単位：件、%]

区分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所	441	1.20
小学校	3,047	4.60
中学校	3,781	10.29
高等学校	2,738	7.25
高等専門学校	33	3.87
計	10,040	5.63

### (2) 学校安全関係職員研修 [単位：人]

研修の名称	期日	場所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成25年10月14日～18日	茨城県つくば市	4 [高1、指導主事3]
交通安全教育指導者講習会	平成25年9月18日	盛岡市	87 [小3、中2、高78、特4]
防犯教室講習会	平成25年7月9日	盛岡市	77 [幼1、小15、中13、高34、特9、他5]

## 3 食育・学校給食

小中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制が整備され、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」により、計画的な推進が図られている。また、小中学校、高等学校の管理職、教諭を対象とした食育推進研修会において、学校における食育の推進が図られるよう、小学校、中学校、高等学校における実践例発表の機会を設けた。

学校給食施設のドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び「学校給食施設の区分」に従い汚染作業区域・非汚染作業区域等に区分するよう整備促進に努め、学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底を図った。さらに、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会を開催し、食に関する指導の充実、給食管理の充実及び衛生管理の充実に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(1) 学校給食の実施状況（平成25年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	完全給食		その他の方式		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	341 (95.0)	63,631 (97.1)	— (—)	— (—)	10 (2.8)	1,163 (1.8)	8 (2.2)	724 (1.1)	359 (100)	65,518 (100)
中学校	151 (87.8)	28,822 (79.5)	— (—)	— (—)	4 (2.3)	692 (1.9)	17 (9.9)	6,745 (18.6)	172 (100)	36,259 (100)
夜間定時制高等学校	3 (100)	44 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	44 (100)
特別支援学校	12 (92.3)	1,306 (95.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (7.7)	61 (4.5)	13 (100)	1,367 (100)

注：小学校は市町村立学校分、中学校は市町村立学校と県立学校分、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成25年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	単独調理方式		共同調理方式 (69か所)		その他の調理方式		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	56 (16.4)	16,950 (26.6)	285 (83.6)	46,681 (73.4)	— (—)	— (—)	341 (100)	63,631 (100)
中学校	6 (4.0)	1,152 (4.0)	145 (96.0)	27,670 (96.0)	— (—)	— (—)	151 (100)	28,822 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(3) 米飯給食の実施状況（平成25年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	自校（共同調理場）炊飯		委託炊飯		自校・委託併用		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	169 (49.6)	28,347 (44.5)	169 (49.6)	34,629 (54.5)	3 (0.8)	655 (1.0)	341 (100)	63,631 (100)
中学校	70 (46.4)	11,828 (41.0)	81 (53.6)	16,994 (59.0)	— (—)	— (—)	151 (100)	28,822 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況(平成25年5月1日現在) [単位：人]

区 分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県 費)	23	60	1	84
学校栄養職員	(県 費)	11	24	—	35
	(市町村費)	20	6	4	30
(計)		(54)	(90)	(5)	(149)
調理員	(市町村費)	148	263	—	411

注：調理員は常勤職員のみ

(5) 学校給食費の状況(保護者負担額、平成25年5月1日現在) [単位：円、回]

区 分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	257	4,139	177
中学校	296	4,690	174

注：小学校は中学年（3・4年）分

(6) 学校給食優良学校等表彰

盛岡市立浅岸小学校  
山田町立大浦小学校

(7) 学校給食功労者表彰

宮古市立新里学校給食センター 伊 藤 百合子  
山田町立大浦小学校 刈 屋 保 子

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第3 指導者の資質・授業力向上

### 第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上を図った。

#### 1 学校体育関係職員の研修

[単位：人]

No.	研修会名 [内容]	期 日	会 場	参加者数
1	小学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、器械運動系、陸上運動系、 ボール運動系]	平成25年6月13日～14日	盛岡市	小学校教員 48
2	中・高等学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、バドミントン、ダンス、柔 道、剣道]	平成25年6月27日～28日	盛岡市	中学校教員 62 高校教員 65
3	地区別小学校体育実技講習会	平成25年6月～8月	各教育事 務所管内	小学校教員 延べ 544
4	運動部活動指導者研修会 [ソフトテニス、ソフトボール]	平成25年10月29日～30日	盛岡市	中学校教員 47 高校教員 18
5	子どもの体力向上指導者養成研修 ・幼稚園 [基礎的な動きづくり] ・小学校 [体づくり運動、器械運動系、陸上 運動系、ボール運動系] ・中学校 [バドミントン、ダンス、剣道] ・高校 [体づくり運動]	平成25年5月21日～24日	札幌市	小学校教員 3 中学校教員 3 指導主事 3

#### 2 学校保健関係職員の研修

##### (1) 県 内

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	養護教諭研修会	平成25年7月24日～26日	盛岡市	41[小20、中15、高6]
2	第46回東北学校保健大会兼第49回岩手県学校健 康教育研究大会	平成25年8月6日～7日	盛岡市	684
3	学校保健講習会	平成25年9月13日	盛岡市	68[小24、中26、高16、特2]
4	子供の心のケア対策研修会	平成26年1月8日	盛岡市	347

##### (2) 県 外

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	全国養護教諭研究大会	平成25年8月8日～9日	山梨県甲府市	5[小2、中1、高2]
2	全国学校保健研究大会	平成25年11月7日～8日	秋田県秋田市	8[小5、中2、高1]
3	健康教育指導者養成研修（健康コース）	平成25年12月17日～20日	茨城県つくば市	6[小3、中2、高1]
4	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	平成25年9月5日～6日	徳島県徳島市	2[小1、高1]
5	全国学校歯科保健研究大会	平成25年10月17日～18日	熊本県熊本市	2[中1、高1]

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第3 指導者の資質・授業力向上

### 3 学校安全関係職員研修

本節第2の2(2)を参照。(p.58)

#### (1) 県内

No.	研修名	期日	場所	参加者数
1	衛生管理推進等研修会	平成25年6月7日	盛岡市	75
2	栄養教諭等研修会	平成25年8月21日	盛岡市	23
3	食育推進研修会	平成25年8月27日	宮古市	78

#### (2) 県外

No.	研修名	期日	場所	参加者数[内訳]
1	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成25年7月31日 ～8月1日	奈良県奈良市	2[小1、特1]
2	全国学校給食研究協議大会	平成25年10月31日 ～11月1日	三重県津市	1[小1]
3	健康教育指導者養成研修食育（推進） コース	平成25年7月9日～12日	茨城県つくば市	2[小1、中1]
4	健康教育指導者養成研修食育（専門） コース	平成25年11月5日～8日	茨城県つくば市	4[小3、中1]
5	学校給食の衛生管理に関する指導者講習 会	平成25年6月27日～28日	茨城県つくば市	2[小2]
6	食の安全に関する実技講習会	平成25年10月9日～11日	東京都	1[小1]

#### (3) その他

No.	主催	研修会名	期日	場所	参加者数
1	(公社)全国学校栄養 士協議会岩手県支 部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職 員研修会	平成25年6月28日	盛岡市	109
2		岩手県栄養教諭・学校栄養職 員研究大会	平成25年12月6日	盛岡市	124
3	(公財)岩手県学校給 食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成25年7月25日 ～26日	盛岡市	45
4		学校給食調理員研修会	平成25年8月6日	盛岡市	227
5		学校給食調理コンクール	平成26年1月9日	盛岡市	24

## 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

### 第1 「就学指導」から「就学支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」より、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月）が公表された。また、平成25年9月には学校教育法施行令の一部を改正する政令が公布され、障がいのある児童生徒等の就学先決定の仕組みに関する改正が行われた。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の機能向上に向けて取り組んだ。

#### 1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわる支援体制の整備

就学指導にかかわって各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズ、困難なケース等の相談、支援への助言を行うために、特別支援教育エリアコーディネーターを県就学指導委員会調査員（就学支援アドバイザー）に任命し、市町村における就学指導委員会を支援する体制を整えた。就学支援アドバイザーの活動状況（平成25年4月～平成26年1月）は、計63回であった。

#### 2 県就学指導委員会委員の在り方の検討

上記報告を受けて県就学指導委員会の名称及び在り方についても、今後検討していく予定である。

### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育にかかわる研修や相談にかかわる業務を効果的に推進するため、各教育事務所に特別支援教育エリアコーディネーター（教諭兼指導主事）を1名配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育室及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一歩調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

#### 2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校のセンター的機能により地域の幼稚園、保育所、小、中学校、高等学校等への相談や研修等への支援が進められた。また、幼稚園、小、中学校特別支援学級等95校を対象に、年数回訪問しての継続型訪問支援を実施した。

#### 3 特別支援教育研修資料の作成

平成25年度は、副次的な籍「交流籍」を活用した『交流及び共同学習ハンドブック』を作成し、県内の公立小中学校へ配付した。

#### 4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

県単独事業により県立高等学校24校へ特別支援教育支援員26名を配置し、障がい等によって個

別の指導及び支援の必要な生徒への支援の充実を図った。

(特別支援教育支援員配置校)

盛岡農業高等学校、葛巻高等学校、平舘高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校、大迫高等学校、西和賀高等学校、前沢高等学校、岩谷堂高等学校、花泉高等学校、千厩高等学校、大東高等学校、住田高等学校、大船渡東高等学校、釜石高等学校定時制、釜石商工高等学校、遠野緑峰高等学校、山田高等学校、宮古北高等学校、宮古水産高等学校、久慈高等学校校長内校、福岡高等学校及び定時制、軽米高等学校、一戸高等学校

### 第3 特別支援教育の理解促進

#### 1 小・中学校 PTA 学習会の実施

障がいをもつ児童生徒の保護者を対象とした特別支援教育や発達障がいに関わる理解を図るためのPTA学習会を実施した。平成25年度は30校において実施した。

#### 2 幼稚園及び保育所を対象とした研修会の実施

幼稚園、保育所、療育関係者等を対象として幼児期の障がいの基本的理解や対応について、また園内の特別支援教育の推進を図るための研修会を盛岡市と釜石市の2か所で開催した。盛岡会場では90名が参加し、釜石会場では25名の参加を得た。

#### 3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

平成25年度は、盛岡青松支援学校、花巻清風支援学校、前沢明峰支援学校において、特別支援教育ボランティア養成講座を開催した。さらに修了者が登録するボランティアバンクについて周知と活用を図り、小・中学校及び特別支援学校における活用を図った。

平成25年度のボランティア活動実績は、小学校と特別支援学校において延べ58件、87名が活用された。

## 第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

### 1 公的機関における職場実習の受け入れ

県庁の各部においては、教育委員会（2名）、商工労働観光部（3名）、保健福祉部（2名）、総務部、環境生活部、盛岡広域振興局、労働委員会事務局（7名）との連携した事業により、県庁内で特別支援学校高等部生徒8名の現場実習を受け入れた。各機関において、3日～3週間に渡って実習を実施した。

### 2 関係機関との連携

岩手労働局、岩手障害者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を盛岡峰南高等支援学校で開催するなど、関係機関と連携を図った。

### 3 啓発リーフレットの作成

特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓のため、企業事業所向けの啓発リーフレットを作成し、学校の進路指導において活用できるようにした。

### 4 企業との連携協議会の設置

平成25年度は、盛岡地区、花巻地区、北上地区、胆江地区、一関地区、大船渡・陸前高田地区、釜石地区、宮古地区、久慈地区において62企業・事業所の参加を得て企業との連携協議会を立ち上げ、各地区で2～3回実施した。特別支援学校の指導や高等部生徒の学習の様子について企業の理解を深め、また、参加企業から指導内容等についての助言を受けることができた。

## 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

#### 1 県立高等学校新整備計画

##### (1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画の大まかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・花巻北高校と東和高校を統合して花巻北高校とし（東和高校は平成21年度末まで存続）、
- ・水沢高校と胆沢高校を統合して水沢高校とし（胆沢高校は平成21年度末まで存続）、
- ・高田高校と広田水産高校を統合して高田高校とし、
- ・大船渡農業高校と大船渡工業高校を統合して大船渡東高校とし、
- ・釜石南高校と釜石北高校を統合して釜石高校とするとともに、
- ・遠野高校情報ビジネス校、宮古高校川井校、久慈高校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・久慈高校長内校を昼間部と夜間部の多部制高校とし、
- ・浄法寺高校を福岡高校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高校定時制課程と水沢商業高校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高校奥州校を多部制単位制高校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高校田野畑校を本校に統合した（岩泉高校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

##### (2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数 （学級）			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83
17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総合的な専門高校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]	
総合学科高校	<input type="checkbox"/> 一戸[改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]
普通高校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビジネス[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制(多部制・単位制)				久慈ブロック	
	<input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。				
中高一貫教育校 コミュニティ・ スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数(学科改編を含む)の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1学年2学級校の取扱い】

- (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。
- (3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校(1学級規模)の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

## 2 第二次県立高等学校整備計画（仮称）

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組を強固にすることが重要であることから、「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成21年5月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内9ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9月17日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成21年12月24日に、概ね10年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリックコメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成22年3月17日に成案を策定した。

これを指針として、平成23年上半期の策定を目途に「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成22年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内9ブロックにおいて3回ずつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内9ブロックにおいて2回ずつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計11回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

しかし、東日本大震災津波の発生に伴い、甚大な被害及びその影響を踏まえ計画の策定は見送ることとし、策定の時期については、県内各ブロックにおける、震災後の児童・生徒数の動向・推移等を見据えつつ、被災地における公共交通機関の復旧による通学事情の改善など、教育に関わる環境整備の状況も考慮しながら、改めて調整・検討することとした。

また、学級数調整については、東日本大震災津波による被害等を考慮し、平成24年度は実施しなかったが、中学校卒業生数の減少は続いていることから、平成25年度から再開した。

## 3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。

平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一

貫教育校の教育内容や県立中学校の入学者選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度末には、第1回入学生が卒業し、全員一関第一高等学校に入学することとなった。

平成25年度の岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜検査は、211人（男子103人、女子108人）が受検し、80人（男子40、女子40人）が入学することとなった。

#### 4 公立高等学校入学者選抜について

(1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学者選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学者選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

##### ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

##### イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

##### ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

##### エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学者選抜から撤廃した。

(2) 平成16～18年度入学者選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

##### ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学者選抜及び推薦入学者選抜を行う。

一般入学者選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学者選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

##### イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成22年6月25日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、計6回の会議を経て、平成23年12月に「平成27年度以降の県立高校入試の改善について（提言）」が提出された。県教育委員会では、提言をもとに素案を作成し、パブリックコメント等で寄せられた意見等も踏まえながら、「平成28年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜の実施方法」をまとめた。（平成24年3月23日）

主な改善点は以下のとおり

ア 推薦入試合格（内定）者に対して、学力検査問題を活用した学力調査を実施する。

イ 現行では、2、3年生が対象となっている調査書の評定換算点に1年生も加える。

ウ ABC選考で学校裁量を広げる。（A選考のみ、AB選考のみ、AC選考のみも設定可能とした。）

エ 「再募集」を「二次募集」と名称変更し、「定員の概ね10%より多い欠員」としていた実施基準を「定員の10%以上の欠員」と明確にした。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

##### 第2 学校施設の耐震化の推進

## 第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成26年4月1日現在)

### 1 県立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	100.0%	100.0%	88.9%	92.5%	±0.0%	+3.6%
高等学校	81.2%	84.1%	86.2%	90.0%	+2.9%	+3.8%
特別支援学校	100.0%	100.0%	94.6%	96.5%	±0.0%	+1.9%
幼稚園	—	—	79.4%	83.6%	—	+4.2%
計(平均)	84.7%	86.8%	88.3%	91.9%	+2.1%	+3.6%

※1 (小)中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下、同様)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下、同様)

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	—	—	82.3%	85.9%	—	+3.6%
高等学校	95.5%	95.7%	70.4%	75.0%	+0.2%	+4.6%
特別支援学校	—	—	94.8%	96.9%	—	+2.1%
幼稚園	—	—	85.0%	88.3%	—	+3.3%
計(平均)	95.5%	95.7%	82.1%	85.9%	+0.2%	+3.8%

### 2 市町村立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	86.8%	90.4%	88.9%	92.5%	+3.6%	+3.6%
高等学校	63.6%	38.5%	86.2%	90.0%	-25.1%	+3.8%
特別支援学校	—	—	94.6%	96.5%	—	+1.9%
幼稚園	82.8%	82.8%	79.4%	83.6%	+0.0%	+4.2%
計(平均)	86.6%	89.8%	88.3%	91.6%	+3.2%	+3.6%

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	H25.4.1 現在	H26.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	86.1%	88.9%	82.3%	85.0%	+2.8%	+3.6%
高等学校	—	—	70.4%	75.0%	—	+4.6%
特別支援学校	—	—	94.8%	96.9%	—	+2.1%
幼稚園	100.0%	100.0%	85.0%	88.3%	0.0%	+3.3%
計(平均)	87.8%	90.4%	82.1%	85.9%	+3.8%	+3.8%

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

第3 修学資金の支援等

1 特別支援教育就学奨励費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類		給与人員			給与額		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学校給食費		609	277	886	13,584,151	6,410,914	19,995,065
交通費（通学費）		115	19	134	3,022,894	727,981	3,750,875
職場実習交通費		0	1	1	0	1,780	1,780
交流学习交通費		14	6	20	35,947	12,672	48,619
修学旅行費		111	89	200	1,083,668	2,453,222	3,536,890
校外活動費	宿泊を伴わないもの	422	143	565	242,348	111,431	353,779
	宿泊を伴うもの	80	81	161	70,871	89,088	159,959
学用品等購入費		610	274	884	2,693,882	2,284,744	4,978,626
新入学児童・生徒学用品費等		83	72	155	751,575	752,811	1,504,386
体育実技用具費	柔道	0	6	6	0	10,912	10,912
	剣道	0	0	0	0	0	0
	スキー	20	10	30	208,904	139,753	348,657
	スケート	0	0	0	0	0	0
拡大教材費		0	0	0	0	0	0
合 計		703	287	990	21,694,240	12,995,308	34,689,548

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	2,901
八幡平市	192
雫石町	55
葛巻町	12
岩手町	207
滝沢市	543
紫波町	256
矢巾町	273
花巻市	1,638
遠野市	272
北上市	1,292
西和賀町	33

市町村名	国庫補助金額
奥州市	896
金ケ崎町	302
一関市	1,496
平泉町	105
大船渡市	218
陸前高田市	106
住田町	45
釜石市	122
大槌町	41
宮古市	416
山田町	52
岩泉町	82

市町村名	国庫補助金額
田野畑村	0
久慈市	299
洋野町	167
野田村	36
普代村	39
二戸市	297
軽米町	117
九戸村	0
一戸町	181
合 計	12,691

第3章 教育施策の推進状況  
 第6節 学校教育を支える教育環境の充実  
 第3 修学資金の支援等

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	0	1	1	0	14,466	14,466
新入学児童・生徒用学用品費等	0	0	0	0	0	0
通学用品費	0	1	1	0	1,466	1,466
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	0	1	1	0	754	754
校外活動費（宿泊を伴うもの）	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	93	110	203	1,845,351	7,023,674	8,869,025
通学費	0	0	0	0	0	0
体育 実技 用具 費	柔道	0	0	0	0	0
	剣道	0	0	0	0	0
	スキー	0	0	0	0	0
	スケート	0	0	0	0	0
医療費	153	61	214	3,690,436	1,517,210	5,207,646
学校給食費	0	1	1	0	34,186	34,186
合 計	—	—	—	5,535,787	8,591,756	14,127,543

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,835,000	1,262,814	17,000	3,114,814
八幡平市	22,000	38,000	0	60,000
雫石町	8,000	0	0	8,000
葛巻町	29,000	15,525	0	44,525
岩手町	52,000	12,710	0	64,710
滝沢市	202,000	112,865	0	314,865
紫波町	79,000	25,980	0	104,980
矢巾町	27,000	14,000	0	41,000
花巻市	466,000	108,000	0	574,000
遠野市	127,000	84,000	0	211,000
北上市	234,000	114,644	0	348,644
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	133,000	102,000	0	235,000
金ヶ崎町	0	0	0	0
一関市	362,000	67,000	0	429,000
平泉町	30,000	0	0	30,000
大船渡市	66,000	30,000	0	96,000
陸前高田市	29,000	0	0	29,000
住田町	0	0	0	0
釜石市	129,000	66,000	0	195,000
大槌町	32,000	0	0	32,000
宮古市	125,000	72,000	0	197,000
山田町	140,000	42,800	0	182,800
岩泉町	39,000	88,000	0	127,000
田野畑村	0	0	0	0
久慈市	138,000	52,000	0	190,000
洋野町	27,000	69,000	0	96,000
野田村	0	0	0	0
普代村	0	0	0	0
二戸市	0	0	0	0
軽米町	27,000	0	0	27,000
九戸村	67,000	25,000	0	92,000
一戸町	0	54,000	0	54,000
合 計	4,425,000	2,456,338	17,000	6,898,338

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

3 被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金（被災児童生徒就学援助事業）

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	2,148	1,442	3,590	26,512,634	34,110,059	60,622,693
体育実技用具費	7	18	25	138,094	72,114	210,208
新入学用品費	280	426	706	5,572,925	9,808,800	15,381,725
通学用品費	1,631	921	2,552	3,347,361	1,790,221	5,137,582
通学費	624	475	1,099	85,085,607	73,955,852	159,041,459
修学旅行費	397	530	927	7,375,543	33,247,169	40,622,712
校外活動費（宿泊無し）	603	70	673	484,247	90,088	574,335
校外活動費（宿泊有り）	125	242	367	160,479	650,049	810,528
クラブ活動費	2	580	582	780	13,676,072	13,676,852
生徒会費	83	530	613	298,280	1,076,856	1,375,136
P T A会費	660	515	1,175	1,457,258	1,518,478	2,975,736
医療費	244	126	370	1,539,156	1,066,440	2,605,596
学校給食費	2,148	1,438	3,586	92,924,289	69,633,185	162,557,474
合 計	—	—	—	224,896,653	240,695,383	465,592,036

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	2,856,000	0	2,638,000	5,494,000
八幡平市	158,000	0	84,000	242,000
雫石町	95,000	0	198,000	293,000
葛巻町	89,000	0	101,000	190,000
岩手町	57,000	0	47,000	104,000
滝沢市	840,000	26,000	1,053,000	1,919,000
紫波町	363,000	0	563,000	926,000
矢巾町	80,000	0	136,000	216,000
花巻市	1,109,000	11,000	1,036,000	2,156,000
遠野市	330,000	3,000	663,000	996,000
北上市	351,000	0	531,000	882,000
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	365,000	0	430,000	795,000
金ヶ崎町	33,000	0	40,000	73,000
一関市	2,204,000	4,000	2,371,000	4,579,000
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	43,634,000	873,000	32,536,000	77,043,000
陸前高田市	75,914,000	400,000	28,220,000	104,534,000
住田町	102,000	0	300,000	402,000
釜石市	69,908,000	367,000	30,046,000	100,321,000
大槌町	14,335,000	471,000	20,954,000	35,760,000
宮古市	72,652,000	283,000	29,661,000	102,596,000
山田町	7,009,000	141,000	1,686,000	8,836,000
岩泉町	822,000	0	1,392,000	2,214,000
田野畑村	2,132,000	0	1,932,000	4,064,000
久慈市	1,788,000	15,000	2,219,000	4,022,000
洋野町	67,000	7,000	182,000	256,000
野田村	1,404,000	0	2,034,000	3,438,000
普代村	1,574,000	0	1,408,000	2,982,000
二戸市	145,000	0	87,000	232,000
軽米町	0	0	0	0
九戸村	0	0	0	0
一戸町	0	0	0	0
合 計	300,416,000	2,601,000	162,548,000	465,565,000

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

4 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費(台)	(3) 15	5	(3) 20	(6,500,000) 34,420,000	12,390,000	(6,500,000) 46,810,000
寄宿舎居住費 (人)						
高度へき地修学旅行費(人)	4	5	9	11,800	71,200	83,000
遠距離通学費 (人)	22	15	37	1,555,393	1,915,607	3,471,000

※スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。( )内が共用している台数・金額(内数)

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	スクールバス購入費	寄宿舎居住費	高度へき地修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市			24			24
八幡平市					60	60
雫石町						
葛巻町					449	449
岩手町					183	183
滝沢市						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市					20	20
北上市						
西和賀町					195	195
奥州市	15,000				28	15,028
金ヶ崎町						
一関市	10,420					10,420
平泉町						
大船渡市						
陸前高田市				1,593		1,593
住田町					29	29
釜石市						
大槌町						
宮古市	2,390				63	2,453
山田町						
岩泉町			59	1,176	67	1,302
田野畑村					190	190
久慈市				702	251	953
洋野町					91	91
野田村						
普代村						
二戸市	2,500					2,500
軽米町	16,500				34	16,534
九戸村						
一戸町						
合計	46,810		83	3,471	1,660	52,024

5 育英・奨学（財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

また、東日本大震災津波に被災した世帯の高校生を対象とした奨学金の貸付事業（タイプC：震災特例）を新設し、事業を行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

イ タイプB（予約採用）

（ア） 貸与月額（選択制）

15,000円、20,000円、25,000円、  
30,000円

（イ） 入学一時金

公立50,000円、私立100,000円

ウ タイプC（震災特例）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

(2) 奨学生の採用

ア タイプA（平成25年度採用）

[単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	155	103	16	24	12
在 学	332	163	7	137	25
緊 急	2	2			
合 計	489	268	23	161	37

イ タイプB（平成25年度採用、予約採用のみ）

[単位：人]

採用人数	貸与月額				区 分	
	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円	母子・父子家庭	経済困難
24	3	3	1	17	14	0

ウ タイプC（平成25年度採用）

[単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
113		97	6	4	6

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等 第4 教育環境の整備

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA (平成25年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	761	164,088
	自宅外通学	62	16,928
私 立	自宅通学	411	147,690
	自宅外通学	96	40,180
合 計		1,330	368,886

イ タイプB (平成25年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	年 額
奨学金	15,000円	9	1,620
	20,000円	8	1,920
	25,000円	14	4,200
	30,000円	52	18,720
入学一時金	50,000円	(13)	650
	100,000円	( 4)	400
合 計		83	27,510

ウ タイプC (平成25年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	177	37,818
	自宅外通学	16	4,623
私 立	自宅通学	6	2,160
	自宅外通学	23	9,580
合 計		222	54,181

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成25年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況

[単位：㎡、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助 対象面積		
国庫補助	校舎改築	花巻農業	木造	852.45	815	301,320	H25
	体育館新築	高田	鉄骨	1,263	1,263	321,899	H25
県 単 独	弓道場改築	盛岡商業	木造	167.67		37,659	H25

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成25年4月1日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
303,243 m <sup>2</sup>	153,073 m <sup>2</sup>	50.5%

(3) 平成25年度特殊教育設備事業 [単位：千円]

区分	金額
特殊教育設備	-
一般教育設備	5,580
情報処理教育設備	2,372
校舎等増改築設備	-
計	7,952

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況 (平成25年4月1日現在)

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
25,626,610,000 円	5,654,524,972 円	22.1 %

(5) 理科教育等設備

ア 平成25年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
盛岡第三	347	347	大東	528	528
平舘	319	319	住田	274	274
葛巻	262	262	遠野	268	268
盛岡北	571	571	遠野緑峰	647	647
盛岡南	300	300	大野	171	171
一関第二	776	776			
計				4,463	4,463

(イ) 中学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
-	-	-

(ウ) 特別支援学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
-	-	-

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

イ 学校種別現有状況（平成24年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成24年度補助金 交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1項第1号に基づく補助 理科教育振興法第9条第 算数数学特別設備	理科設備	中学校	1	22,344	1,798	8.0	0
		高等学校	66	6,873,966	685,157	10.0	8
		特別支援学校	14	933,704	39,656	4.3	0
		計	81	7,830,014	726,611	9.2	8
	算数数学特別設備	中学校	1	2,364	0	0	0
		高等学校	66	138,666	17,567	12.7	0
		特別支援学校	14	36,803	7,355	20.0	0
		計	81	177,833	24,922	14.0	0

(注) 1 県立学校分を記載（被災により高田高校除く）

2 一関一高付属中学校は、平成21年4月開校

(6) 平成25年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
<b>【高等学校】</b> 21校 盛岡農業、盛岡工業、盛岡商業、平舘、紫波総合、花北青雲、黒沢尻工業、水沢工業、一関工業、花泉、大船渡、遠野緑峰、山田、宮古、宮古工業、宮古商業、久慈、久慈長内校、久慈東、種市、大野 <b>【特別支援学校】</b> 3校 盛岡聴覚、一関清明、宮古恵風	102,750千円

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積			計 [b]	整備資格面積 (注2) [c]	c/a	危険面積 (注3) [d]	d/b						
		鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	木造											
小学校	校舎	1,102,795	(90.2%) 948,586	(2.2%) 23,039	(7.6%) 80,070	1,051,695	131,565	11.9%	20,894	2.0%					
	屋体	348,356	(16.4%) 47,225	(78.9%) 226,633	(4.7%) 13,438						287,296	70,011	20.1%	2,617	0.9%
	計	1,451,151	(74.4%) 995,811	(18.6%) 249,672	(7.0%) 93,508										
中学校	校舎	618,397	(93.6%) 587,632	(2.7%) 17,039	(3.7%) 23,327	627,998	43,548	7.0%	18,480	2.9%					
	屋体	202,404	(17.8%) 32,240	(80.3%) 145,781	(1.9%) 3,388						181,409	31,273	15.5%	1,976	1.1%
	計	820,801	(76.6%) 619,872	(20.1%) 162,820	(3.3%) 26,715										
合計	校舎	1,721,192	(91.4%) 1,536,218	(2.4%) 40,078	(6.2%) 103,397	1,679,693	175,113	10.2%	39,374	2.3%					
	屋体	550,760	(17.0%) 79,465	(79.4%) 372,414	(3.6%) 16,826						468,705	101,284	18.4%	4,593	1.0%
	計	2,271,952	(75.2%) 1,615,683	(19.2%) 412,492	(5.6%) 120,223										

注1：平成25年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

※東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあっては4,500点以下、木造にあっては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用校地面積
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,348,953	2,997,650	1,119,141	6,465,744	81,582
中学校	1,520,032	2,529,350	808,610	4,857,992	109,810
計	3,868,985	5,527,000	1,927,751	11,323,736	191,392

注：数値は平成25年度のもの（東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く）

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	単年度事業			国債事業			計		
	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額
小学校・校舎	1	627	75,549	1	213	31,010	2	840	106,559
中学校・校舎				1	492	60,247	1	492	60,247
小学校・屋体				1	161	22,147	1	161	22,147
中学校・屋体				2	797	112,538	2	797	112,538
統合	1	279	51,748	4	8,905	867,157	5	9,184	918,905
危険改築	17	15,937	1,913,088				17	15,937	1,913,088
不適格(地震)改築	14	4,376	412,225				14	4,376	412,225
大規模改造	19	11,616	126,325				19	11,616	126,325
地震補強	8	19,886	215,969				8	19,886	215,969
その他	14	9,437	351,792				14	9,437	351,792
合計	74	62,158	3,146,696	9	10,568	1,093,099	83	72,726	4,239,795

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は学校水泳プール、調理場、グラウンド、太陽光発電等の整備

【市町村別の状況（単年度事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額				備考
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格(地震)改築		合計		大規模改造	地震補強	その他	計	
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体					
盛岡市	土淵小											584	584			53,549	53,549	
	土淵中											229	229			20,998	20,998	
	向中野小															18,758	18,758	プール
	城東中											991	991			101,075	101,075	
雫石町	雫石中														123,188	123,188		
八幡平市	西根一中													20,185	16,372	36,557		
滝沢市	滝沢二小													7,207		7,207		
	鶴飼小													5,381		5,381		
	滝沢南中														60,668	60,668	武道場	
花巻市	南城小													4,564		4,564		
	矢沢小													4,346		4,346		
	湯口小													4,318		4,318		
	桜台小													6,308		6,308		
	宮野目中													5,564		5,564		
一関市	山目小								687				687			33,772	33,772	
	東山中								1,480				1,480			167,966	167,966	
	舞川幼														12,394	12,394		
	真滝幼														12,395	12,395		
遠野市	綾織小											78	78	23,028		23,028		
	遠野中								122				122			32,392	32,392	

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額				備考	
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格(地震)改築		合計		大規模改造	地震補強	その他	計		
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体						
宮古市	崎山小							1,383					1,383			217,479	217,479	太陽光	
	宮古小													40,299		40,299			
	津軽石小													2,888	14,733	17,621	防災機能		
	磯崎小												8,653	2,929		11,582			
	高兵小													5,504		5,504			
久慈市	久慈小	627						277	177	14	2	918	179	3,581		175,669	179,250	屋外環境	
	大川目小													19,213		19,213			
	長内小													2,314		2,314			
洋野町	種市小							279	2,815	706	892		3,707	985		657,097	657,097	太陽光	
二戸市	福岡中							5,726		309	1,277	6,035	1,277			835,593	835,593	プール、武道場、太陽光	
軽米町	軽米小							2,092	472			2,092	472			414,653	414,653		
金ヶ崎町	金ヶ崎小													7,921		7,921			
	西小													3,742		3,742			
計		627						279	14,582	1,355	2,284	2,092	17,493	3,726	126,325	215,969	2,804,402	3,146,696	

※ 交付決定単位で事業が完了したものの交付決定額を計上。(概算払いのみで繰越した事業は含まない)

【市町村別の状況(国債事業分)】

[単位: m<sup>2</sup>, 千円]

市町村名	学校名	補助対象面積								負担金交付決定額		備考		
		小校	中校	小屋	中屋	統合		合計		左のうち 当該年度分				
						校舎	屋体	校舎	屋体					
宮古市	崎山小	213							213		31,010	31,010	繰越分含む	
奥州市	前沢小							6,312		6,312	674,168	524,368	繰越分含む	
									1,121	1,121	163,887	163,887	繰越分含む	
二戸市	福岡中		492							492	72,450	60,247	繰越分含む	
					234					234	42,682	35,091	繰越分含む	
軽米町	軽米小							1,033		1,033	163,713	114,763	繰越分含む	
									439	439	91,497	64,139	繰越分含む	
盛岡市	土淵小			161						161	22,147	22,147	繰越分含む	
	土淵中				563					563	77,447	77,447	繰越分含む	
計		213	492	161	797			7,345	1,560	8,050	2,518	1,339,001	1,093,099	

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

(3) 理科教育等設備

(ア) 平成25年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	6,850	0	6,850
岩手町	4,201	0	4,201
雫石町	1,304	57	1,361
葛巻町	787	37	824
八幡平市	1,012	103	1,115
滝沢市	3,500	500	4,000
紫波町	764	0	764
花巻市	6,117	2,295	8,412
遠野市	1,000	0	1,000
北上市	973	132	1,105
西和賀町	1,199	0	1,199
奥州市	2,347	531	2,878
一関市	31,100	0	31,100
平泉町	750	0	750
大船渡市	3,235	965	4,200
陸前高田市	4,500	0	4,500
釜石市	2,725	775	3,500
大槌町	471	121	592
宮古市	7,234	0	7,234
山田町	1,500	0	1,500
岩泉町	527	196	723
田野畑村	1,766	0	1,766
久慈市	1,496	0	1,496
洋野町	2,465	148	2,613
野田村	388	139	527
普代村	318	0	318
二戸市	3,870	67	3,937
軽米町	623	0	623
九戸村	832	18	850
一戸町	595	155	750
計	94,449	6,239	100,688

※繰越分を含む。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

(イ) 学校種別現有状況（平成23年度末）

[単位：校、千円、%]

区 分	学校種別	学校数 (25.5.1現在)	基準総額[A]	現有の状況		平成25年度補 助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
理 科 教 育 振 興 法 第 9 条 第 1 項 第 1 号 に 基 づ く 補 助	理 科 設 備	小学校	360	3,722,760	1,329,016	35.7	267
		中学校	174	3,887,856	1,072,998	27.6	137
		高等学校	1	104,151	12,851	12.3	0
		計	535	7,714,767	2,414,865	31.3	404
	算 数 数 学 特 別 設 備	小学校	360	764,640	142,583	18.6	67
		中学校	174	411,336	70,164	17.1	34
		高等学校	1	2,101	0	0.0	0
		計	535	1,178,077	212,747	18.1	101

※文部科学省が実施する理科教育設備等現有状況調査が、平成25年度には実施されなかったため、「現有金額[B]」欄は平成24年度調査（平成23年度末現在）の金額を記載。

## 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

#### 1 「いわて教育の日」推進事業

##### (1) 趣旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組もあわせて実施状況を取りまとめた。

- いわて教育の日 11月1日
- 教育週間 11月1日～7日

##### (2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

「いわて教育の日」記念行事

テーマ 『みんなで育む学びの場いわて』

期 日 平成25年11月1日（金）

会 場 盛岡劇場 メインホール

参加者 県内教育関係者及び一般県民約510人

内容

第1部 記念式典

- 教育表彰 11団体、54個人（⇒19～20ページ「平成25年度岩手県教育表彰」（1）事績顕著者を参照）

第2部 児童生徒による発表

- 盛岡市立仙北小学校

マーチング 「遙かなる大地へ」 天空へ、バードランド、遙かなる大地へ

- 岩手県立宮古高等学校音楽部

合唱 「心に花を咲かせよう」「潮騒のメモリー」「願い ～震災を乗り越えて～」

第3部 記念講演

演題 新たな知識や価値を創造する大人に向かって育つ子どもの姿を求めて  
～復興教育の意義と課題～

講師 山森 光陽 氏（国立教育政策研究所初等中等教育研究部 総括研究官）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### (3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：624事業

参加者数：延べ262,347人

#### 2 地域の教育力向上支援事業

学校教育と社会教育の連携をコーディネートする「地域教育推進員配置事業」の成果を踏まえ、地域連携窓口教員に対する研修の機会の充実を通して地域全体の教育力向上を支援した。

公立小中学校の校内体制としての「地域教育担当（地域連携担当）」系の位置付けを推進し、公立小中学校では全校で位置付けられた（平成25年6月調査）。

#### 3 子どもの読書活動の推進

平成21年6月に策定した「いわて子ども読書プラン2009」により、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

##### (1) 読書ボランティアのための研修会

ア 読書ボランティア研修会(中央研修)

平成25年6月25日 岩手県立生涯学習推進センター（参加：315名）

イ 読書ボランティア研修会(各地区研修)

① 平成25年 7月10日 盛岡教育事務所（参加：47名）

② 平成25年 9月27日～平成26年2月4日  
中部教育事務所（参加：210名）

③ 平成25年 9月29日 県南教育事務所（参加：52名）

④ 平成25年 9月 4日 沿岸南部教育事務所(参加：43名)

⑤ 平成25年 7月24日 宮古教育事務所（参加：37名）

⑥ 平成25年 7月 5日 県北教育事務所（参加：40名）

##### (2) 学校図書館担当者研修会

ア 平成25年 8月 7日 盛岡教育事務所（参加：77名）

イ 平成25年 7月 8日 中部教育事務所（参加：62名）

ウ 平成25年10月 7日 県南教育事務所（参加：63名）

エ 平成25年 9月10日 沿岸南部教育事務所（参加：30名）

オ 平成25年 8月 5日 宮古教育事務所（参加：53名）

カ 平成25年 6月20日 県北教育事務所（参加：53名）

##### (3) 読書活動の普及・啓発

ア 「いわて子ども読書プラン2009」の周知

啓発リーフレットを配布するとともに、HP等を通じた周知を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

- イ 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」の再配付・増刷  
平成25年度新中1年生分を増刷し、配付した。(平成26年3月)

#### (4) 読書活動の推進体制の整備

##### ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会

- ① 第1回委員会 平成25年6月 5日
- ② 第2回委員会 平成26年1月29日

##### イ 各地区推進体制の整備

- ① 平成26年 2月 3日 盛岡教育事務所 (参加:16名)
- ② 平成25年 7月11日 中部教育事務所 (参加:12名)
- ③ 平成25年 7月19日 県南教育事務所 (参加:17名)
- ④ 平成25年 5月21日 沿岸南部教育事務所(参加:16名)
- ⑤ 平成25年 2月 4日 宮古教育事務所 (参加:23名)
- ⑥ 平成25年 5月23日 県北教育事務所 (参加:37名)

## 4 教育振興運動

平成25年度は、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第4ステージ「飛躍の2年」の初年度にあたり、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、さらなる飛躍に向けた市町村における取組の定着及び取組状況の再点検を促す推進研修会を実施した。

また、各市町村・地域における運動推進を支援するための市町村・地域活性化研修会を行い、課題に即した支援にあたることができた。

### (1) 県段階における推進活動

#### ア 幹事会

- ① 期 日 平成25年7月19日 平成26年3月5日
- ② 会 場 盛岡地区合同庁舎8階C
- ③ 内 容
  - ・「みんなで教振！10か年プロジェクト」について
  - ・運動の方針、事業実施計画について
  - ・教育振興運動推進研修会について
  - ・事業評価、次年度事業の検討等について
  - ・教育振興運動50周年記念大会について

#### イ 市町村担当者研修会

- ① 趣 旨 教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、全県共通課題の実践事例や課題解決に向けての協議・情報交換により、市町村において教育振興運動を推進する担当者としての役割を確認する研修を行う。
- ② 期 日 平成25年5月14日
- ③ 場 所 アイーナ、県立図書館
- ④ 内 容 説明「教育振興運動について」  
講話「いわての復興教育について」  
5者の連携推進に係る演習  
県立図書館の事業説明と館内見学

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### ウ 教育振興運動推進研修会

- ① 趣 旨 市町村・地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に、地域と家庭・学校の連携に課題解決にあたる教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、全県共通課題に対する5者の役割と具体的な取組及びその評価の方法についての研修を行う。

#### ② 概 要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月7日	盛岡市洪民公民館	189名	・説明 ・事例発表 ・講演
中部地区	6月5日	県立生涯学習推進センター	142名	・説明 ・講演 ・実践事例紹介 ・情報交換
県南地区	6月19日	一関市東山地域交流センター	192名	・説明 ・事例発表 ・講演
沿岸南部地区	6月12日	県立福祉の里センター	115名	・説明 ・実践発表 ・講話
宮古地区	6月24日	宮古市総合福祉センター	106名	・説明 ・講話 ・情報交流
県北地区	6月5日	二戸地区合同庁舎	85名	・説明 ・事例発表 ・ワークショップ

#### エ 市町村・地域活性化研修会

- ① 趣 旨 市町村の悩み・課題を解決するために、より多くの関係者に対して教育振興運動の理念の理解を図るとともに、5者の役割による課題解決の方法についての研修を行う。

- ② 期 間 6月～2月

教育事務所	開催市町村	内 容
盛岡地区	八幡平市 (86名) 雫石町 (39名) 岩手町 (38名) 滝沢村 (50名) 紫波町 (1回目;20名、2回目;70名) 矢巾町 (101名)	・説明 ・講話 ・演習 ・研修 ・事例発表
中部地区	花巻市 (49名) 遠野市 (28名) 北上市 (154名) 西和賀町 (100名)	・説明 ・講演 ・事例発表 ・意見交換 ・グループワーク
県南地区	奥州市 (27名) 一関市 (43名) 平泉町 (40名)	・説明 ・実技 ・講話 ・演習 ・情報交流 ・グループ協議
沿岸南部地区	大船渡市 (39名) 住田町 (22名) 陸前高田市 (1回目;29名、2回目;26名) 釜石市 (46名)	・説明 ・講演 ・グループ協議 ・熟議 ・実技
宮古地区	岩泉町 (14名)	・説明 ・演習
県北地区	久慈市 (29名) 洋野町 (54名) 普代村 (50名) 野田村 (35名) 二戸市 (117名) 軽米町 (44名) 九戸村 (63名) 一戸町 (23名)	・説明 ・ワークショップ ・事例紹介 ・講話 ・体験活動 ・実技研修 意見交換 ・講演 ・講義 ・活動発表

#### (2) 市町村段階における推進活動

※震災の影響により、陸前高田市は未回答、また、大槌町については部分回答。

##### ア 推進組織の状況 [陸前高田市を除く]

単独の組織で教育振興運動を推進	24市町村
他の運動体や組織と合わせて推進	16市町村
その他(他団体が運動を推進)	7市町村

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### イ 実践組織の状況 [陸前高田市を除く]

##### (ア) 実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	227(50.7%)
中学校区	80(17.8%)
公民館区	34(7.6%)
町内会区	73(16.3%)
その他	34(7.6%)
計	448

##### (イ) 実践組織が取り組む主題の数(延べ数) [陸前高田市を除く]

区分	主題の数
学習活動	760
社会参加	628
自然体験	181
郷土芸能	178
文化芸能	161
生活健康	597
世代間交流	377
勤労体験	140
国際理解	55
スポーツ・レクリエーション	208
その他	137
計	3,422

## 5 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

#### ア 委員会の開催

(平成25年5月28日、平成26年2月20日)

#### イ 合同研修会(学校支援ボランティア推進研修会)の開催

(平成25年5月31日 93人)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	本部数
盛岡市	(21)国から直接委託
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	—
岩手町	—
滝沢市	—
紫波町	—
矢巾町	1
花巻市	—
遠野市	—
北上市	—
西和賀町	1
奥州市	5
金ヶ崎町	—
一関市	4
平泉町	1
大船渡市	1
陸前高田市	9
住田町	—
釜石市	2
大槌町	1
宮古市	4
山田町	—
岩泉町	—
田野畑村	2
久慈市	1
普代村	1
洋野町	5
野田村	1
二戸市	—
軽米町	1
九戸村	1
一戸町	2
計	43(21)本部

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。  
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

（国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施）

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 促進委員会の開催

（平成25年5月28日、平成26年2月20日）

イ 指導者合同研修会の開催

（平成25年6月28日 192人、9月11日 142人、11月10日 58人）

ウ 実地調査

（滝沢市、宮古市）

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	運営委員会	子ども教室数
盛岡市	(○)	(6) 国から委託
八幡平市	—	—
雫石町	—	—
葛巻町	○	4
岩手町	—	—
滝沢市	○	2
紫波町	○	3
矢巾町	○	4
花巻市	○	2
遠野市	○	9
北上市	(○)	(3) 市独自
西和賀町	—	—
奥州市	○	14
金ケ崎町	○	1
一関市	○	21
平泉町	○	2
大船渡市	—	—
陸前高田市	○	1

住田町	○	2
釜石市	○	4
大槌町	○	1
宮古市	○	9
山田町	(○)	(3) 町独自
岩泉町	—	—
田野畑村	—	—
久慈市	○	9
普代村	○	1
洋野町	○	5
野田村	(○)	(1) 村独自
二戸市	○	6
軽米町	○	4
九戸村	○	4
一戸町	○	5
計	22(4) 市町村	113(13) 教室

※市町村数の( )は県の委託以外の市町村数

2 少年団活動の支援

(1) 子ども会等少年団体の組織状況

（平成26年3月31日現在）

団体名	団体数	会員人数
ボーイスカウト	13	419
ガールスカウト	12	247
地域子ども会	13	31,204

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

#### (2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者育成事業／プログラム事業
ガールスカウト日本連盟岩手県支部	リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング
岩手県子ども会育成連合会	子ども会活動活性化事業／指導者世話人研修会

### 3 青年団体活動の支援

#### (1) 組織状況 (平成25年5月25日現在)

団体名	構成団体数	会員人数
岩手県青年団体協議会	11	570

#### (2) 事業内容

##### ア 第60次青年問題研究集会

期 日……平成26年1月18日～19日

場 所……岩手県青少年会館

##### イ 第62回岩手県青年大会

###### (ア) 体育部門

期 日……平成25年7月13日

場 所……遠野市

種 目……バレーボール、バスケットボール、軟式野球、柔道

###### (イ) 文化部門

期 日……平成25年9月8日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能、写真

##### ウ 第62回全国青年大会

期 日……平成25年11月8日～11日

場 所……日本青年館及び東京周辺各会場

種 目……バレーボール、バスケットボール、パドミントン、軟式野球、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル、演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、写真展、生活文化展、意見発表

### 4 青年教室・講座

項 目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	4教室(2市町村)	134人	1 人間関係に関すること 2 市民性、社会性に関すること 3 職業、家庭に関すること 4 郷土理解に関すること
30人以上で10～20時間	2教室(1市町村)	72人	
上記以外(自立開設)	32教室(14市町村)	4,191人	
合 計	38教室(15市町村)	4,397人	

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

陸中海岸青少年の家は、東日本大震災津波後の平成23年5月以降、2小学校の仮校舎として活用され、青少年施設としての機能を停止させてきたが、平成24年4月からは、山田町立船越小学校の仮校舎を継続しつつ、3名の社会教育主事を配置して、青少年教育施設としての事業を再開した。

(2) 青少年の家の利用者数 [単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	471	25,948	41,436
陸中海岸青少年の家	393	14,989	22,207
県北青少年の家	453	21,827	29,740
計	1,317	62,764	93,383

(3) 県北青少年の家スケート場利用者数 [単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	405	377	782
小学生・中学生	5,073	4,011	9,084
高校生・大学生・一般	2,700	5,997	8,697
計	8,178	10,385	18,563

(4) 類型別実利用者数 [単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	4,325	2,818	4,833
	県主催事業	569	712	848
学校利用	大学・短大	2,251	1,226	1,264
	各種学校	47	0	69
	高等学校	3,110	671	2,976
	中学校	6,159	3,396	3,004
	小学校	9,953	4,281	7,289
地域団体利用	サークル(勤労青年)	243	0	32
	サークル(一般)	196	613	390
	子ども会	2,790	716	2,176
	スポ少団体	6,406	1,507	3,261
	児童館・公民館	727	381	1,027
	幼稚園・保育園	301	846	926
企業体		2,366	88	1,374
その他		1,993	4,952	271
合 計		41,436	22,207	29,740

### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 子育て・親育ち講座

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成25年5月～平成26年3月

ウ 内 容……遠野市、金ヶ崎町、平泉町、陸前高田市、田野畑村、久慈市、洋野町、軽米町の8市町村において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

- ① 幼児期講座
- ② 小学校入学時講座（就学時健診等の機会を活用）
- ③ 学童期講座
- ④ 中学校入学時講座（入学説明会等の機会を活用）
- ⑤ 父親の家庭教育参加促進事業

エ 受講者数…10,747人

#### 2 子育て支援体制の充実

地域との関わりの中で家庭教育や子育てを行うことが出来る支援体制の整備を図る。

##### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

- ① 国庫委託事業の基本的方針等について 平成25年5月28日
- ② 国庫委託事業の成果・課題等について 平成26年2月20日

##### (2) 広域家庭教育支援体制整備(教育事務所ごと)

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……家庭教育や子育てに関する広域的な現状と課題を踏まえ、家庭教育の充実を図る。

イ 期 日……盛岡教育事務所	平成25年10月18日	39人
中部教育事務所	平成25年11月22日	28人
県南教育事務所	平成26年 1月30日	25人
沿岸南部教育事務所	平成25年 9月25日	27人
宮古教育事務所	平成25年 6月12日	30人
県北教育事務所	平成25年10月 2日	53人

ウ 内 容……子育て支援を促進する学習機会の提供

##### (3) 家庭教育支援推進事業

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

遠野市、金ヶ崎町、平泉町、陸前高田市、田野畑村、久慈市、洋野町、軽米町において実施した。

#### (4) 子育てサポーター養成講座

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域における子育てサークルの育成や子育てネットワークの構築に指導的な立場で携わる子育てサポーターを養成する。

イ 期日及び内容……次の4つのテーマについて、それぞれ2日間の日程で講座を実施した。

[生涯学習推進センター]

(延べ人数)

①	平成25年 6月13日～14日	子育て支援の重要性	22人
②	平成25年 7月25日～26日	子どもの発達とカウンセリング	24人
③	平成25年 8月29日～30日	子育て支援の実際	24人
④	平成25年 9月26日～27日	これからの子育て支援	23人

[宮古教育事務所]

①	平成25年 7月11日～12日	子育て支援の重要性	20人
②	平成25年 8月 8日～ 9日	子どもの発達とカウンセリング	20人
③	平成25年 9月12日～13日	子育て支援の実際	19人
④	平成25年10月17日～18日	これからの子育て支援	16人

ウ 修了生 センター23人、宮古15人

エ 岩手県子育てサポーターの認定

本講座修了者を「岩手県子育てサポーター」として認定、登録した。

岩手県子育てサポーター認定者数：453人、登録者数：255人（平成25年度末現在）

#### (5) 子育て支援ネットワークの充実

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……地域における子育て支援に指導的な立場で携わる子育てサポーターや子育て支援団体の資質の向上を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。

イ 期 日……生涯学習推進センター 平成25年12月3日 54人

ウ 内 容……講演、ワークショップ、情報交流会等

### 3 学習情報の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を全ての親に提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

#### (1) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実を図る。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

#### 【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年(祝日、年末年始は除く)

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 956件

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	27	2.8%
しつけ全般	48	5.0%
遊び・友だち	40	4.2%
家庭・環境	79	8.3%
知能・ことば	11	1.2%
いじめ・不登校	14	1.5%
虐待・育児不安	26	2.7%
心理・性格	310	32.4%
集団生活・社会性	30	3.1%
学習・進路	21	2.2%
人間関係	47	4.9%
その他	303	31.7%
計	956	100%

#### (2) 子育てメール相談

##### ア 目的

子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、すべての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談、情報提供を行う。

##### イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

ウ 相談件数 454件 (トップページカウント数1,083件)

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	22	4.8%
しつけ全般	52	11.5%
遊び・友だち	23	5.1%
家庭・環境	58	12.8%
知能・ことば	4	0.9%
いじめ・不登校	19	4.2%
虐待・育児不安	66	14.5%
心理・性格	68	15.0%
集団生活・社会性	19	4.2%
学習・進路	12	2.6%
人間関係	35	7.7%
その他	76	16.7%
計	454	100%

## 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることが求められていることから、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境等に取り組んだ。

#### 1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに、東日本大震災津波からの復興に向けた活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

#### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

#### 【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

##### ア 期日

第1回 平成25年7月24日

第2回 平成26年2月4日

##### イ 出席

第1回 委員16人中10人出席

第2回 委員16人中14人出席

##### ウ 内容

(ア) 平成25年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

- c スポーツ健康課
  - d 県立生涯学習推進センター
  - e 県立図書館
  - f 県立博物館
  - g 県立美術館
  - h 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
- (イ) 平成25年度生涯学習文化課主要施策の進捗状況について
- (ウ) 平成24～25年度協議テーマ「学びを通じた地域づくり・社会づくり～東日本大震災津波からの復興に向けた社会教育の役割～」について
- (エ) 平成25年度社会教育功労者表彰に係る選考について
- (オ) 平成26年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

## 2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。なお、平成17年2月より、携帯電話によるアクセスも可能となっている。

#### ア 生涯学習情報提供事業

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

- a 情報量…………… 2,659件 [平成24年度 4,171件、 1,512件減]
- b 利用件数…………… 10,440件 [平成24年度12,933件、 2,493件減]
- c トップページカウント数…… 28,054件 [平成24年度33,630件、 5,576件減]

#### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

- (ア) 発行部数…………… 700部 [平成24年度400部] ※ (県内小中学校へメール配信612件)
- (イ) 年間発行回数…… 4回 [平成24年度 4回 ]

### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、所外学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行うとともに生涯学習推進専門研修講座を行った。

#### ア 生涯学習ボランティア活動推進事業 (生涯学習推進センターボランティア登録数)

694人 [平成24年度660人、34人増]

#### イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間…………… 9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………198件 [平成24年度126件、72件増]

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育の充実を図るとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

1 成人の学習活動の支援

(1) 一般成人教育

ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	11	156	7,644
成人学級・講座	23	2,116	50,415
その他	20	614	17,838

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

(ア) ボランティア登録者

登録者数……694人（生涯学習推進センター）

(イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成26年2月8日 アイーナ 250人参加 講演及び活動発表等

ウ 成人団体活動の支援

(ア) P T Aへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(一社) 岩手県P T A連合会	家庭教育セミナー	○平成25年9月21日、盛岡市、167人 ○平成25年12月14日、遠野市、430人 ○講演、パネルディスカッション等	150千円
	岩手県P T Aリーダー研修会	○平成25年7月13日 ○盛岡市 ○講話及び説明、意見交流等 ○参加者数436人	
	岩手県P T A研究大会	○平成25年9月6日 ○盛岡市 ○全体会、分科会等 ○参加人数2,000人	
	会報発行	○「P T Aいわて」 ○会員及び関係機関等 ○3回発行(1回当たり10,000～17,000部)	
岩手県高等学校P T A連合会	研究協議会	○平成25年6月7日 ○盛岡市 ○講演等 ○参加者数257人	120千円
	会報発行	○「ポローニア」 ○会員及び関係機関等 ○2回発行(1回当たり32,000部)	
	母親委員研修会	○平成25年7月10日 ○盛岡市 ○発表・講演 ○参加者数201人	

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会			120千円
研究大会	○平成25年6月21日 ○講演・研究協議等	○洋野町 ○参加者数210人	
ブロック研修会	○平成25年6月～10月 ○講演、実践交流会等	○4ブロック ○参加者数410人	
会報発行	○1回発行(1回当たり2,700部)		

#### (イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

補助金額：120千円

事業名	実施期日	実施場所	参加人数等	内容
ユネスコ運動岩手県大会	8月31日 ～9月1日	二戸市	282人	講演、体験発表等
ユネスコ活動顕彰事業	11月7日 11月29日 12月8日 12月9日	盛岡市	7件 1,821人	選定、表彰等
ユネスコ活動研修会	1月24日 ～25日	滝沢市	210人	講演、分科会、全体会、交流会等
ユネスコ運動広報事業	5月20日	県内	200部	会報発行
	8月10日		500部	
	10月20日		400部	

#### (2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

##### ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が一定期間にわたり、継続して行われた。

##### 【学級・講座開設状況】

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	21	1,101	18,368
その他	9	34	1,526

##### イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【組織状況（平成25年5月17日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	38	8,574

#### (ア) リーダー研修会

- a 期 日 平成25年7月4日～5日
- b 場 所 盛岡市
- c 参加人数 151人

#### (イ) 第58回岩手県地域婦人大会

- a 期 日 平成25年10月23日
- b 場 所 北上市
- c 参加人数 850人

## 2 高齢者の学習活動の支援

### ○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが、一定期間にわたり、継続して行われた。

区 分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	26	842	42,510
その他	10	126	12,237

## 3 視聴覚教育

### ○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

#### ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（北海道旭川市） 平成25年 10月25日～26日 3人参加

#### イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

視聴覚教育協議会専任職員等研修会（生涯学習推進センター）平成25年6月20日～21日 10人参加

#### ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	62
中部	2	12
県南	2	28
沿岸南部	1	5
宮古	1	10
県北	0	0
計	9	117

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

エ 教材フィルム利用状況 [単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	1,384	23,052
花巻図書館	362	8,236
北上市	63	2,564
西和賀町	0	0
県南第一	1,089	28,422
沿岸第一	365	4,852
釜石市	5	266
遠野市	51	896
大槌町	0	0
久慈市	57	1,054
県北第二	130	2,651
二戸	160	3,301
計	3,666	75,294

4 全国生涯学習ネットワークフォーラム 2013 岩手大会

	プレ・フォーラム	フィールド・ワーク	メイン・フォーラム	アフター・フォーラム
開催期日	平成 25 年 7 月 6・7 日	平成 25 年 9 月 (4 事業)	平成 25 年 11 月 16・17 日	平成 26 年 2 月 6・7 日
会場等	宮古市新里生涯学習センター 陸中海岸青少年の家 宮古市及び山田町 三陸鉄道	沿岸市町村 ・宮古市 (2 事業) ・山田町 (1 事業) ・陸前高田市及び大船渡市 (1 事業)	盛岡市 マリオス (大ホール 会議室)	生涯学習推進センター (花巻市)
主な対象	大学生等将来の地域を担う若者等 22 名	大学生等将来の地域を担う若者等 63 名	行政関係者、学生、学校・社会教育関係者、NPO 等 延べ 650 名	行政関係者、学生、学校・社会教育関係者、NPO 等
内容	①レクチャー・フォーラム 岩手県中核観光コーディネーター 草野悟 氏 ②被災地の復興現状視察と座談会 ・3 コース ③ワークショップ ・意見交流 ・フィールド・ワーク企画 ④講演 三陸鉄道株式会社代表取締役 望月正彦 氏 ⑤分かち合い 等	①「PiKA PiKA 光の支援メッセージ」 ・宮古市 ・9/10～12 ・8 名参加 ②「山田発！食のこだわりマップづくり」 ・山田町 ・9/17～19 ・9 名参加 ③「秋祭り DE 地域交流」 ・宮古市 ・9/14～15 ・9 名参加 ④「足湯ボランティア in 陸前高田」 ・陸前高田市、大船渡市 ・9/4～7 ・37 名参加	①講演 作曲家 富田勲氏 ②フィールド・ワークの成果発表 ③パネルディスカッション (3 分科会) ④ワークショップ (3 分科会) ⑤復興ミニライブ 白澤みさきさん ⑥クロージングイベント ⑦ポスターセッション 等	①講演 ②パネルフォーラム ③研究発表 ④ポスターセッション 等

## 5 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が23人、社会教育指導員が57人配置されている。

県民の学習要求が高度化・多様化する中、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、現職教育は重要な領域となっている。

平成25年度は、以下の研修等を行った。

### (1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年5月16日～17日 | 生涯学習推進センター | 91人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項及び職務に関する研修

### (2) 社会教育指導員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年5月23日～24日 | 生涯学習推進センター | 104人

【内容】社会教育指導員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

### (3) 放課後子どもプラン指導者合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】(第1回)平成25年6月28日 | 生涯学習推進センター | 192人

(第2回)平成25年9月11日 | 生涯学習推進センター | 142人

(第3回)平成25年11月10日 | いわて子どもの森 | 59人

【内容】「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報交換・情報共有・連携の促進、資質の向上を図る研修

### (4) 岩手県社会教育委員研究大会兼岩手県公民館大会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年10月9日～10日 | 盛岡市民文化ホール | 680人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修  
公民館の在り方等に関する研修

### (5) 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年8月23日 | 盛岡市中央公民館 | 74人

【内容】社会教育職員としての職務及び各分野における専門的事項に関する研修

### (6) 岩手県社会教育指導員等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年11月1日 | 生涯学習推進センター | 65人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、及び専門性向上に関する研修

### (7) 資質向上専門研修

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年9月19日 | 生涯学習推進センター | 20人

【内容】パワーポイントによる効果的なプレゼンテーション作成に関する研修

### (8) 事業周知・広報スキルアップ専門講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年11月28日 | 生涯学習推進センター | 47人

【内容】ワードを活用した効果的な事業周知広報作成に関する研修

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### (9) 対人スキルアップ専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年10月25日 | 生涯学習推進センター | 48人

【内容】職場等における必要不可欠なコミュニケーション能力の実践的養成に関する研修

#### (10) 事業プログラム開発専門講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年8月22日 | 生涯学習推進センター | 51人

【内容】社会教育事業プログラム作成に関する専門的・技術的研修

#### (11) 移動研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】

期 日	会 場	参加者数
平成25年6月4日	金ヶ崎町	20人
平成25年6月25日	葛巻町	14人
平成25年6月27日	二戸市	40人
平成25年7月30日	葛巻町	24人
平成25年9月25日	宮古市	15人
平成25年10月21日	北上市	19人
平成25年11月14日	釜石市	13人

【内容】市町村の社会教育・生涯学習事業の充実を図るための専門的研修

#### (12) 図書館等職員研修

##### ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年4月26日 | 県立図書館 | 18人

【内容】(ア) 新任の図書館長等を対象にした基礎的研修

(イ) 講話 震災を通して考える市町村立図書館等の運営

(ウ) 講義 県立図書館等概況説明

(エ) 情報・意見交換

##### イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

岩手県読書をすすめるつどい（出典：岩手県立図書館統計資料）

平成26年2月8日 アイーナ 250人参加 講演及び事例発表

#### (13) 図書館等職員研修（出典：『要覧2014（平成26年度版）岩手県立図書館編集』）

##### ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年9月3日～6日 | 県立図書館 | 6人

【内容】文部科学省主催研修の動画受信による研修

##### イ 初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年5月16日～17日 | 県立図書館 | 42人

【内容】

(ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関する研修

(イ) 講話（図書館の現状と今後のあり方について）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

(ウ) 講義（図書館の連携、資料の受入～配架、図書館と著作権、レファレンスサービス等）

(エ) 情報・意見交換

(オ) 館内見学

#### ウ 中堅職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年7月11日～12日 | 県立図書館 | 36人

【内容】(ア) 講義（子どもの読書と図書館サービス等）

(イ) 情報・意見交換

#### エ 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成25年10月18日 | いわて県民情報交流センター（アイーナ） | 55人

【内容】(ア) 基調講演（高齢社会と図書館）

(イ) 事例発表（市川市立図書館の障がい者サービスについて）  
（高齢者サービスについて）

(ウ) 全体会

#### オ 市町村職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
平成25年6月22日	県立図書館	47人
平成26年1月17日	遠野市立図書館	6人
平成26年1月31日	盛岡市都南図書館	16人
平成26年2月7日	宮古市立図書館	15人

#### (14) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

##### ア 公民館職員専門講座

公民館職員に求められる専門的・実践的な知識技術についての研修

【期日 | 会場】平成25年5月21日～5月24日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、グループ討議、事例研究等

【参加者数】 2人（県立生涯学習推進センター、県南教育事務所）

##### イ 全国生涯学習センター等研究交流会

生涯学習センター等の相互の連携協力を推進するため、当面する諸課題について研究協議する。

【期日 | 会場】平成25年6月6日～7日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、グループ討議、シンポジウム等

【参加者数】 1人（県立生涯学習推進センター）

##### ウ 全国社会教育主事研究協議会

都道府県・政令市の社会教育主事が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成25年5月13日～15日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】シンポジウム、事例発表、研究協議等

【参加者数】 1人（県立生涯学習推進センター）

##### エ 新任図書館長研修

公共図書館の管理運営の向上及び情報提供サービスの高度化を図る。

【期日 | 会場】

平成25年9月3日～6日 | (主)国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、(副)県立図書館

【内容】講義、実践報告等

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【参加者数】 6人（県立図書館、盛岡市都南図書館、紫波町立図書館、花巻市立花巻図書館、奥州市立水沢図書館、奥州市立江刺図書館）

#### オ 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小中学校の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】 平成25年7月29日～30日 | 東京国立近代美術館等

【内容】 講演、グループワーク等

【参加者数】 1人（岩手大学教育学部附属小学校）

#### カ 地域教育力を高めるボランティアセミナー

学校・家庭・地域の連携ネットワークの推進及び地域課題の対応方策等に視点をあて、地域住民等が様々な視点から企画立案の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 平成26年3月6日～7日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 研究協議、講義、事例研究、実践研修等

【参加者数】 2人（県立生涯学習推進センター、中部教育事務所）

#### キ 社会教育主事専門講座

国の生涯学習施策についての理解をもとに研究協議を行い、都道府県・指定都市における生涯学習社会教育の充実・発展を図る立場としての力量を高める。

【期日 | 会場】 平成25年11月13日～15日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 基調講義、事例発表、シンポジウム等

【参加者数】 1人（県立生涯学習推進センター）

#### ク 社会教育主事講習への派遣

岩手大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】 平成25年7月16日～8月8日 | 弘前大学等

【内容】 講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 4人（市町村職員2人、小学校教員1人、中学校教員1人）

### 6 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

#### (1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

#### (2) 運営の重点

##### ア 学習情報の提供

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

##### イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

#### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 生涯学習推進上の課題を踏まえた基本研修、領域別研修、専門研修の充実
- (イ) 有志指導者養成研修の充実
- (ウ) 各機関・団体の学習課題に対応した希望研修の充実

### (3) 事業等の実施状況

#### ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用  
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

##### 【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	<参考>情報数(前年比)
講座・イベント	2,477 (△1,299)	905 (△1,711)
施設	632 (△66)	569 (319)
団体・グループ	1,414 (99)	218 (41)
指導者	5,336 (△1,158)	694 (34)
教材	581 (△69)	523 (55)
計	10,440 (△2,493)	2,909 (△1,262)

- (イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】 県立生涯学習推進センター情報

【内容】 国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】 500部・年4回 【配布先】 県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

- (ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】 生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】 平成25年度198件

- (エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】 子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談

電話番号：0198-27-2134

（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）

【相談件数】 平成25年度956件

- (オ) 子育て相談「すこやかメール相談・メールマガジン」

【内容】 子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】 平成25年度454件

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【子育て情報提供】 毎週木曜日メールマガジン配信

#### イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2013 研究報告 Vol.16 いわたの生涯学習」の発行

【部数】 1,500部

【内容】 大学生を主体としたフィールドワークの実施による復興支援の実証的研究

(イ) 全国生涯学習ネットワークフォーラム2013岩手大会・岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】 平成26年2月6日～7日

【会場】 生涯学習推進センター

【参加者数】 132人（延べ182人）

【内容】 a 基調講演「地域を創る～生まれてきてよかったといえる社会へ～」

b パネルフォーラム「持続可能な地域コミュニティ再生への取組」

c 研究発表・協議

① 「震災復興のためのNPO等との連携に関する調査研究」

② 「大学生を主体としたフィールドワークによる復興支援の実証的研究」

#### ウ 指導者の養成・研修

##### 【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	41 (5)	2,589 (△617)
随時研修	2 (1)	47 (15)
施設利用	34 (1)	3,363 (790)
その他	16 (△4)	1,889 (691)
計	93 (3)	7,888 (879)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数
基本研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成25年5月16日～17日	91
領域別研修	社会教育指導員等研修講座	平成25年5月23日～24日	104
	放課後子どもプラン指導者合同研修会 第1回	平成25年6月28日	192
	放課後子どもプラン指導者合同研修会 第2回	平成25年9月11日	142
	学校支援ボランティア推進研修会	平成25年5月31日	93
	家庭教育子育て電話相談員研修会	平成25年9月26日	7
	子育て支援ネットワーク研修会	平成25年12月3日	56
	読書ボランティア研修会(生涯学習推進センター会場)	平成25年6月25日	315
	読書ボランティア研修会(沿岸南部会場)	平成25年9月4日	43
	岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会 [共催]	平成25年6月20日～21日	8
	岩手県社会教育主事・公民館職員研修会 [共催]	平成25年8月23日	64
岩手県社会教育指導員等研修会 [共催]	平成25年11月1日	65	
専門研修	復興支援セミナー	平成25年7月9日 ～平成26年2月16日	263
	事業周知・広報スキルアップ専門研修講座	平成25年11月28日	47
	事業プログラム開発専門研修講座	平成25年8月22日	51
	資質向上専門研修講座	平成25年9月19日	20
	対人関係スキルアップ研修講座	平成25年10月25日	48
	希望移動研修講座(7回、7日)	平成25年6月4日 ～11月14日	145
養成研修	家庭教育子育てサポーター養成講座 (生涯学習推進センター会場)	平成25年6月13日～9月27日	24
	家庭教育子育てサポーター養成講座 (宮古教育事務所会場)	平成25年7月11日～10月18日	23
岩手県生涯学習推進研究発表会(2日)		平成26年2月6日～7日	132
計			1,933

## 6 社会教育施設の整備充実(2 県立図書館)

### (1) 運営の方針

#### ア 運営体制の充実と広報活動の推進

(ア) 図書館の運営に関し協議等を行うため、図書館法第14条に基づく「岩手県立図書館協議会」を置く。

(イ) 的確な図書館運営に対応するため、派遣研修等により職員の資質の向上に努める。

(ウ) 県立図書館及び市町村立図書館等の活動に関する情報を広く県民に提供するため、各種印刷物やホームページ等を活用し、広報の充実を図る。

#### イ 図書館資料の収集、整理、保存と活用の推進

(ア) 「岩手県立図書館資料収集方針」等に基づき、図書館資料を収集し、各種目録の整備を行い、県民及び市町村立図書館等の利用に供する。

(イ) 郷土関係資料の保存機関として、東日本大震災津波に関する資料についても網羅的な収集、整理、保存に努め、その活用を図る。

(ウ) 貴重資料の保存及び公開のため、昨年度に引き続きデジタルライブラリーの構築を図る。

(エ) 県内の市町村立図書館等とのネットワークを構築し、県内総合目録の整備など、多くの県民が図書館資料を利用できる環境の整備を行う。

#### ウ 相談機能の強化

(ア) レファレンス・サービスなどの情報提供や読書案内等を通じ、県民の学習活動の支援を行う。また、市町村立図書館等を支援する協力レファレンスや各種の情報提供を行う。

(イ) 岩手県が抱える課題の解決に向け、ビジネス支援コーナーを引き続き設置するなどしながら、各種相談や情報提供を行う。

(ウ) 郷土資料に関する各種データベースを構築し、ホームページ等を通じて県民及び市町村立図書館等に提供する。

#### エ 市町村立図書館等の支援の強化

(ア) 多くの県民が図書館サービスを楽しむよう、市町村訪問を積極的に実施するなどして市町村のニーズを把握し、図書館運営等に関する助言・支援を行うとともに、協力貸出等の各種支援を実施する。

(イ) 市町村立図書館におけるレファレンス・サービスや児童サービスの充実、郷土に関する書誌情報の発掘・情報提供、学校図書館との連携など、図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同した調査・研究などの取組を行う。

(ウ) 市町村立図書館職員を対象とした専門研修など、時宜を得た研修を企画し、実施する。

#### オ 学習機会の提供と読書活動の奨励

(ア) 他の社会教育施設や複合施設内の各施設、大学等との連携により、展示会、講演会及び映画会等の学習機会の提供を行うとともに、読書普及活動などに関する県民の活動成果を発表する場を提供する。

(イ) 「岩手の読書週間」をはじめとする各種週間に合わせ、「岩手県読書をすすめるつどい」などの事業を実施するとともに、県内の読書サークルや各種団体、企業、学校、市町村等に対し、読書普及用の図書の貸出（団体貸出、セット貸出）を行い、県内の読書活動の促進を図る。

#### カ 関係機関・団体との連携強化

(ア) 複合施設内の各施設との連携を図り、来館者の多様な学習ニーズに対応する。

(イ) 県内外の公立図書館、岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会、各種ボランティアグループ及び読書グループ等との連携を密にし、図書館サービスの向上や読書の普及・奨励を図る。

(ウ) 他の社会教育施設、大学や専門機関等との連携を強化し、情報提供等サービスの拡充を図る。

### (2) 実施状況

#### ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成25年11月15日

- 【協議事項】
- ・県立図書館利用状況等について
  - ・県立図書館事業実施状況等について
  - ・アンケート結果について

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

ウ 図書館資料の収集（出典：岩手県立図書館統計資料）

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集は各方面に呼びかけ、積極的に取り組んだ。資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料

[単位：冊]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	6,432	10,524	230	603,543
団体用	1,287	664	398	121,421
計	7,719	11,188	628	724,964

(イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,529
ビデオテープ	0	0	124	2,880
DVD	85	78	2	2,296
CD	54	68	22	4,058
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97
計	139	146	148	13,800

(ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル]

区分	年度末総タイトル数
新聞	349
雑誌	5,191
計	5,540

(エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
マイクロフィルム	35	1	0	10,604

(オ) 電子資料

[単位：点]

区分	年度末総点数
CD-ROM等	584
オンラインデータベース	16
計	600

(カ) 震災関連資料

[単位：点]

区分	年度末総点数
図書資料等	18,759
視聴覚資料	156
計	18,915

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(キ) デジタル化資料 [単位：点]

資料名	25年度デジタル化点数
内史略	1

エ 利用者サービス（出典：『要覧2014（平成26年度版）岩手県立図書館編集』）

- (ア) 入館者数及び新規貸出登録者数  
 入館者数………498,752人[前年度比9,347人減]  
 新規貸出登録者数…6,283人[前年度比 326人減]

(イ) 個人への館外貸出数

区分	冊数又は点数
図書資料	294,171
視聴覚資料	15,821
うちビデオテープ	672
DVD	6,464
CD	8,685

- (ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会  
 映画会は、一般向け51回、児童向け24回、計75回開催した。  
 また、児童向け読み聞かせ会を62回開催した。
- (エ) 参考調査（レファレンス・サービス）  
 調べものや読書相談等に前年度に比べ450件増の延べ14,435件の利用があった。

(オ) ビジネス支援サービス

区分	総数
利用者数	731
相談件数	1,119

注：「利用者数」は（ア）入館者数の、「相談件数」は（エ）の参考調査の件数のそれぞれの内数であること。

【ビジネス支援コーナー講演等】

講演タイトル	開催日	参加者数
知的財産セミナー	平成25年11月17日	19
1冊の本から～なるにはBOOKSシリーズから	平成25年12月15日	26
ビジネスアイデアの広げ方と事業計画書の創り方	平成26年1月19日	24
メイクアップ講座	平成26年3月1・2日	4
1冊の本から～なるにはBOOKSシリーズから	平成26年3月16日	11

(カ) 二次資料の作成

- 利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。
- ・レファレンス事例データベース
  - ・国立国会図書館レファレンス共同データベース
  - ・郷土関係雑誌目次集

オ 市町村への支援協力（出典：『要覧2014（平成26年度版）岩手県立図書館編集』等）

- (ア) 市町村立図書館等職員専門研修  
 ・児童書・児童関連資料の調べ方  
 ・本の取扱いと治し方
- (イ) 市町村立図書館等への訪問 36回
- (ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員16人 2回

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

(エ) 協力貸出  
図書資料： 1,159件、 2,351冊  
視聴覚資料：(延べ64件) 270点

(オ) 団体貸出  
図書資料： 25団体、 33,671冊  
視聴覚資料：19団体、 47点

#### カ 展示事業(出典：『要覧2014(平成26年度版)岩手県立図書館編集』等)

##### (ア) 4階展示コーナー企画展示

実施内容	展示点数	開催期間
岩手の児童文学作家たち	294	平成25年4月23日～5月30日
岩手の選挙ことはじめ	137	平成25年6月7日～7月21日
津波を伝える記録と文学	199	平成25年8月1日～9月23日
第31回賢治資料展	303	平成25年10月4日～11月24日
盛岡藩の戊辰戦争	144	平成25年12月6日～平成26年1月26日
第34回手づくり絵本展	100	平成26年2月1日～2月11日
いわての歴史シリーズVI	83	平成26年2月21日～4月13日

##### (イ) 各カウンターミニ展示

場 所	開催回数
総合、児童、新聞・雑誌、音と映像、企画、郷土、パスファインダー	85

## 6 社会教育施設の整備充実(3 県立青少年の家)

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
- (ウ) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実を努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、協力体制の確保及び連携再構築への礎とすることができた。

- (ウ) ボランティアの育成とその活用に努めた。

#### イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者(団体)のねらいが達成できるよう支援に努めた。
- (イ) 「ボランティア及び視察研修」の団体に、活

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

動内容の充実の一助として、講師や活動場所等の情報提供に努めた。また、利用時の様々な規則等の理解に協力を求めた。

- (ウ) 施設の夜間利用を含む日帰り利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応に努めた。

#### ウ 利用の促進

- (ウ) 管内校長会や主管課長会議等で、一部再開における現状説明の理解と協力の元、利用周知を図った。
- (ウ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に努めた。

#### (3) 県北青少年の家

##### ア 主催事業

- (ウ) 自然環境や地域、施設の特性を生かし、研修内容の充実を図った。
- (ウ) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

##### イ 研修活動

- (ウ) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (ウ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修を行い、利用団体に対する指導・助言の充実にも努めた。

##### ウ 利用の促進

- (ウ) 管内の校長会議や市町村社会教育担当者会議

- (ウ) キャラバン活動を積極的に受け入れ、利用の周知及び促進に努めた。

- (ウ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

#### エ 環境の整備

- (ウ) 施設・設備の点検・整備に努めた。
- (ウ) 活動エリアの環境保全と安全確保に努めた。
- (ウ) 情報収集及び提供に努めた。
- (ウ) 船越小学校の学習環境の整備及び支援に努めた。

等の場で、提案型の利用案内を行った。

- (ウ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるよう努めた。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (ウ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月2回の地元FMラジオ番組への電話出演、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

#### エ 環境の整備

- (ウ) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行なった。
- (ウ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

#### 【県立県南青少年の家 平成25年度主催事業及び自主事業】

##### (1) 「かるがも親子体験教室」

【目的】理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間づくりを促進する。

【対象】小・中学生の子どもを持つ家族20家族40人程度

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ①親子でアウトドアクッキング編 7月6日 56人
- ②キャンプdeチャレンジ 8月31日～9月1日 43人

##### (2) 自然ワンダークラブ

【目的】四季を通してさまざまな活動を体験することにより、環境についての考えを深め、自然を大切にしようとする心を育てる。

【対象】小学校4年生～中学生25人、高校・大学生等ボランティア

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ①春 緑の風の中で 6月8日～9日 30人
- ②夏 きらめく川の中で 8月24日～25日 27人
- ③秋 紅葉の山の中で 10月12日～13日 24人
- ④冬 真っ白な雪の中で 1月25日～26日 25人

##### (3) 水と緑のフレンドシップ

【目的】異年齢集団による野外体験活動等を通して、主体的に活

動する心豊かでたくましい青少年の育成を図る。

【内容】仲間づくりレク、キャンプ、野外炊事、創作活動等

【対象】小学校5年生～中学生30人、高校・大学生等ボランティア

【期日 | 参加者数】7月27日～7月31日 29人

##### (4) みんなdeスクラム

【目的】親子が気軽にさまざまな体験活動を行い、活動の喜びを共有しながら、経験の拡大と参加者相互の交流を図る。

【対象】特別な支援を要する児童・生徒とその保護者20人、高校・大学生等ボランティア

【内容】野菜の苗植え体験、収穫体験、野外炊事

【期日 | 参加者数】①6月1日 20名  
②9月7日 7名

##### (5) 冬のおもしろ体験ランド

【目的】冬の自然に触れながら、野外活動の喜びを体験するとともに、創作活動等を通じて参加者相互の交流を図る。

【内容】餅つき体験、スキー・スケート体験

【対象】小学校4年生～中学生30人、高校・大学生ボランティア

【期日 | 参加者数】2月1日～2日 21人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (6) **アドバイザースタッフ養成講座**  
【目的】児童生徒の学校外活動を援助する高校生・大学生等の育成を図り、施設におけるボランティア活動を推進する。  
【内容】ニュースポーツ、創作活動、野外炊事等  
【対象】高校生・大学生等ボランティア20人  
【期日|参加者数】5月11日～12日 20人
- (7) **集団宿泊指導研修会**  
【目的】宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を図る。  
【内容】野外活動、創作活動、情報交換等  
【対象】利用団体関係者等  
【期日|参加者数】①5月8日 41人  
②5月9日 42人
- (8) **県南は～とふるDay**  
【目的】日常と異なる環境の中で、さまざまな体験活動を通して参加者相互の交流と経験の拡大を図る。  
【内容】野外炊事、創作活動等  
【対象|期日|参加者数】学校不適応児童・生徒 12月12日 9人
- (9) **〔自主事業〕みどりのキャンパスふれあいフェスティバル**  
【目的】スポーツや創作活動等を通して、県南青少年の家に對する理解と親しみを深めるとともに、生涯スポーツ等への参加の契機とする。  
【内容】ニュースポーツ体験、創作体験、作品展、食の祭典等  
【期日|参加者数】10月5日～6日 1,562人
- (10) **〔自主事業〕「栗駒山トレッキング」**  
【目的】秋の山という自然を舞台に、より安全なトレッキングの知識や技術を身につけながら余暇の充実を図る。  
【内容|期日|参加者数】栗駒山トレッキング 7月23日 17人
- (11) **〔自主事業〕県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」**  
【目的】スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、参加団体相互の交流を促進する。  
【内容】サッカー試合、サッカー講習会  
【対象】サッカースポーツ少年団16チーム  
【期日|参加者数】10月5日～6日 1,114人
- (12) **〔自主事業〕親子deチャレンジ!**  
【目的】体験活動をとおして親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。  
【内容】新巻き鮭作り、選択活動（海鮮ピザ作り・いか徳利作り）  
【対象】小中学生の子どもをもつ10家族25人  
【期日|参加者数】11月23日～24日 19人
- (13) **〔自主事業〕レッツ!スケート**  
【目的】青少年の余暇利用として、冬季野外活動の機会を提供するとともに、スケートを楽しみながら親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生～家族、一般40人  
【期日|参加者数】①1月25日 ②2月1日 ①84人 ②78人
- (14) **〔自主事業〕親子de手作りクリスマス**  
【目的】親子で共同の創作体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間作りを促進する。  
【対象】小・中学生の子どもをもつ家族、  
【内容|期日|参加者数】  
①森のクリスマスキャンドル 11月30日 47人  
②クリスマスリース 11月30日 27人  
③森のクリスマスキャンドル 12月7日 29人  
④クリスマスリース 12月7日 22人

#### 【県立陸中海岸青少年の家 平成25年度主催事業及び自主事業】

※ 震災後、25年4月以降も船越小学校が校舎として利用のため、平成25年度主催事業及び自主事業は縮小して実施

- (1) **自然体験活動セミナー**  
【目的】自然体験活動の普及を図るため、指導者の養成をねらい、実践活動をとおして資質の向上を図る。  
【対象】学校教育・社会教育担当者、教員等 各コース20名程度  
【内容|期日|参加者数】  
鯨山登山、野外炊事等 4月13日 32人  
【内容|期日|参加者数】  
シカク体験、野外炊事、海辺の活動等 7月6日～7日 3人
- (2) **「家族ふれあい塾」**  
【目的】自然体験活動をとおして、親子の相互理解を深めるとともに、家族同士の交流を図り、子育てをする仲間作りを促進する。  
【対象】15家族30名程度  
【内容|期日|参加者数】  
アウトドア料理、関口不動尊奥の宮トレッキング  
5月3日～4日 17人
- (3) **グラウンド・ゴルフ交流大会**  
【目的】高齢者のためのいきいきスポーツ大会及び交流促進  
【対象】沿岸地区在住概ね50歳以上の県民100人程度  
【期日|参加者数】①5月30日 93人 ②8月29日 92人  
③10月17日 101人
- (4) **アドバイザースタッフセミナー**  
【目的】施設ボランティアの基礎的な知識や技術を習得する。  
【対象】中・高・大学生・一般
- (5) **ワンダフルネイチャー**  
【目的】登山をとおして美しい三陸の海や山を味わう。  
【対象】一般 40名程度  
【内容|期日|参加者数】  
五葉山登山と五葉温泉入浴 7月20日 20人
- (6) **マリランド自然体験塾**  
【目的】自然体験活動をとおして、思いやりの心や自然を大切に  
する心を育み、参加者相互の交流を図る。  
① 海の子野外教室  
【内容】キャンプ体験、ナイトハイク、砂浜散策、シカク体験  
海釣り、海辺の活動等  
【対象】小学5年生～高校生 30人  
【期日|参加者数】7月31日～8月2日 9人  
② 雪ん子野外教室  
【内容】カーリング体験、プラネリウム鑑賞、スキー体験、雪中花  
火大会、牧場体験等  
【対象】小学4年生～6年生 30人  
【期日|参加者数】1月8日～10日 39人
- (7) **創作ひろば①**  
【目的】季節の行事に伴う飾り作りを通して、文化に触れながらも  
の作りを楽しむ。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- 【対象】 幼児～一般 各コース 午前/午後とも20名程度  
【内容|期日|参加者数】  
① ミニ門松 ② クリアキャンドル ③ クリスマスリース ④ シイミツラー  
12月14日 85人
- (8) やまびこキャラバン  
【目的】 近隣市町村に出向き、創作活動やニュースポーツ等を通して、子ども会活動や余暇活動全体から地域教育力向上を支援する。  
【対象】 幼児～一般  
【内容|期日|参加者数】  
創作、ニュースポーツ等 通年 50件 2,422人
- (9) 【自主事業】 マリンランドフェスタ「感謝まつり」  
【目的】 施設を開放し、様々な体験を通して、生涯学習の拠点施設としての理解を深めてもらう。  
【対象】 子ども～大人  
【内容|期日|参加者数】  
創作活動、ニュースポーツ、カヌー体験、屋台等 9月29日 330人
- (10) 【自主事業】 親子deチャレンジ!  
【目的】 3青少年の家の連携により、体験活動をとおして、親子のふれ合いや家族同士の親睦を深める。  
【対象】 8家族 20名程度  
【内容|期日|参加者数】 新巻鮭作り、ピザ・いか徳利作り  
11月23日～24日 15名
- (11) 【自主事業】 創作ひろば②「季節の和菓子作り」  
【目的】 季節の和菓子作りを通して、創作活動の楽しさを味わい、参加者相互の交流を深める。  
【対象】 小学生～一般 30名程度  
【内容|期日|参加者数】 和菓子作り 2月8日 28人
- (12) 【自主事業】 マリンランド フットサル交流会  
【目的】 交流試合を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦と交流を深める。  
【対象】 沿岸地区のサッカースポーツ少年団 20チーム程度  
【期日|参加者数】 2月15日、16日 620人
- (13) 【自主事業】 陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会  
【目的】 近隣市町村の剣道スポーツ少年団が一堂に会し、集団生活をしながら剣道の技術の向上と心身の鍛錬を図る。  
【対象】 沿岸地区の剣道スポーツ少年団 150名程度  
【期日|参加者数】 2月22日～23日 141人
- (14) 【自主事業】 マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会  
【目的】 交流試合を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦と交流を深める。  
【対象】 沿岸地区のミニバスケットボールスポーツ少年団新人チーム 20チーム程度  
【期日|参加者数】 3月8日、9日 824人

#### 【県立県北青少年の家 平成25年度主催事業及び自主事業】

- (1) 野外活動セミナー  
【目的】 野外活動プログラムの展開に必要な実技研修を行うことにより、当施設利用において円滑な活動を行う資質を培う。  
【内容】 施設見学、利用説明、野外炊事、プログラム相談等  
【対象】 利用団体の担当者・野外活動担当者 定員なし  
【期日|参加者数】 ①5月8日|18人 ②5月29日|18人
- (2) ジュニアフォレスト大作戦  
【目的】 森林に関する学習や体験活動等を季節毎に行うことにより、自然を大切にすることを育み、環境保全の実践意欲を育てる。  
【内容】 森林学習、自然観察、野外炊事、創作活動等  
【対象】 小学校4年生～小学校6年生 各回40人(登録制)  
【期日|参加者数】 ①6月1日～2日|47人  
②10月5日～6日|54人 ③1月25日～26日|49人
- (3) ボランティア研修会  
【目的】 高校生等のボランティア活動への参加意欲を高め、当施設におけるボランティア育成を図る。  
【内容|対象】 講話及び実習等|高校大学生等、一般 定員なし  
【期日|参加者数】 6月8日～9日|2人
- (4) わんぱく広場  
【目的】 体験活動を通して、多様な事柄に興味関心を持つ心を育てるとともに、友達や親子のふれあいを深める。  
【内容】 体験活動(魚つかみ体験等)  
【対象】 子どもから大人まで 60人程度  
【期日|参加者数】 6月9日|60人
- (5) ブラネタリウム鑑賞デー  
【目的】 季節の星座の紹介など、ブラネタリウム鑑賞を通して、天文や宇宙への興味を喚起する。  
【内容|対象】  
ブラネタリウム投影等|子どもから大人まで 各回60人  
【期日|参加者数】 ①7月7日|178人 ②9月28日|62人  
③12月15日|94名
- (6) サマースクール  
【目的】 野外活動等を通して、自然を大切にすることを、豊かな感性や思いやりの心を育むとともに、活動意欲に満ちたリーダーの育成を図る。  
【内容】 自然体験、野外活動、創作活動等  
【対象】 小学校3年生～4年生 40人  
【期日|参加者数】 7月13日～14日|49人
- (7) サマーわくわくキャンプ  
【目的】 異年齢で構成される集団が野外活動を通して、自主性や忍耐力、協調性を育むとともに、たくましく生きようとする心の育成を図る。  
【内容】 自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等  
【対象】 小学校3年生～6年生 30人  
【期日|参加者数】 7月29日～31日|29人
- (8) サマーチャレンジキャンプ  
【目的】 中期にわたる自然体験活動を通して、自主性や忍耐力、社会性を育むとともに、活動意欲に満ちたリーダーの育成を図る。  
【内容】 自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等  
【対象】 小学校5年生～中学生 30人  
【期日|参加者数】 8月5日～9日|16人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### (9) あつまれキッズランド

【目的】自然に親しむことができる学びの場において自立心や協調性を育むとともに、参加者同士の交流を図る。

【対象】小学校1年生～2年生 各回30人

【内容】レクリエーション、テント泊、野外炊事等

【期日 | 参加者数等】①9月14日～15日 | 28人  
②9月21日～22日 | 30人

###### (10) スケート実技セミナー

【目的】スケート利用団体の指導者の各技能別による技術の向上を図るとともに、各技能別指導法を研修する。

【内容】スケート教室の展開（実技・説明）、プログラム相談等

【対象】11月から3月までのスケート場利用団体担当者 定員なし

【期日 | 参加者数】10月30日 | 6人

###### (11) スケート場感謝デー

【目的】いわて教育の日の趣旨を踏まえて、県北青少年の家のスケート場を開放し、家庭・地域のふれあいを促進するとともに、健全育成を図る。

【内容】スケート場無料開放、氷上スポーツ体験等

【対象】子どもから大人まで 定員なし

【期日 | 参加者数】11月3日 | 723人

###### (12) 星友の日

【目的】青少年の家等で、学校不適応児童・生徒が生活範囲を広げる機会を提供することにより、参加者の行動意欲を高める。

【内容】創作活動、スケート、ニュースポーツ等

【対象】小・中学校の学校不適応児童・生徒 定員なし

【期日 | 参加者数】11月26日～29日 | 0人

###### (13) だれでも氷上スポーツ

【目的】冬季スポーツの振興を図るとともに、青少年の健全育成を図る。

【内容】①～③技能別スケート教室等 ④カーリング教室等

【対象】①～④子どもから大人まで 各回50人程度

【期日 | 参加者数】①11月9日 | 70人 ②11月30日 | 59人  
③12月7日 | 84人 ④2月1日 | 24人

###### (14) ステラパルスケート場感謝デー

【目的】県北青少年の家開所30周年を記念して、中学生以下のスケート場入場料を無料として開放することにより、日頃の利用に感謝するとともに氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図る。

【内容】スケート教室等

【対象】中学生以下の子ども 定員なし

【期日 | 参加者数】12月27日 | 229人

###### (15) [自主事業] 県北さくらまつり

【目的】桜の開花時期に合わせて屋外施設を一般開放し、日頃の利

用に感謝するとともに、当施設の本格的な活動時期の到来を広く県民に周知する。

【内容】所周辺の観桜、うどんづくり等

【対象】子どもから大人まで 70人程度

【期日 | 参加者数】5月12日 | 52人

###### (16) [自主事業] いきいきスポーツ大会

【目的】高齢者がお互いに交流を持ちながら、いきいきと活動できる場を提供し健康増進を図る。

【内容】グラウンド・ゴルフ大会

【対象】グラウンド・ゴルフ愛好者 各回100人程度

【期日 | 参加者数】①5月22日 | 113人 ②10月17日 | 123人

###### (17) [自主事業] ステラパルまつり

【目的】施設を開放し、生涯学習の拠点としての青少年の家への理解を深め、各種体験活動を通して参加者相互の交流を図る。

【内容】創作体験、ステージ発表等

【対象】子どもから大人まで 定員なし

【期日 | 参加者数】8月25日 | 1746人

###### (18) [自主事業] 親子deチャレンジ!

【目的】体験活動を通して、親子のふれあいを高め、参加家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。

【内容】新巻鮭作り、創作活動等

【対象】小学生以上の子どもを持つ家族 10家族20人程度

【期日 | 参加者数】11月23日～24日 | 25人

###### (19) [自主事業] 氷上おもしろランド

【目的】氷上での活動を楽しみながら、参加者相互の交流を図るとともに、氷上スポーツの普及を図る。

【内容】カーリング教室、プラネタリウム鑑賞等

【対象】子どもから大人まで 定員なし

【期日 | 参加者数】2月15日 | 82人

###### (20) [自主事業] 氷上綱引きカップ

【目的】団体競技を通して、お互いの親睦を深め、青少年の健全育成と健康づくりを図る。

【内容】氷上での綱引き

【対象】小学生の部、大人の部（中学生以上）合計20チーム

【期日 | 参加者数】2月22日 | 118人

###### (21) [自主事業] スケートキッズ感謝デー

【目的】氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図るとともに、中学生以下のスケート貸靴代・入場料を無料とし開放することにより利用促進を図る。

【内容】スケート教室等

【対象】中学生以下の子ども 定員なし

【期日 | 参加者数】3月21日 | 219人

## 6 社会教育施設の整備充実（4 県立博物館）

県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成25年度は、テーマ展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

### (1) 博物館協議会開催状況

ア 平成25年度岩手県立博物館協議会

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- ① 期日 平成25年11月22日
- ② 会場 岩手県立博物館会議室
- ③ 協議事項
  - a 平成24年度博物館協議会の意見等への対応状況について
  - b 平成25年度博物館事業実施状況について
  - c 平成26年度博物館事業計画(案)について
  - d 運営全般について

(2) 平成25年度利用状況

総利用者数：68,580人  
 入館者数……………44,210人  
 教育普及事業参加者数……………23,825人  
 移動展入館者数……………545人

【平成25年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1日平均 利用人数
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計		
4	1,337	26	618	1,981	23	37	0	60	501	0	194	695	1,861	63	812	2,736	26	105
5	1,603	49	700	2,352	227	72	1	300	820	9	649	1,478	2,650	130	1,350	4,130	27	153
6	1,426	41	1,194	2,661	150	75	10	235	2,229	36	2,507	4,772	3,805	152	3,711	7,668	26	295
7	2,146	73	1,395	3,614	185	0	160	345	710	28	747	1,485	3,041	101	2,302	5,444	26	209
8	2,650	125	1,824	4,599	166	2	233	401	446	43	287	776	3,262	170	2,344	5,776	29	199
9	619	30	327	976	10	22	30	62	256	0	577	833	885	52	934	1,871	17	110
10	1,392	40	900	2,332	129	0	17	146	1,507	65	1,626	3,198	3,028	105	2,543	5,676	27	210
11	801	32	391	1,224	122	22	17	161	769	2	652	1,423	1,692	56	1,060	2,808	26	108
12	507	11	383	901	22	0	0	22	364	7	239	610	893	18	622	1,533	24	64
1	596	30	415	1,041	4	0	43	47	406	7	426	839	1,006	37	884	1,927	24	80
2	578	29	323	930	55	0	72	127	421	0	298	719	1,054	29	693	1,776	24	74
3	1,144	46	636	1,826	76	0	55	131	609	1	298	908	1,829	47	989	2,865	26	110
計	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736	25,006	960	18,244	44,210	302	146

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

平成25年度は、右の6,475点の資料  
 についての受け入れ、登録事務を行っ  
 た。

【収集資料数】 [単位:点]	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成24年度末 累計	8,894	125,551	57,861	37,549	18,758	248,613
平成25年度登録点数	1	5,739	0	274	461	6,475
計	8,895	131,290	57,861	37,823	19,219	255,088

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地 質 デイノニクス標本ほか 18点
- b 生 物 ウメバチソウ画像資料ほか 14点
- c 考 古 衝角付青複製品ほか 28点
- d 歴 史 長崎俵物模型ほか 66点
- e 民 俗 金田一コレクション「盃」ほか 47点
- f 共 通 海と貝のミュージアム被災状況画像資料ほか 7点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。  
 また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成25年度は24テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分野	調査研究テーマ
地質	「地域地質に関する研究」ほか2テーマ
生物	「地域生態系の研究」ほか5テーマ
考古	「考古学史の研究」ほか2テーマ
歴史	「近世史の研究」ほか3テーマ
民俗	「有形民俗資料に関する研究」ほか4テーマ
文化財科学	「文化財の保存環境に関する研究」ほか2テーマ

#### ウ 展示活動

##### (ア) 常設展示の充実

「総合展示」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

##### (イ) 特別展示等の開催

種別	名称	会期
企画展	いわての光る生きものたち	平成25年6月29日～8月18日
テーマ展	いわての昭和モノ語り	平成25年3月30日～5月26日
テーマ展	盛岡藩絵師川口月嶺のまなざし	平成25年10月1日～11月10日
テーマ展	新収蔵資料	平成25年12月7日～平成26年2月23日
テーマ展	比爪ーもう一つの平泉ー	平成25年3月15日～5月11日
移動展	文化・芸術が集うとき in紫波町	平成25年11月14日～17日

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(ウ) 解説会

以下のとおり、計212回催し、3,123人の参加があった。

a 特別展示・展示解説会（10回開催、220人参加）

期 日	場 所	担 当	テ ー マ
平成25年4月29日	特別展示室	民俗	テーマ展「いわての昭和モノがたり」
平成25年5月25日	特別展示室	民俗	テーマ展「いわての昭和モノがたり」
平成25年6月30日	特別展示室	生物	企画展「いわての光る生きものたち」
平成25年7月21日	特別展示室	生物	企画展「いわての光る生きものたち」
平成25年8月10日	特別展示室	生物	企画展「いわての光る生きものたち」
平成25年10月14日	特別展示室	歴史	テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」
平成25年11月9日	特別展示室	歴史	テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」
平成25年12月15日	特別展示室	各部門	テーマ展「新収蔵資料展」
平成26年2月11日	特別展示室	各部門	テーマ展「新収蔵資料展」
平成26年3月16日	特別展示室	考古	テーマ展「比爪」

b 常設展示・展示解説会（200回開催、延べ2,864人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	76回（日曜日を除く毎日）	延べ202人	総合展示室	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説	124回（随時）	延べ2,662人			

c 移動展展示解説会（2回開催、39人参加）

期 日	場 所	担 当	テ ー マ
平成25年11月16, 17日	紫波町情報交流館	各部門	「文化・芸術が集うとき」

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

## エ 教育普及活動

### 【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	県博日曜講座	22回	974人
2	古文書入門講座	8回	112人
3	博物館実習	1回（7日）	63人
4	文化財等取扱講習会	1回（3日）	102人
5	移動展出張博物館学芸員講座	1回	39人
6	民俗講座	1回	29人
7	考古学セミナー現地見学会	1回	31人
8	考古学セミナー	1回	89人
9	文化講演会	1回	97人
10	冬期文化講演会	1回	45人
11	いわて学講座	1回	79人
12	ひかりフォーラム	10回	35人
13	第65回自然観察会	1回	31人
14	第66回自然観察会	1回	41人
15	第65回地質観察会	1回	37人
16	第66回地質観察会	1回	35人
17	伝統芸能鑑賞会	1回	111人
18	国際博物館の日記念事業	1回	29人
19	ミュージアムシアター	10回	350人
20	たいけん教室みんなでためそう！	48回	1,787人
21	チャレンジ！博物館	55回	1,558人
22	冬休み体験教室	2回	324人
23	夏休み体験博物館	6回	405人
24	こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル	1回（2日）	5,061人
25	さかなクン特別トークショー	1回	148人
26	深海生物ペーパークラフト教室	6回	236人
27	光の実験室	1回（2日）	88人
28	博物館写生会	1回（16日）	69人
29	写生会展示見学会	1回（4日）	9人
30	県博出前講座	44回	1,894人
	計	—	13,908人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### 1 県博日曜講座 (22回開催、延べ974人参加)

期 日	場 所	テ ー マ
4月14日	講堂	朝鮮半島におけるじゃじゃ麺(炸醬麵)の変容と定着
4月28日	講堂	鳥類目録改訂と特筆すべき岩手県産鳥類
5月12日	教室	いわての昭和モノ語り
5月26日	講堂	安倍氏の考古学的研究
6月9日	教室	志和代官所の年中行事～鳴海家文書を読み解く～
6月23日	教室	バンニングで残る重い砂
7月14日	教室	被災金属資料からみた東日本における古代・中世の物質文化交流
8月11日	講堂	ホテル点滅の不思議—地球の奇跡、復興への光—
8月25日	教室	新春を彩る岩手の蘇民祭
9月22日	講堂	早池峰山周辺の地質について・1/5万地質図幅「早池峰山」について
10月13日	教室	清衡の瓦
10月27日	教室	盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし
11月10日	講堂	唐三彩に見る東西文化伝播について
11月24日	教室	縄文時代の「孔」について
12月8日	教室	はじめての南部絵暦～南部絵暦を読み解く・入門編～
12月22日	教室	重要文化財「白磁四耳壺」の修復
1月12日	教室	北三陸・大地のおいたち資源の魅力
1月26日	教室	岩手県植物誌改訂に向けて
2月9日	講堂	岩手県植物誌改訂に向けて
2月23日	教室	平安時代の火山噴火と遺跡
3月9日	講堂	エクスカージョン「盛岡」～3コースで盛岡を探る～
3月23日	講堂	俺の平泉～比爪を斬る～

###### 2 古文書入門講座 (8回開催、延べ112人)

【期日】5月～6月の土日 【場所】教室  
【内容】基礎的な仮名文字・崩し字を学ぶ

###### 3 博物館実習 (7日間開催、延べ63人実習)

【期日】8月22日～8月29日 【場所】館内  
【内容】学芸員資格取得を希望する学生への館務実習を実施

###### 4 文化財等取扱講習会

(3日間開催、102人受講)  
【期日】2月5日～2月7日 【場所】館内  
【対象】県内市町村の文化財担当職員及び博物館等職員

###### 5 移動展出張博物館学芸員講座 (39人参加)

【期日】11月15日 【場所】紫波町  
【テーマ】比爪の考古学的研究

###### 6 民俗講座 (29人参加)

【期日】5月25日 【場所】講堂  
【内容】岩手県復興と井上ひさし

###### 7 考古学セミナー現地見学会 (31人参加)

【期日】9月21日 【場所】金ケ崎  
【テーマ】安倍氏の本拠地鳥海柵遺跡を訪ねて

###### 8 考古学セミナー (89人参加)

【期日】3月21日 【場所】講堂  
【テーマ】御館・大名・国人—中世成立期の東日本における兵たち—

###### 9 文化講演会 (97人参加)

【期日】11月3日 【場所】講堂  
【テーマ】南部利済の功罪

###### 10 冬期文化講演会 (45人参加)

【期日】2月6日 【場所】講堂  
【テーマ】昆虫標本の意義と保管上の留意点

###### 11 いわて学講座 (79人参加)

【期日】6月8日 【場所】講堂  
【テーマ】三陸から知る岩手

###### 12 ひかりフォーラム (35人参加)

【期日】7月14日 【場所】教室

###### 13 第65回自然観察会 (31人参加)

【期日】6月16日 【場所】久慈市  
【テーマ】津波に耐えた砂浜の植物!

###### 14 第66回自然観察会 (41人参加)

【期日】7月14日 【場所】二戸市

###### 15 第65回地質観察会 (37人参加)

【期日】7月7日 【場所】宮古市  
【テーマ】山口鉱山をたずねて

###### 16 第66回地質観察会 (35人参加)

【期日】9月23日 【場所】盛岡市から花巻市

###### 17 伝統芸能鑑賞会 (111人参加)

【期日】6月2日 【場所】民家(旧佐々木家)  
【テーマ】高屋敷神楽の公演

###### 18 国際博物館の日記念事業 (29人参加)

【期日】5月18日 【場所】館内  
【内容】収蔵庫等のバックヤード見学ツアー

###### 19 ミュージアムシアター (10回開催、延べ350人参加)

【期日】第一土曜日 【場所】講堂  
【内容】博物館資料や展示・季節等に関連する16ミリ映画上映

###### 20 たいけん教室みんなのためそう! (48回開催、延べ1,787人参加)

【期日】毎週日曜日 【場所】実技室  
【内容】博物館に親しむためのプログラム

###### 21 チャレンジ! 博物館 (55回開催、延べ1,558人参加)

【期日】第二・第三土曜日と日曜日 【場所】館内  
【内容】月ごとにテーマを設定し、オリエンテーリング形式のワークシートによる資料探索

###### 22 冬休み体験教室 (2回開催、324人参加)

【期日】1月10日～1月11日 【場所】実技室  
【内容】冬休み期間中の幼児、小学生を対象とした工作実施

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- 23 夏休み体験博物館（6回開催、延べ405人参加）  
 【期日】7月26、27日、8月2、3、9、10日 【場所】館内  
 【内容】企画展見学、光るバッジづくり、ワークシートを用いた展示見学
- 24 こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル（5,061人参加）  
 【期日】6月29、30日 【場所】館内
- 25 さかなクン特別トークショー（148人参加）  
 【期日】7月25日 【場所】講堂
- 26 深海生物ペーパークラフト教室（197人参加）  
 【期日】8月3日 【場所】体験学習室
- 27 光の実験室（88人参加）  
 【期日】7月27、28日 【場所】講堂
- 28 博物館写生会（16日間開催、延べ69人参加）  
 【期日】12月14日～1月13日 【場所】館内
- 29 写生会展示見学会（4日間開催、延べ9人参加）  
 【期日】2月4、6、11、16日 【場所】館内
- 29 県博出前講座（12回開催、延べ373人）

期 日	場 所	テーマ
4月18日	沢口観音堂・別当成海 家座敷	八戸藩主家ゆかりの木々
5月10日	盛岡市立図書館	習わしにみる日本人の身体観～ゆりかごから墓場まで～
5月24日	世田米中学校	縄文時代の住田「出土品・遺跡・いわての特色」
5月26日	新仙寺本堂	内堀家と川口家
5月27日	有住中学校	縄文時代の住田「出土品・遺跡・いわての特色」
5月31日	母体小学校	マエサワクジラの発掘に携わって
6月14日	昭和女子大学	被災文化財の救出と修復の意義について
6月19日	大日堂	大日堂と大日如来の変遷について
6月20日	久慈ステーションホテル	久慈地域のための三陸ジオパーク地質学古生物学学術総論
6月21日	久慈市大川目町ほか	久慈層群玉川層炭層・琥珀産出層調査
7月1日	久慈市役所	久慈地域におけるジオ的資源利活用のための基礎情報
7月21日	秋田県立博物館	土偶ユニバース 「土偶まんだらの世界」

期 日	場 所	テーマ
7月21日	花巻市総合福祉センター	大津波後の海岸植物の現状について
7月31日	志和代官所跡地	八戸藩の成立と志和が八戸藩の飛び地になったわけ
7月31日	岩手県立総合教育センター	児童の主體的、意欲的な博物館などの学習利用について
8月5日	岩手県立博物館	展覧会解説ほか
8月7日	岩手県立博物館	展覧会解説
8月8日	岩手県立総合教育センター	高等学校地理歴史科・博物館資料・史料の活用
8月18日	八幡平ビジターセンター	大津波後の海岸植物の現状について・八幡平の植物について
8月24日	盛岡市西部公民館	南部鉄の生産と流通 ～たたら吹き製鉄から洋式高炉への移行をめぐって～
9月9日	龍泉洞温泉ホテル	岩泉・田野畑地域のための三陸ジオパークのジオ的資源の利活用
9月14日	春子谷地	春子谷地について
9月26日	盛岡市見前公民館	『南部絵暦』について
10月19日	遊林ランド種山	秋の花と果実 ～多様さの秘密～
10月23日	岩手県立博物館	盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし
10月28日	陸前高田市 浄土寺	気仙の宝 誇れる大切なもの
11月1日	大迫小学校	大昔のくらし・貴族のくらし
11月10日	岩手県立博物館	今震災で失って価値を再認識したものについて説明
11月16日	大沢温泉自炊部	岩手県の絶滅危惧植物の保全上の問題
11月19日	岩手町立川口中学校	川口城と明圓寺と八戸藩について
12月11日	岩手県立一関第一高等学校	平成の多津波で被災した文化財の再生
12月11日	岩手県立一関第一高等学校	被災した文化財の再生について
12月14日	岩手県民情報センター アイーナ	早池峰山の自然植生とその価値
1月10日	岩手県立博物館	川砂と地質
1月10日	金ヶ崎町大沼家住宅	おらえのあだりになにいろべ？
1月13日	金ヶ崎町長志田公民館	厨川にきた源頼朝
1月17日	岩手県公会堂	江戸時代に描かれた岩手山
1月30日	盛岡白百合学園小学校	昔の道具とくらし
2月1日	エスポワールいわて	世界に誇る三陸地域遺産の魅力～三陸ジオパークについて～
2月8日	上平沢公民館・赤石堤	おらえのあだりになにいろべ？
2月22日	盛岡市西部公民館	川口月嶺
2月22日	東北大学片平キャンパス	岩手県における現状と問題点
3月8日	八幡平市寺田公民館	旧暦と年中行事
3月11日	移動バス中	観音様と結縁

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

（※各項目の利用実績は、平成24年度実績）

1 図書館（平成25年4月1日現在）

	合 計	図書館	公民館等館
施設数	56	49	7
職員数	458	435	23
（うち専任）	102	100	2
蔵書総冊数	4,462,271	4,248,659	213,612
年間受入冊数	107,002	103,953	3,049
貸出冊数	4,306,256	4,221,608	84,648

2 公民館（平成25年10月1日現在）

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	317	214	21	193	103
職員数	795	679	135	544	116
（うち本務）	184	184	44	140	0
（〃 兼務）	163	141	37	104	22
（〃 非常勤）	448	354	54	300	94
利用団体数	116,699	109,490	10,595	98,895	7,209
利用者数	3,275,592	3,065,356	529,609	2,535,747	164,321
（うち団体）	3,122,991	2,926,066	547,526	2,378,540	160,895
（〃 個人）	152,601	149,175	29,035	120,140	3,426

3 博物館等（平成25年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	101	65	36
職員数	436	291	145
（うち本務）	153	79	74
（〃 兼務）	97	79	18
（〃 非常勤）	186	133	53
※学芸員数（内数）	(66)	(55)	(11)
来館者数	2,110,162	735,248	1,374,914

4 青少年教育施設（平成25年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	11	7	4
職員数	39	20	19
(うち本務)	9	6	3
(〃 兼務)	15	8	7
(〃 非常勤)	15	6	9
利用団体数	481	481	0
利用者数	67,454	42,564	24,890
(うち団体)	31,828	31,828	0
(〃 個人)	35,626	10,736	24,890

5 文化施設（平成25年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	31	18	13
職員数	192	89	103
(うち本務)	111	57	54
(〃 兼務)	33	21	12
(〃 非常勤)	48	11	37
利用団体数	25,409	15,487	9,922
利用者数	2,025,092	770,414	1,254,678
(うち団体)	1,542,761	763,285	779,476
(〃 個人)	482,331	7,129	475,202

※宮古市民会館除く

6 その他の社会教育施設（平成25年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	116	66	50
職員数	305	110	195
(うち本務)	101	14	87
(〃 兼務)	50	48	2
(〃 非常勤)	154	48	106
利用団体数	60,811	20,243	40,568
利用者数	1,271,722	473,817	797,905
(うち団体)	1,189,838	419,168	770,670
(〃 個人)	81,884	54,649	27,235

## 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

## 第1 文化振興基金を活用した支援等

## 1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進した。

また、優れた芸術文化を広く県民に鑑賞する機会を提供するため、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

## (1) 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

## ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	4	1,970	岩手デザイナー協会展2013ほか
各種大会参加事業	0	0	
文化活動研修事業	6	1,380	芸術文化講座ほか
文化団体備品整備事業	24	7,170	いわてフィルハーモニーほか
刊行物発行业	2	380	歌人クラブ創立30周年特集号『短歌いわて2014』ほか
参加する文化活動推進事業	4	2,730	賢治の里花巻でうたう賢治の歌全国大会ほか
特認事業	1	530	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	41	14,160	

## イ 新規特別枠事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
芸術情報化事業	3	2,789	岩手県高等学校総合文化祭総合開会式記録DVD製作事業ほか
芸術の里づくり事業	1	2,100	第30回奥州胆沢劇場
新進・若手芸術家等派遣事業	1	3,000	(社)岩手県芸術文化協会新進・若手芸術家等派遣事業
アートマネージャー育成事業	4	264	久慈市文化会館「アートマネージャー育成事業」ほか
アートマネジメント推進事業	2	4,000	岩手県内広域公立文化会館複数連携「参加型子ども舞台創作体験」事業ほか
計	11	12,153	

## ウ 復興支援・備品整備事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	継承する演舞等
備品整備事業	19	15,184	明土権現舞ほか

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### エ 復興支援・公演等支援事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業名
公演等支援事業	6	2,203	キッズコーラスあぐどまめ・キャラホール少年少女合唱団ふれあいコンサートほか

#### (2) 第66回岩手芸術祭

##### ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成25年10月5日（土）【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,800人

##### イ 美術展

種目	期間	会場	入選点数／応募点数	鑑賞者数
洋画	平成25年10月17日～10月20日	岩手県民会館	200点 / 200点	4,316人
彫刻			16点 / 16点	
工芸	平成25年10月24日～10月27日		63点 / 67点	
書道			198点 / 198点	
日本画	平成25年10月5日～10月8日		41点 / 41点	
版画			45点 / 45点	
水墨画			122点 / 132点	
写真	平成25年10月11日～10月14日		133点 / 143点	
デザイン			102点 / 102点	
現代美術			30点 / 30点	

##### ウ 巡回美術展

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成25年11月2日～12月6日	6市町村6会場	90点	1,739人

##### エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	入賞・入選点数／応募点数	鑑賞者数
平成25年11月29日～12月1日	岩手県民会館展示室	1,325点 / 7,329点	2,580人

##### オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成25年12月20日～平成26年1月27日	4市町村4会場	293点	3,336人

##### カ 映像フェスティバル

【期日】平成25年10月20日 【会場】久慈ステーションホテル 【鑑賞者数】53人

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

キ 演劇

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
「劇団岩手ぶどう座」公演	平成25年9月7日	西和賀町文化創造館	30
「香港活劇姉妹」公演	平成25年10月26日～10月27日	いわてアートサポートセンター ／風のスタジオ（盛岡市）	140
「劇団我夢」公演	平成25年11月3日	奥州市文化会館／中ホール	362
「劇団青い海」公演	平成25年11月17日	釜石ステーションホテル	40
「劇団ふるさと発信倶」公演	平成25年12月1日	安代小学校（八幡平市）	125

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成25年10月6日	盛岡市中央公民館	806
吟詠剣詩舞道祭	平成25年10月6日	岩手県民会館大ホール	974
謡と仕舞の会	平成25年11月17日	岩手県民会館中ホール	370
華道展	平成25年11月8日～11月11日	岩手県民会館展示室	1,957
邦楽のつどい	平成25年11月10日	岩手県民会館中ホール	322

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成25年10月6日	岩手県民会館中ホール	250
ピアノコンクール&演奏会	平成25年10月19日	岩手県民会館中ホール	250
三曲演奏会	平成25年10月20日	岩手県民会館大ホール	1,118
声楽部門演奏会	平成25年11月9日	岩手県民会館中ホール	315
ギター音楽の夕べ	平成25年11月16日	岩手県民会館中ホール	206
吹奏楽演奏会	平成25年11月24日	盛岡市民文化ホール大ホール	1,076
合唱祭	平成25年12月8日	奥州市文化会館	800

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
洋舞発表会	平成25年10月13日	岩手県民会館大ホール	1,055
日本舞踊公演	平成25年12月15日	岩手県民会館大ホール	1,637

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成25年10月20日	花巻市文化会館大ホール	1,010
民謡まつり	平成25年11月10日	岩手県民会館大ホール	672

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
小説大会	平成25年10月20日	岩手県公会堂（盛岡市）	7
戯曲大会	平成25年11月16日	盛岡劇場タワホール（盛岡市）	21
文芸評論大会	平成25年10月13日	岩手大学農学部6番教室（盛岡市）	15
随筆大会	平成25年10月19日	宮古市千徳公民館	13
児童文学大会	平成25年11月10日	奥州市水沢地区センター	24
詩の大会	平成25年10月27日	なはんプラザ（花巻市）	22
短歌大会	平成25年10月12日	盛岡市勤労福祉会館（盛岡市）	106
俳句大会	平成25年10月12日	岩手県公会堂（盛岡市）	76
川柳大会	平成25年10月27日	水沢サンパレスホテル（奥州市）	76

#### ス 県民文芸作品集第43集刊行

【発行日】平成25年12月14日

【掲載点数】154点

【応募点数】484点

#### セ 移動公演

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
三 曲	平成25年12月8日	一戸町コミュニティセンター	75
新舞踊	平成25年12月15日	サンホテル衣川荘（奥州市）	170

### (3) 創作活動奨励事業

#### ア 芸術選奨

受 賞 者	分 野	作 品 名
川村 杏平（盛岡市）	評論	鬼古里の賦 川村杏平俳人歌人論集
菊池 尋子（盛岡市）	小説	浮遊する記憶
黒沢尻歌舞伎保存会会長 高橋 司（北上市）	演劇	黒沢尻歌舞伎
森 義真（盛岡市）	評論	啄木の親友 小林茂雄

イ 美術選奨

受賞者	分野	受賞対象活動
ちば さなえ (東京都)	版画	個展「ashimoto」 (諄子美術館 11月)
新田 コージ (花巻市)	ミクストメディア	個展 (ギャラリーBun 11月)
福田 紗也佳 (神奈川県)	絵画	岩手芸術祭「廿六木 spiral」 (現代美術部門 10月)
前田 じん (三重県)	彫刻	個展「前田じん展<石彫>」 (ギャラリー彩園子 I 10月)
三浦 高宏 (東京都)	絵画	個展「二重身」 (ギャラリー彩画堂 6月)

2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、岩手県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実(⇒P121～124)、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した(⇒P133～136)。

(1) 県民会館

ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】

[単位：日、%]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室(5室)	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
4月	9	31.0	13	44.8	19	65.5	5	17.2	18	60.0
5月	15	51.7	15	51.7	22	75.9	22	75.9	17	58.6
6月	20	80.0	21	80.8	18	66.7	17	63.0	20	72.6
7月	27	90.0	26	86.7	12	40.0	12	40.0	25	82.0
8月	23	76.7	19	63.3	22	73.3	15	50.0	20	65.3
9月	21	77.8	16	59.3	17	63.0	11	40.7	20	71.9
10月	26	89.7	24	82.8	24	82.8	24	82.8	22	74.5
11月	22	75.9	24	82.8	26	89.7	26	89.7	23	79.3
12月	20	83.3	18	75.0	14	58.3	14	58.3	18	75.0
1月	3	11.1	8	29.6	5	18.5	5	18.5	14	51.9
2月	15	60.0	16	64.0	11	40.7	11	40.7	20	72.6
3月	19	67.9	20	74.1	25	83.3	25	83.3	18	58.7
計	220	66.3	220	66.3	215	63.6	187	55.3	235	68.6

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

### イ 自主文化事業の実施状況

#### (ア) 参加型・育成型事業 [単位：人]

期日(回数)	公 演 名	主 な 出 演 者 等	会 場	入場者数
8月11日	(オーケストラ育成事業) いわてフィルハーモニー・オーケストラ第2回定期演奏会	指揮：寺崎巖 ピアノ：佐藤彦大 他	大ホール	726
9月15日	いわてJAZZ2013	出演者：カウント・ベイシー・オーケストラ、大江千里with the NY Jazz Fellows、デレブ ザ アンバサダー、岩手大学くらむぼんJazz Orchestra	大ホール	1,237
12月7日	岩手っ子大地に舞う	出演者：早池峰大儀流土沢神楽、甲地剣舞、江刺家神楽 他	大ホール	800
1月12日	岩手の民謡をたずねて	出演者：岩手の民謡家 他	大ホール	948
1月26日	ざ・CLASSIC2014	出演者：野田ヒロ子、佐藤彦大 他	大ホール	523
5月28日他6回	ロビーコンサート	出演者：弦楽五重奏 他	ロビー	860
6月3日他3回	バックステージツアー	参加者：仁王小学校 他		112

#### (イ) コンサートサロン

[単位：人]

期 日	公 演 名	会 場	入場者数
7月9日	第187回 小山実稚恵 ピアノ・リサイタル	中ホール	561
10月23日	第188回 福井 敬 テノール・リサイタル	中ホール	517
12月17日	第189回 千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル	中ホール	524

#### (ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	主 な 出 演 者 等	会 場	入場者数
5月17日	大野和士 指揮 ウィーン交響楽団	指揮：大野和士、ヴァイオリン：庄司紗矢香 ウィーン交響楽団	大ホール	1,279
8月20日	立川志らく独演会Vol.2	出演者：立川志らく	中ホール	410
9月27日	東宝 人生は、ガタゴト列車に乗って・・・	出演者：浜木綿子、加藤茶、大空真弓、紺野美沙子、川崎麻世 他	大ホール	1,343
10月25日	佐渡裕 指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽 SPECIAL CONCERT 2013	指揮：佐渡裕、アコーディオン：御喜美江 兵庫芸術文化センター管弦楽団	大ホール	1,252
2月27日	ミュージカル「シャーロック・ホームズ」	出演者：橋本さとし、一路真輝 他	大ホール	856
3月16日	NHK交響楽団演奏会盛岡公演	指揮：ラルフ・ワイケルト、ピアノ：パスカル・ロジェ NHK交響楽団	大ホール	1,468

### (2) 県立美術館

#### ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	平成25年10月23日	岩手県立美術館会議室	① 平成25年度美術館事業実施状況 ② 平成26年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営
第2回	平成26年2月25日	岩手県立美術館会議室	① 平成25年度美術館事業実施状況 ② 平成26年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

イ 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一般	小計		小中学生	高・大生等	一般	小計		
4月	69	5	227	301	23	258	285	4,534	5,077	27	5,378
5月	463	47	373	883	27	480	461	14,490	15,431	18	16,314
6月	1	2	115	118	26	1,973	683	32,527	35,183	26	35,301
7月	142	35	280	457	23	3,716	561	23,130	27,407	19	27,864
8月	65	8	414	487	23	1,049	586	13,417	15,052	28	15,539
9月	323	29	263	615	21	94	328	4,371	4,793	26	5,408
10月	112	6	367	485	23	184	1,031	5,768	6,983	24	7,468
11月	279	12	1,449	1,740	27	105	30	703	838	14	2,578
12月	41	31	96	168	24	24	92	725	841	24	1,009
1月	7	13	96	116	21	19	66	1,159	1,244	25	1,360
2月	23	14	253	290	14	18	46	1,480	1,544	24	1,834
3月	49	15	195	259	26	86	122	2,758	2,966	20	3,225
計	1,574	217	4,128	5,919	278	8,006	4,291	105,062	117,359	275	123,278

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

区分	会期	観覧者数
第4期展示	平成25年2月2日～4月14日	119（4月1日以降）
第1期展示	平成25年4月19日～6月30日	1,183
第2期展示	平成25年7月5日～10月6日	1,618
第3期展示	平成25年10月12日～平成26年1月19日	2,412
第4期展示	平成26年1月25日～4月20日	587（3月31日まで）

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会期	観覧者数
マルク・シャガール版画展	平成25年4月6日～5月6日	7,975
若沖が来てくれました -プライスコレクション江戸絵画の美と生命-	平成25年5月18日～7月15日	70,363
いわさきちひろ展	平成25年7月25日～8月25日	19,486
アントニオ・ロペス展	平成25年9月7日～10月27日	12,040
「東島毅+本田健」展	平成25年11月16日～2月16日	4,093
アートフェスタいわて2013	平成26年3月1日～3月23日	3,338

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

エ アウトリーチ事業

あーとキャラバン

【期日】平成25年7月6日～7日（野田・普代）	【参加者数】17人
平成25年8月21日～24日（久慈・盛岡）	【参加者数】297人
平成26年2月1日～2日（岩泉・田老）	【参加者数】33人
平成26年2月26日～28日（宮古・盛岡）	【参加者数】344人

オ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 復興支援展示事業プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】869人

企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参加者数
シャガール展開催記念講演会	美術館学芸員	平成25年4月29日	82
シャガール展開催記念コンサート	オルクステル・ド・レイゲル氏	平成25年4月30日	164
プライス展開幕記念講演会	辻 惟雄 氏	平成25年5月18日	250
プライス展鑑賞ワークショップ	内山淳一 氏 盛岡芸妓	平成25年5月26日	65
		平成25年6月1日	75
プライス展鑑賞ワークショップ	ジョー・プライス 氏 悦子・プライス 氏	平成25年6月8日	64
プライス展鑑賞スペシャルトークイベント	ジョー・プライス 氏 悦子・プライス 氏	平成25年6月9日	300
プライス展特別講演会	山下裕二 氏	平成25年6月22日	215
いわさきちひろ展開催記念講演会	松本 猛 氏	平成25年7月27日	213
いわさきちひろ展オープン・ワークショップ	宍倉恵美子 氏	平成25年7月28日	135
いわさきちひろ展読み聞かせ会	美術館友の会	平成25年8月10日 ～8月17日	312
いわさきちひろ展ワークショップ	田村晴樹 氏	平成25年8月17日	20
アントニオ・ロペス展開催記念講演会	木島俊介 氏	平成25年9月8日	85
アントニオ・ロペス展トーク&舞踊	阿部碧里 氏	平成25年10月14日	336
東島毅+本田健展開催記念トーク	東島 毅 氏 本田 健 氏	平成25年11月16日	76
東島毅+本田健展ワークショップ	本田 健 氏	平成25年12月14日	19
東島毅+本田健展開催記念トーク	鷲田清一 氏	平成26年1月25日	143
東島毅+本田健展ワークショップ	東島 毅 氏	平成26年1月26日	19

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説  
【期日】毎月第2・第4土曜日に年間24回開催 【参加者数】 208人
- 常設展関連講座  
【期日】平成25年10月19日 【講師等】小谷野匡子 氏 【参加者数】 55人  
【期日】平成25年10月26日 【講師等】藤原 徹 氏 【参加者数】 25人  
【期日】平成25年10月27日 【講師等】藤原 徹 氏 【参加者数】 11人
- 音声ガイドの更新、運用

(イ) 美術普及事業

a スタジオプログラム

- 油絵体験講座  
【期日】平成25年6月23日、6月30日、7月6日 【参加者数】 12人
- 木彫体験講座  
【期日】平成26年2月23日、3月1日、3月8日 【参加者数】 12人
- オープンスタジオ  
【期日】平成25年8月1日～4日 【参加者数】 111人  
【期日】平成26年1月10日～13日 【参加者数】 89人
- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。  
【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】 400人

b 教育連携

- フォーラム -美術館と学校-  
【期日】平成25年5月11日 【参加者数】 12人
- 教育連携意見交換会  
【期日】平成25年7月13日、11月10日 【参加者数】 12人

c 美術プログラム

[単位:人]

内 容	期日	参加者数
館長講座	平成25年5月11日、7月6日、9月14日、11月3日 平成26年1月18日、3月21日	176
学芸普及課長講座	平成25年8月24日、12月8日	51
学芸員講座	平成25年6月29日、12月1日	98
ミーツ・ザ・アーティスト	平成25年7月20日、8月31日、11月9日、12月23日	248

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### d 映像プログラム

##### ○ アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位:人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成25年4月21日	世界の名画 ポール・セザンヌ	27
平成25年5月19日	美の巨人たち 俵屋宗達・尾形光琳	41
平成25年6月16日	河	54
平成25年7月21日	ヘルプ 心がつなぐストーリー	31
平成25年8月4日	いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～	250
平成25年8月18日	椿姫	90
平成25年9月15日	マルメロの陽光	175
平成25年10月20日	14歳	35
平成25年11月17日	地下鉄のザジ	50
平成25年12月15日	マジックツリーハウス	55
平成26年1月19日	第三の男	55
平成26年2月16日	日本のアウトサイダーアート 都市の夢	9
平成26年3月16日	世界の名画 レオナルド・ダ・ビンチ	27

#### (ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】年6回 【参加者数】 75人
- b 団体対応 【期日】随時 【利用者数】2,734人
- c 美術相談 【期日】随時
- d ライブラリー企画 [単位:人]

期 日	内 容	参加者数
平成25年5月12日	できた！私のブックカバー	33
平成25年10月26日	つくろう！Book box	12
平成26年2月8日	麦わらモビール・ヒンメリをつくろう	16

#### カ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- (ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- (エ) 美術館スケジュール等……年4回

#### キ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

#### ク 蔵書整備公開事業

美術館倉庫の未整理資料（美術資料及び蔵書）について、データを整備しHPで公開した。

【事業実施期間】平成25年5月8日～平成26年3月31日

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

### 3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

【期 日】平成25年4月6日～11月10日

【場 所】山梨県

【参 加】7団体、計127人

【補助額】1,277千円

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

## 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

中学生・高校生の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

### 1 青少年劇場

#### (1) 本公演

[単位：公演、人]

種目	演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
声楽	混声四重唱とあそぼう 『オペラ』ってなあ に？	平成25年5月27日～5月31日	軽米町ほか7市町村	10	3,540
児童劇	笑いの芸能「寄席」	平成25年6月18日～6月24日	遠野市ほか4市町	10	3,348
器楽	世界に誇る日本の音色 ワヨウセイヨウ	平成25年6月24日～6月28日	山田町ほか7市町村	9	2,580

#### (2) 小公演

[単位：公演、人]

種目	演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
器楽	鍵富弦太郎 ヴァイオリ ンとチェロの演奏会	平成25年10月2日～10月4日	山田町、岩泉町	5	202

### 2 次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、音楽劇、演 劇、邦舞、合唱、演芸	平成25年9月24日～ 平成25年11月28日	一関市立桜町中学校ほか7校	17	3,489

#### 次代を担う子どもの文化芸術体験事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期日	会場	事業数	鑑賞者数
音楽（ピアノ）	平成25年7月9日	県立軽米高等学校	1	196
生活文化（茶道）	平成25年10月24日～ 平成25年11月14日	水沢第一高等学校	1	183

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

3 第36回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部門	期日	会場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成25年10月4日	奥州市文化会館大ホール	80校 約973人	—
書道	平成25年11月13日～11月19日	岩手県民会館展示室	45校 1,080点	688
美術工芸	平成25年11月1日～11月4日	岩手県民会館展示室	62校 873点	1,747
合唱	平成25年7月12日	大船渡市民文化会館 リアスホール	35団体 約750人	約1,000
	平成25年8月31日	岩手県民会館大ホール	28校 (29団体) 約700人	約1,000
吹奏楽	平成25年7月28日	岩手県民会館	20校	約2,500
	平成25年8月3日	二戸市民文化会館	12校	約2,300
演劇	平成25年10月16日～10月19日	岩手県民会館大ホール	12校 162人	—
文芸	平成25年10月25日	岩手県民会館中ホール	42校 8,793点	約350
囲碁	平成25年10月11日～10月12日	岩手県高校教育会館	19校 81人	—
将棋	平成25年10月25日～10月26日	岩手県高校教育会館	27校 167人	—
器楽	平成25年11月6日	盛岡市民文化ホール小ホール	5校 103人	約70
写真	平成25年9月27日～10月1日	岩手県民会館展示室	29校 507点	505
放送	平成25年6月3日～6月4日	岩手県民会館中ホール	23校 195エントリー	322
	平成25年11月6日	岩手県民会館中ホール	18校 178エントリー	240
郷土芸能	平成25年11月1日～11月2日	岩手県民会館大ホール	16校 437人	1,164
新聞	平成25年10月17日	岩手県公会堂	5校 14作品	—
自然科学	平成25年12月13日	岩手県立総合教育センター	10校 132人	観客高校生3校27名 (報道関係3名)
英語	平成25年9月25日	岩手県民会館中ホール	20校 37人	約130
吟詠剣詩舞	開催中止			参加者なし
日本音楽	平成25年10月3日	岩手県民会館中ホール	6校 82人	110
国際理解	平成25年7月4日	岩手県赤十字会館	23校 75人	—
	平成25年9月20日	盛岡市勤労福祉会館	6校 10人	約50
マーチングバンド・ バトントワリング	平成25年9月29日	奥州市総合体育館	9校 249人	約1,800
小倉百人一首かるた	平成25年10月12日	二戸市文化会館和室	2校 11人	観客5名
軽音楽	平成25年9月6日	岩手県民会館中ホール	17校31団体134人	約600

4 第37回全国高等学校総合文化祭

平成25年7月に長崎県等で開催された全国高等学校総合文化祭に計291人の高校生を派遣した。

部門	期日	会場	派遣学校名 (派遣生徒数)
パレード	平成25年7月31日	長崎水辺の森公園	盛岡工業高等学校(14) 岩手女子高等学校(11)
合唱	平成25年8月4日	アルカスSASEBO	不来方高等学校(36)
吹奏楽	平成25年8月1日～8月2日	アルカスSASEBO	花巻北高等学校(58)
器楽・管弦楽	平成25年8月3日～8月4日	長崎ブリックホール	久慈高等学校(15)
日本音楽	平成25年8月2日～8月3日	佐世保市民会館	盛岡第二高等学校(17) 岩手女子高等学校(16)
吟詠剣詩舞	平成25年8月4日	松浦市文化会館	宮古高等学校(5) 岩手女子高等学校(1) 久慈高等学校(2)

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

郷土芸能	平成25年7月31日～8月2日	島原復興アリーナ	雫石高等学校(20) 花巻農業高等学校(16)
マーチングバンド・ パトントワリング	平成25年8月2日	シーハットおおむら	盛岡工業高等学校(14) 岩手女子高等学校(11)
美術・工芸	平成25年7月31日～8月4日	長崎県美術館	不来方高等学校(1) 雫石高等学校(1) 宮古商業高等学校(1) 北上翔南高等学校(1) 宮古高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 盛岡みたけ支援学校(1)
書道	平成25年7月31日～8月3日	佐世保市体育文化館	盛岡第二高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡北高等学校(1) 岩手女子高等学校(1) 北上翔南高等学校(1) 水沢高等学校(1) 一関第二高等学校(1)
写真	平成25年7月31日～8月4日	長崎歴史文化博物館	宮古北高等学校(1) 盛岡商業高等学校(2) 千厩高等学校(2) 盛岡北高等学校(2) 花巻北高等学校(1)
放送	平成25年8月3日～8月4日	諫早文化会館	黒沢尻北高等学校(2) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡第三高等学校(1) 宮古高等学校(1) 盛岡第一高等学校(1) 宮古高等学校(3) 宮古工業高等学校(1) 盛岡第一高等学校(3)
囲碁	平成25年8月3日～8月4日	時津町コスモス会館	盛岡第一高等学校(2) 岩手高等学校(1) 水沢高等学校(1) 不来方高等学校(1)
将棋	平成25年7月31日～8月1日	時津町コスモス会館	岩手高等学校(7) 釜石高等学校(1) 盛岡第一高等学校(3) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡第三高等学校(1)
弁論	平成25年8月2日～8月3日	東彼杵町総合会館	久慈高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成25年8月2日～8月4日	長崎県立総合体育館	福岡高等学校(2) 一関第一高等学校(6)
新聞	平成25年7月31日～8月4日	長崎新聞文化ホール・ アストピア	黒沢尻工業高等学校(2) 水沢工業高等学校(2)
文芸	平成25年7月31日～8月4日	長崎県立大学 シーボルト校	花巻北高等学校(1)
	平成25年8月2日	文学散歩他	花巻北高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡誠桜高等学校(1)
自然科学	平成25年8月2日～8月4日	島原文化会館	盛岡農業高等学校(4) 水沢高等学校(2) 盛岡第一高等学校(2)

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

5 平成25年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部 門	期 日	会 場	参加者数等
書 道	平成25年11月19日	岩手県民会館中ホール	45校 200人
美術工芸	平成25年7月23日	北上市生涯学習センター、「遊・YOU学園」	13校 91人
合 唱	平成25年5月29日 ～5月31日	一関文化センター、岩手県民会館、北上さくらホール、二戸市民文化センター、盛岡市民文化ホール、大船渡市民文化会館	13校
	平成25年6月25日 ～6月28日		16校
演 劇	平成25年5月31日 ～6月1日	岩手県民会館、岩手県公会堂	31校 410人
文 芸	平成25年10月25日	岩手県民会館、岩手県公会堂	42校8,793人
囲 碁	平成25年7月5日	岩手県高校教育会館	15校 82人
将 棋	平成25年6月29日	岩手県高校教育会館	24校 183人
器 楽	平成25年6月21日	盛岡劇場、河南公民館	2校 49人
写 真	平成25年9月27日	岩手県民会館中ホール	24校 236人
放 送	平成25年7月13日	NHK盛岡放送局	8校 33人
	平成25年9月15日	岩手県民会館	16校 152人
	平成25年10月9日	岩手県民会館、テレビ岩手	20校 218人
	平成25年11月24日	岩手県民会館	11校 83人
	平成25年12月23日	岩手県民会館	11校 52人
郷土芸能	平成25年9月17日	サンセール盛岡	14校 57人
	平成25年11月2日	岩手県民会館大ホール	16校 437人
新 聞	平成25年10月17日	岩手県公会堂	5校 19人
自然科学	平成25年7月31日	岩手大学農学部	4校 12人
	平成25年8月7日 ～8月9日	国立天文台水沢V L B I 観測所	3校 5人
吟詠剣詩舞	※開催中止		
日本音楽	平成25年7月1日	奥州市文化会館	6校 88人
マーチングバンド・ バトントワリング	平成25年10月7日	雫石町営武道館（マーチング）	165人
	平成25年11月13日	岩手県営体育館（バトン）	19人
百人一首・かるた	平成25年6月29日 ～6月30日	盛岡市中央公民館	4校 23人
軽音楽	平成25年9月6日	岩手県民会館中ホール	17校 134人

6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】第12回岩手中学校総合文化祭

〔開催日〕平成25年11月22日……………開会式、舞台部門：参加者数 2,500人

平成25年11月22日～25日……………展示部門：参加者数 1,500人

〔会 場〕岩手県民会館

【補助額】 1,304千円

### 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けられる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を政策地域部と連携して推進した。

#### ○ 文化芸術ネットワークの設置

文化芸術活動者が必要とする支援をタイムリーに提供できるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行いうる「文化芸術ネットワーク」を4広域圏に設置することを目指しており、平成22年2月に盛岡広域圏のネットワークが設立されているが、平成24年2月には県南広域振興圏においてネットワークが設立されている。

## 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことのひとつとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか5資産が「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として登録された。また、柳之御所遺跡ほかの資産について、追加登録への取組を開始した。あわせて、柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」については、関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進し、後者は「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として、ユネスコへ推薦書を提出した。

#### 1 世界遺産登録の推進

##### (1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」は、今後、柳之御所遺跡、達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡について、拡張による追加登録を目指していくため、有識者による平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会を2回開催した。また、追加推薦に向けて、これまでの課題を整理し、顕著な普遍的価値を明らかにするため、研究集会「日本都市史のなかの平泉」を開催した。

登録された5資産に追加登録を目指す資産を加えた保存管理を適切に行うため、遺産影響評価や資産に対する受容力の調査を行った。

また、資産の保存管理に関する意識の向上を図るため、登録2周年記念講演会、県内の小中学校、高校等における「平泉出前授業」(22校)などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】 15,036千円

- 登録2周年記念講演会

【期日】 平成25年8月3日

【会場】 ベリーノホテル一関

【入場者数】 約120人

【内容】 「『平泉』の価値を次世代へ伝えるために」(講演会等)

- 平泉出前授業

実施校数：小学校15校、中学校4校、高等学校2校、支援学校4校

- 教員を対象とする平泉現地研修会

【期日】 平成25年8月7日、26年1月9日

【参加者】 30名(小学校13名、中学校11名、高等学校5名、支援学校1名)

##### (2) 縄文世界遺産登録支援事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載された(本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産)。

この「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会及び国際会議等を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等の検

討し、文化庁へ推薦書原案を提出した。

併せて、4道県共通リーフレットを世界遺産委員会で配布した。また、国際フォーラムを岩手県で開催し、縄文遺跡群の価値についての普及活動を行った。

【総事業費】 7,591千円

○ 国際フォーラム（岩手県開催）

【期日】 平成25年7月25日～27日 【会場】 盛岡グランドホテル 【入場者数】 300人

【内容】 講演会、ディスカッション

### (3) 九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションによる世界遺産登録を目指しており、平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、「橋野鉄鉱山と関連遺跡（釜石市）」などが構成資産候補となっている。

県では釜石市と協議し、平成23年度からは正式な構成機関として参加し、九州・山口の関係自治体と協力しながら、推薦書「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」をユネスコへ提出した。

【総事業費】 9,704千円

## 2 柳之御所遺跡の整備活用

### (1) 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。あわせて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 97,159千円

### (2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 37,850千円

### (3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化の研究成果を公開する場として、平泉文化フォーラムを開催した。また、共同研究を推進し、「平泉文化研究年報」第13号として、その成果をまとめた。

【総事業費】 2,990千円

○ 平泉文化フォーラム

【期日】 平成26年2月1～2日 【会場】 一関文化センター

【入場者数】 420人

【内容】 基調講演、共同研究発表、調査成果報告

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

## 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

### 1 文化財の保存と管理

#### (1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成25年9月13日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(4件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成26年2月20日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定及び一部指定解除について(6件)

#### (2) 文化財の指定

平成25年4月5日 岩手県教育委員会告示第1号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
有第243号	古文書	軽邑耕作鈔及び遺言	2冊	軽米町大字軽米第10地割85番地 軽米町
有第244号	工芸品	南部家伝来提帯	5筋	盛岡市内丸12番2号 盛岡市

平成25年4月5日 岩手県教育委員会告示第2号

指定番号	名 称	保持団体
無民第37号	布佐神楽	布佐神楽保存会
無民第38号	門中組虎舞	門中組振興会
無民第39号	南部藩壽松院年行司支配太神楽	南部藩壽松院年行司支配太神楽

平成25年11月5日 岩手県教育委員会告示第6号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
有第245号	考古資料	徳丹城跡出土品	2点	紫波郡矢巾町大字南矢幅第13地割 123番地 矢巾町
有第246号	歴史資料	大槻家旧蔵板木	142点	一関市竹山町7番2号 一関市

平成25年11月5日 岩手県教育委員会告示第7号

指定番号	名 称	員 数	所有者
有民第32号	姉体庚申塔(寛永十二年銘)	1基	奥州市水沢区姉体町字天神林27番地1 石川貞子

平成25年11月5日 岩手県教育委員会告示第8号

指定番号	名 称	所在地	指定地域			所有者
			地 番	地 目	面 積	
史第47号	湯舟沢環状列石	岩手郡滝沢村滝沢字湯舟沢	327番地13	原野	4,165m <sup>2</sup>	岩手郡滝沢村鶴飼字中鶴飼55番地 滝沢村

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか2件	89,838	22,298
国指定文化財・指定史跡等購入事業	平泉町2件	67,057	5,892
県指定文化財・指定史跡等保存整備事業	法人1件	706	352
県指定文化財・修理・防災事業	個人ほか1件	2,006	1,002
(災) 県指定文化財・修理・防災事業	個人2件	11,074	5,536

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	住田町ほか2市町	2,471	1,235

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種別	名称	実施期日
有形文化財	徳丹城跡出土品	平成25年5月10日
有形民俗文化財	姉体庚申塔	平成25年5月22日
有形文化財	南部家伝来御護着	平成25年8月9日
無形民俗文化財	板澤しし踊り	平成25年9月22日
有形文化財	長胴太鼓	平成25年12月5日

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】1,459千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】1,797千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】0千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成25年度登録件数】136件

【総登録件数】33,445件

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名	調査地区
北上川中流域河川改修工事（千苺遺跡）	北上市
東北横断自動車道釜石秋田線（不動ノ滝遺跡）	釜石市
県道中尊寺通り改良事業（伽羅之御所遺跡、花立Ⅰ遺跡、花立Ⅱ遺跡）	平泉町
経営体育成基盤整備事業 都鳥3期地区（漆町遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 日形地区（小野遺跡、町裏Ⅰ遺跡、町裏Ⅱ遺跡）	一関市
三陸沿岸道（上長部館跡）	陸前高田市
三陸沿岸道路（松磯遺跡）	大槌町
三陸沿岸道路（沢田Ⅲ遺跡、間木戸Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ遺跡、石峠Ⅱ遺跡、豊間根新田Ⅰ遺跡）	山田町
三陸沿岸道路（津軽石大森遺跡、金浜Ⅴ遺跡、乙部遺跡、払川Ⅱ、Ⅲ遺跡）	宮古市
三陸沿岸道路（小成Ⅱ遺跡）	岩泉町
三陸沿岸道路（島越ⅩⅣ遺跡、島越Ⅱ遺跡、菅窪遺跡）	田野畑村
三陸沿岸道路（外屋敷ⅩⅨ遺跡、北野ⅩⅢ遺跡）	久慈市
三陸沿岸道路（伏津館跡）	野田村
漁業集落防災強化事業・災害公営住宅建設事業 羅賀地区（野場Ⅰ遺跡）	田野畑村
防災集団移転促進事業 崎浜地区（中野遺跡）	大船渡市
防災集団移転促進事業 峰岸地区（峯岸遺跡）	大船渡市
防災集団移転促進事業 田の浜地区・町道船越田の浜線（田の浜館跡）	山田町
防災集団移転促進事業 船越地区（焼山遺跡）	山田町
区画整理事業 片岸地区（小滝沢遺跡）	釜石市
土地造成事業（花館跡）	陸前高田市

イ 試掘調査

事業名	調査地区
三陸沿岸道路	陸前高田市～洋野町
東北横断自動車道釜石秋田線	遠野市
宮古盛岡横断道路	宮古市
久慈北道路	久慈市
一関遊水地事業	平泉町
畑地帯総合整備事業（担い手育成型）	二戸市
主要地方道重茂半島線	山田町～宮古市

ほか146件

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

### ウ 分布調査

事業名	調査地区
経営体育成基盤整備事業 萩ノ窪地区	奥州市胆沢区
中山間地域総合整備事業 愛宕地区	奥州市胆沢区
経営体育成基盤整備事業 若柳中部地区	奥州市胆沢区
農地整備事業（経営体育成型）武道地区	盛岡市玉山区
地域連携道路整備事業（復興交付金）赤崎地区	大船渡市
農地整備事業（通作条件整備）上野地区	一戸町
農村災害整備事業 徳田南地区	矢巾町
地域連携道路整備事業 一般国道340号	宮古市
主要地方道重茂半島大沢～浜川	宮古市～山田町
中山間地域総合整備事業 霞沢地区	一関市大東町

ほか 25件

#### (2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

○ 発掘調査等 11市4町で実施

#### (3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

#### 【埋蔵文化財センター受託事業】

##### ア 発掘調査【計38遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	北上市	千苺遺跡
	釜石市	不動ノ滝遺跡
	陸前高田市	上長部館跡
	大槌町	松磯遺跡
	山田町	沢田Ⅲ遺跡、間木戸Ⅰ遺跡、間木戸Ⅱ遺跡、 間木戸Ⅴ遺跡、石峠Ⅱ遺跡、豊間根新田Ⅰ遺跡
	宮古市	津軽石大森遺跡、金浜Ⅴ遺跡、乙部遺跡
	岩泉町	小成Ⅱ遺跡、弘川Ⅱ遺跡、弘川Ⅲ遺跡
	田野畑村	島越ⅩⅣ遺跡、島越Ⅱ遺跡、浜岩泉Ⅲ遺跡、 菅窪遺跡
	野田村	伏津館跡
	久慈市	外屋敷ⅩⅣ遺跡、北野ⅩⅢ遺跡、
岩手県	平泉町	伽羅之御所遺跡、花立Ⅰ遺跡、花立Ⅱ遺跡
	一関市	小野遺跡、町裏Ⅰ遺跡、町裏Ⅱ遺跡
	奥州市	漆町遺跡
田野畑村	田野畑村	野場Ⅰ遺跡
宮古市	宮古市	赤前Ⅲ遺跡
山田町	山田町	田の浜館跡、焼山遺跡
大船渡市	大船渡市	中野遺跡、峯岸遺跡
陸前高田市	陸前高田市	花館跡

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

#### イ 報告書の発刊【計16遺跡】

11冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	北上市	立花南遺跡
	遠野市	新田Ⅱ遺跡
	釜石市	不動ノ滝遺跡
	陸前高田市	上長部館跡
	宮古市	金浜Ⅴ遺跡、乙部遺跡
	久慈市	北野ⅩⅢ遺跡
岩手県	盛岡市	二又遺跡
	二戸市	不動館跡
	宮古市	松山館跡
	奥州市	沢田遺跡、古城林遺跡、八反町遺跡、小林繁長遺跡
釜石市	釜石市	屋形遺跡、小滝沢遺跡

#### ウ 調査報告書

平成25年度発掘調査略報 300部

#### エ 普及事業

- (ア) 第34回埋蔵文化財展  
【期間】平成25年11月14日～17日  
【場所】紫波町オガールプラザ  
【内容】県立博物館の移動展と連携し、地元での発掘成果を公開
- (イ) 第34回埋蔵文化財発掘調査技術講習会  
【期日】平成25年12月13日  
【場所】岩手県立博物館講堂  
【内容】『製鉄遺跡の調査・整理方法－福島県における事例－』  
講師 財団法人福島県文化振興財団 専門文化財主査 能登谷 宣康
- (ウ) 第16回遺跡報告会  
【期日】平成26年2月15日  
【場所】岩手県民会館中ホール  
【内容】外屋敷ⅩⅨ遺跡、豊間根新田Ⅰ遺跡、浜岩泉Ⅲ遺跡、津軽石大森遺跡、焼山遺跡の調査成果を報告
- (エ) 第35回埋蔵文化財公開講座  
【期日】平成26年2月15日  
【場所】岩手県民会館中ホール  
【内容】『民俗考古学からわかったこと－現代に伝わった縄文技術－』  
講師 岩手大学非常勤講師 名久井 文明（物質文化研究所 一芦舎代表）
- (オ) 所報「わらびて」の発行  
年2回発行（128号～129号）

### 3 文化財の積極的な活用

#### (1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

- ア 遺跡台帳の改訂（電算化）
- イ 遺跡基本図の改訂（電算化）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

- ウ 台帳、基本図の複製配布
- エ 現地確認調査等の事前協議
- オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- カ 文化財保護法関連諸書類処理

#### (2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる（平成26年3月31日現在379団体加入）。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を実施した。

##### ア 岩手県民俗芸能大会

【期日】平成25年8月25日 【会場】大船渡市民文化会館（大船渡市）【鑑賞者数】400人

##### イ 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル

【期日】平成25年12月7日 【会場】県民会館（盛岡市）【鑑賞者数】800人

##### ウ 民俗芸能フォーラム

【期日】平成25年11月30日 【会場】ホテルグランシェール花巻（花巻市）

【鑑賞者数】67人

## 第11節 生涯スポーツの振興

県民のだれもがそれぞれのライフステージにおいて、興味関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民のだれもが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

#### 1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	206 件	105,723 名

第3章 教育施策の推進状況

第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質向上を図った。

1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成25年7月1日現在）】

[単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計	市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数				クラブ数	加入者数		
盛岡市	5	2,075	3	8	陸前高田市	1	105	—	1
八幡平市	—	—	—	—	住田町	1	126	—	1
雫石町	2	3,248	—	2	釜石市	2	312	—	2
葛巻町	1	113	—	1	大槌町	1	0	—	1
岩手町	—	—	1	1	宮古市	1	863	—	1
滝沢村	1	431	—	1	山田町	—	—	—	—
紫波町	1	92	—	1	岩泉町	1	161	—	1
矢巾町	1	273	—	1	田野畑村	1	—	—	1
花巻市	2	3,255	—	2	久慈市	1	133	3	4
遠野市	9	4,180	—	9	洋野町	1	195	—	1
北上市	4	12,058	1	5	野田村	0	—	1	1
西和賀町	—	—	1	1	普代村	1	130	—	1
奥州市	5	6,367	—	5	二戸市	2	434	—	2
金ケ崎町	2	273	—	2	軽米町	—	—	2	2
一関市	2	8,931	5	7	九戸村	—	—	—	—
平泉町	—	—	1	1	一戸町	2	322	—	2
大船渡市	1	92	—	1	計	51	44,169	18	69

2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

(1) 市町村生涯スポーツ担当者研修会

【期日】平成25年4月25日 【場所】盛岡市 【参加者数】36人

(2) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会

【期日】①平成25年6月18日 【場所】宮古市 【参加者数】42人

②平成25年11月15日 【場所】盛岡市 【参加者数】41人

(3) 生涯スポーツ指導者講習会

【期日】平成25年8月8日 【場所】盛岡市 【参加者数】79人

(4) 岩手県スポーツ推進委員研修会

【期日】平成25年9月14日 【場所】大船渡市 【参加者数】203人

(5) 生涯スポーツ推進研究大会兼体育施設関係者講習会

【期日】平成25年11月8日 【場所】盛岡市 【参加者数】83人

### 3 施設の整備充実

#### (1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設は、次の7施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか5施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）

イ 県営体育館

ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）

エ 県営スケート場

オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）

カ 県立御所湖広域公園艇庫

キ 県営スキージャンプ場

#### (2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成25年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

ア 県営運動公園テニスコート改修工事

イ 県営運動公園リード競技場他改修工事

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

### (3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		365	8,649	598,377
県営体育館		333	1,091	81,821
県営野球場		326	1,680	132,473
県営スケート場		287	753	33,966
県営武道館		322	3,397	176,114
県立御所湖広域公園艇庫		102	630	7,856
県営スキージャンプ場		307	60	824
計		—	16,260	1,031,431

### 4 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、113～117ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下153ページまでのとおり。

#### 【公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事務局 平成25年度受託事業及び自主事業】

- | <p>1 指導者派遣事業<br/>【期日】5月～3月 10市町村 38件<br/>【場所】各市町村体育施設等 【参加者】1,594人</p> <p>2 被災地スポーツ支援事業<br/>【期日】4月～3月 5市町村 23件<br/>【場所】県内避難仮設住宅・被災地等 【参加者数】445人</p> <p>3 巡回グラウンド・ゴルフ交流会<br/>【期日】4月～10月<br/>【場所】陸前高田市・山田町・宮古市 3市町村 21件<br/>【参加者数】280人</p> <p>4 武道教室・鏡開き<br/>【内容】柔道、剣道、なぎなた、弓道、空手道 他<br/>【期日】4月～3月<br/>【場所】県営武道館 【参加者数】14,384人</p> <p>5 クライミング無料体験会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>場 所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月29日</td> <td rowspan="2">県営運動公園登はん場</td> <td>436人</td> </tr> <tr> <td>10月14日</td> <td>445人</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 親子スポーツ教室<br/>【内容】ランニング教室、野球教室、マット運動教室等<br/>【期日】5月～11月 計6回<br/>【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】812人</p> <p>7 第25回湖上フェスティバル<br/>【期日】7月28日<br/>【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】128人</p> | 期日         | 場 所  | 参加者数 | 4月29日 | 県営運動公園登はん場 | 436人 | 10月14日 | 445人 | <p>8 第20回県民スポーツ・レクリエーション祭<br/>【期日】9月～11月 11種目<br/>【場所】県営体育施設 【参加者数】3,048人</p> <p>9 高齢者健康・体づくり指導者セミナー<br/>【期日】9月13日<br/>【場所】県営武道館 【参加者数】85人</p> <p>10 スポーツフェスティバル2013<br/>【期日】10月14日<br/>【場所】県営体育施設 【参加者数】15,095人</p> <p>11 スケート場オープニング事業<br/>【期日】11月3日<br/>【場所】県営スケート場 【参加者数】698人</p> <p>12 スケートキッズonサタデー<br/>【期日】11月～2月の土曜日 計14回<br/>【場所】県営スケート場 【参加者数】9,483人</p> <p>13 第27回氷上フェスティバル<br/>【期日】12月14日<br/>【場所】県営スケート場 【参加者数】858人</p> <p>14 健康・体づくり運動の指導プログラムに関する研究<br/>【期日】通年</p> |
|---|------------|------|------|-------|------------|------|--------|------|---|
| 期日  | 場 所        | 参加者数 |      |       |            |      |        |      |   |
| 4月29日   | 県営運動公園登はん場 | 436人 |      |       |            |      |        |      |   |
| 10月14日  |            | 445人 |      |       |            |      |        |      |   |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

- |  |   |
|--|---|
| <p>15 【自主事業】桜並木ライトアップ<br/>【期日】5月2日～4日<br/>【場所】県営運動公園内</p> <p>16 【自主事業】春の健康歩き方教室<br/>【期日】5月16日<br/>【場所】県営運動公園～東北農業試験場<br/>【参加者数】6人</p> <p>17 【自主事業】第4回岩手県営運動公園フォトコンテスト<br/>【期日】5月～11月<br/>【場所】県営運動公園ふれあいハウス</p> <p>18 【自主事業】すまいるグラウンド・ゴルフ練習会<br/>【期日】5月～11月 計20回<br/>【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】1,088人</p> <p>19 【自主事業】すまいるソフトテニス教室<br/>【期日】5月～7月 計8回<br/>【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】96人</p> <p>20 【自主事業】第2回理事長杯G・Gランドチャンピオン大会<br/>【期日】10月30日<br/>【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】134人</p> <p>21 【自主事業】スポ振ぶらんちクラブ<br/>【期日】5月～10月 計13回<br/>【場所】県営運動公園内 【参加者数】217人</p> <p>22 【自主事業】すまいるグラウンド・ゴルフ交流会<br/>【期日】5月～9月 計3回<br/>【場所】県営運動公園内 【参加者数】337人</p> | <p>23 【自主事業】スポーツフェスティバル2013<br/>【内容】フリーマーケット、屋台村<br/>【期日】10月14日 【参加者数】210人</p> <p>24 【自主事業】大きく育て木賊川稚魚放流<br/>【期日】8月1日<br/>【場所】運動公園内木賊川</p> <p>25 【自主事業】秋の健康歩き方教室<br/>【期日】9月30日<br/>【場所】県営運動公園内 【参加者数】21人</p> <p>26 【自主事業】すまいるボルダリング教室<br/>【期日】12月～2月<br/>【場所】県営運動公園屋内登はん場 【参加者数】143人</p> <p>27 【自主事業】植物・樹木観察会<br/>【期日】6月7日<br/>【場所】県営運動公園日本庭園 【参加者数】105人</p> <p>28 【自主事業】夏休み1dayキッズサッカースクール<br/>【期日】8月10日<br/>【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】87人</p> <p>29 【自主事業】すまいる卓球Room<br/>【期日】通年<br/>【場所】県営運動公園ふれあいハウス 【参加者数】749人</p> <p>30 【自主事業】家族で雪っこ体験教室<br/>【期日】1月25日<br/>【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】47人</p> |
|--|---|

#### 【県営体育館 平成25年度自主事業】

##### 1 ぶらんちクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月9日～7月11日 計7回	365人
第2回	8月22日～10月31日 計7回	387人

##### 2 スポーツしY0-Y0 on Tuesday

【期日】6月～10月の火曜日 計14回  
【参加者数】267人

##### 3 岩手ビッグブルズバスケットボールクリニック

【期日】8月3日 【参加者数】109人

##### 4 県営体育館中学生ハンドボール交流会

【期日】8月8日 【参加者数】274人

##### 5 スポーツしY0-Y0 on Holiday

【期日】8月11日回 【参加者数】267人

##### 6 ヒップホップ教室

【期日】9月～11月 【参加者数】456人

##### 7 体育館長杯ソフトテニスダブルス大会

【期日】2月22日  
【参加者数】14人

##### 8 盛年ソフトテニスミックスダブルス大会

【期日】3月4日 【参加者数】22人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

#### 【県営武道館 平成25年度自主事業】

##### 1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月7日～7月26日 計15回	678人
第2回	8月20日～10月31日 計14回	560人
第3回	11月18日～2月28日 計16回	642人

##### 2 スポ振キッズうんどう塾

【期日】 5月～7月

【参加者数】 256人

##### 3 弓道教室

【期日】 6月～7月 計10回

【参加者数】 143人

##### 4 スポーツフェスティバル2013

【内容】 武道交流会

【期日】 10月14日 【参加者数】 469人

##### 5 スポーツフェスティバル2013

【内容】 ちびっこ相撲大会

【期日】 10月14日 【参加者数】 520人

##### 6 少年柔道教室

【期日】 12月21日～23日 【参加者数】 174人

##### 7 少年剣道教室

【期日】 1月8日～9日 【参加者数】 55人

#### 【県営野球場 平成25年度自主事業】

##### 1 県営野球場バランスボール教室

【期日】 5月～2月 計24回 【参加者数】 244人

##### 2 スポーツフェスティバル2012

【内容】 復興支援学童軟式野球大会

【期日】 10月8日 【参加者数】 1,854人

##### 3 中学生野球教室（楽天野球塾）

【期日】 11月17日 【参加者数】 60人

##### 4 短期体操教室

【期日】 12月22日～24日

【参加者数】 56人

##### 5 屋内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会

【期日】 11月～2月の火・金曜日 計28回

【参加者数】 2,220人

#### 【県立御所湖広域公園艇庫 平成25年度自主事業】

##### 1 御所湖探検カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	5月26日	19人
第2回	6月9日	20人
第3回	7月20日	14人
第4回	7月21日	17人

##### 2 親子カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	8月3日	19人
第2回	8月4日	18人

##### 3 レディースカヌー教室

【期日】 7月14日

【参加者数】 19人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

#### 【県営スケート場 平成25年度自主事業】

- 1 スケート教室  
【期日】12月～2月の日曜日 計10回  
【参加者数】162人
- 2 スケート場オープニング事業 スケートレッスンタイム  
【期日】11月3日 【参加者数】20人
- 3 第27回氷上フェスティバル スケートレッスンタイム  
【期日】12月14日 【参加者数】21人
- 4 ステップアップ教室  
【期日】1月8日～10日 【参加者数】21人

#### 【県立花巻広域公園 平成25年度自主事業】

- 1 ぎんがのもり春まつり  
【期日】5月4日 【参加者数】812人
- 2 ちびっこ写生会  
【期日】5月4日～11月30日 【参加者数】10人
- 3 ぎんがのりグラウンド・ゴルフ練習会  
【期日】5月10日～10月11日 【参加者数】119人
- 4 ぎんがのもり探検隊  

	期 日	参加者数
第1回	5月11日	雨天中止
第2回	7月20日	10人
第3回	10月26日	雨天中止
- 5 ぎんがのもり森の恵み工作  

	期 日	参加者数
第1回	6月23日	120人
第2回	9月15日	雨天中止
第3回	10月6日	30人
- 6 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会  

	期 日	参加者数
第1回	7月31日	429人
第2回	8月23日	
第3回	9月20日	
第4回	10月18日	
- 7 ぎんがのもり夏まつり  
【期日】7月21日 【参加者数】2,384人
- 8 ぎんがのもり秋まつり  
【期日】10月13日 【参加者数】2,378人
- 9 ぎんがのもりキッズサッカースクール  
【期日】10月14日 【参加者数】51人

#### 【県勤労身体障がい者体育館 平成25年度自主事業】

- 1 車椅子バスケットボールフェスタ  
【期日】6月3日、9月29日 【参加者数】61人
- 2 ニュースポーツ交流会  
【期日】6月9日、12月14日 【参加者数】54人
- 3 卓球バレー体験教室  
【期日】9月23日 【参加者数】10人
- 4 パラリーナフェスティバル  
【期日】10月14日 【参加者数】20人
- 5 フロアバレーボール交流会  
【期日】11月3日 【参加者数】23人
- 6 いきいきフィットネスクラブ  
【期日】5月22日～2月5日 計24回  
【参加者数】98人
- 7 いきいきママさんバレーボール交流会  
【期日】7月15日、11月23日 【参加者数】95人

### 第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

#### 1 生涯スポーツに関する情報提供

岩手県広域スポーツセンターのホームページを更新し、スポーツ指導者とスポーツの指導を求める県民への情報の提供等を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の情報も新たに更新し生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

#### 2 平成25年度各種登録指導者数

- (1) 県スポーツリーダーバンク登録者…………… 144人
- (2) 地域スポーツ指導者……………1,841人（前年比 50人増）
- (3) 競技力向上指導者…………… 338人（前年比 21人増）
- (4) 商業スポーツ施設指導者…………… 42人（前年比 増減なし）
- (5) フィットネス系資格指導者…………… 126人（前年比 1人減）
- (6) メディカル・コンディショニング資格指導者…………… 86人（前年比 7人増）
- (7) 総合型地域スポーツクラブ資格…………… 122人（前年比 35人増）
- (8) レクリエーション関係資格指導者……………1,202人（前年比 66人減）
- (9) 県スポーツ少年団指導者……………5,269人（前年比 123人減）

## 第12節 競技スポーツの強化

### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

#### 1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
スペシャルスクール	9回
コンディショニングスクール	7回
クロストレーニングスクール	9回
トレーニングキャンプ（夏季・冬季）	2回
キッズトライアル（競技体験）	2回
体力測定（3月・8月）	2回

#### 2 選手の育成・強化

平成28年国民体育大会の本県開催に向けて、「県民」「企業」「団体」等と協働する岩手型の競技力向上対策として各種強化事業を実施した。

事業名	対象
ジュニア選手強化事業	中学生40競技・高校生39競技
トップ選手強化事業	41競技
指導者スキルアップ事業	41競技
コーチ派遣事業	41競技
強化指定校・ 強化指定クラブ支援事業	強化指定校：32競技62校 強化指定クラブ：8競技9団体
重点競技強化事業	A区分：7競技12種別、B区分：15競技22種別 C区分：13競技19種別、D区分：25競技56種別
ターゲットエイジ支援事業	37競技
ふるさと選手支援事業	40競技
強化選手支援事業	40競技
優秀指導者招聘事業	40競技

#### 3 指導体制の確立

指導者の養成及び資質の向上を図るため、指導者スキルアップ事業やコーチ派遣事業等を実施した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第12節 競技スポーツの強化

##### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導瀬谷育成

##### 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

#### 4 各種全国大会の結果

第68回国民体育大会の本県の成績は、男女総合成績（天皇杯）は23位[943点]となり、前回の39位[790点]と比較して順位を16位、得点を153点上げている。

また、入賞数は21競技71種目とし、前回の19競技から2競技増、64種目から7種目増としている。

大会名	入賞数
第68回国民体育大会	71
平成25年度全国高等学校総合体育大会	39
平成25年度全国中学校体育大会	5

#### 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

##### 1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

##### 2 一貫指導システムの構築

各競技団体において、系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、小中高一貫指導プランの作成を推進した。（41競技団体中38競技団体が作成）

##### 3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期日	会場
第65回岩手県高等学校総合体育大会	平成25年5月23日～6月23日	盛岡市ほか
第60回岩手県中学校総合体育大会	平成25年7月19日～7月22日	盛岡市ほか
平成25年度全国高等学校総合体育大会（夏季大会）	平成25年7月28日～8月20日	大分県ほか
第63回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成25年11月17日～12月16日	盛岡市
第46回岩手県中学校スケート大会	平成25年11月10日～12月15日	盛岡市
第63回岩手県中学校スキー大会	平成26年1月11日～1月14日	八幡平市
第63回岩手県高等学校スキー大会	平成26年1月11日～1月14日	八幡平市

##### 4 学校体育団体助成

団体名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	25,572千円
岩手県高等学校体育連盟	71,008千円

### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

平成 28 年に開催予定の岩手国体に向けて競技者等の裾野を広げ、広範なサポート体制を形成しながら、国体会場地市町村を中心としたスポーツ拠点化を推進する。

【震災の影響により、23 年度以降事業取り止め】

### 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフの養成やプログラムの研究や開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図る。

また、第71回国民体育大会に向け、国体選手等の競技力向上や指導者の資質向上を図るため、専門的スタッフ等の人員配置など、スポーツ健康科学サポート推進事業の実施体制の整備を進めた。

実施事業	実施回数
セミナー（第2期生）	6回
トレーナー実習（第2期生）	3回
データ活用事業	27回

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成25年度に各県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりであること。

[単位：人]

施設	競技会等の名称	期日	参加者数 (入場者数)
県営運動公園	第37回総理大臣杯全日本サッカートーナメント東北予選	平成25年5月19日	450
	第64回東北地区大学体育大会サッカー競技	平成25年6月24日・25日	120
	東北ベテランテニス選手権	平成25年8月6日～11日	365
	第64回東北地区大学体育大会陸上競技	平成25年9月21日・22日	700
	東北社会人サッカーリーグ1部	平成25年4月7日・14日・5月5日・6月16日	1,856
県営体育館	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成25年5月4日・5日	4,500
	第46回東日本学生体操競技選手権大会	平成25年5月18日・19日	3,000
	第42回東北高等学校体操競技選手権大会	平成25年6月21日～23日	1,300
	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成25年9月21日・22日	3,300
	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成25年10月12日・13日	2,850
	プロレスノア盛岡大会	平成25年10月30日	550
	みちのくプロレス盛岡大会	平成25年11月4日	1,000
	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成25年11月16日・17日	3,300
	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成25年12月21日・22日	2,500
	東北高校新人ボクシング大会	平成26年1月24日～26日	1,200
	新日本プロレス盛岡大会	平成26年3月13日	1,400
県営野球場	第7回春季東北地区高等学校軟式野球大会	平成25年6月16日・18日	909
	プロ野球パ・リーグ公式戦 (楽天×西武)	平成25年7月30日	15,723
	第4回東北地区3連盟大学野球対抗戦	平成25年8月10日・11日	348
	第17回J R東日本硬式野球クラブ大会	平成25年8月20日・21日	319
	第61回東北新聞社親善野球大会	平成25年9月7日	220
	第66回秋季東北地区高等学校野球大会	平成25年10月11日～18日	10,276
県営スケート場	ジャパンカップスピードスケート競技会盛岡大会	平成25年11月30日～12月1日	840
	第43回東北スケート競技選手権大会兼第25回東北高等学校スケート競技大会兼第35回東北中学校スケート選手権大会	平成25年12月21日～23日	660
県営武道館	第84回全東北学生競技ダンス選手権	平成25年5月12日	312
	第71回和道会東北空手道選手権大会	平成25年6月16日	320
	第46回北日本医科歯科学学生剣道大会	平成25年6月23日	280
	第23回東北高等学校弓道練成大会	平成25年8月7日～9日	530
	平成25年度全日本学生柔道体重別選手権大会東北予選会	平成25年8月31日・9月1日	250
	第9回東北ジュニア武術太極拳交流大会	平成25年9月22日	290
	全剣連社会体育指導員養成講習会	平成25年10月26日・27日	150
	少林寺拳法東北大会inいわて	平成25年11月3日・4日	700
	第32回東北高等学校弓道選抜大会	平成26年1月31日～2月2日	350
	第13回東日本弓道大会射会	平成26年3月2日	250
	東北中学校春季柔道大会	平成26年3月15日・16日	600
	県立御所湖広域公園艇庫	第16回東北高等学校カヌースプリント選手権大会	平成25年6月15日・16日

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

公立学校共済組合の事業には、短期及び長期の給付事業と、組合員の福利厚生事業、組合員に対する貸付事業並びに宿泊施設の経営等があり、これらに必要な費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金をもって充てている。

**【組合員及び被扶養者数（平成25年度末）】** [単位：人]

区 分	組合員数	被扶養者数
一般	12,951	——
うち男	6,692	——
女	6,259	——
長期	0	——
船員	26	——
任意継続	390	——
計	13,367	13,061

#### 第1 短期給付事業

○ 収支状況（平成25年度）

**【収入】** [単位：千円]

区 分	金 額
短期負担金	3,903,659
介護負担金	375,117
短期掛金	3,873,732
介護掛金	375,053
短期任意継続掛金	156,122
介護任意継続掛金	18,048
利息及び配当金	0
賠償金	4,964
計	8,706,695

**【支出】** [単位：千円]

区 分	金 額
法定給付	3,512,864
附加給付	66,682
一部負担金払戻金	51,684
短期任意継続掛金還付	6,998
介護任意継続掛金還付	781
計	3,639,009

収支差額（本部送金）	5,067,686
------------	-----------

#### 第2 長期給付事業

年金給付等の財源として本部へ送金した。

**【収入の状況（平成25年度）】** [単位：千円]

区 分	金 額
負担金	10,997,519
追加費用負担金	4,816,772
掛金	7,581,161
利息及び配当金	0
計	23,395,452

### 第3 厚生福利事業

#### 1 人間ドック

利用を希望する組合員1,222人を対象に、以下の8医療機関において、事業費58,833千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	381
県立中央病院	102
岩手医科大学附属病院	85
北上済生会病院	35
盛岡赤十字病院	158
松園第二病院	30
岩手県予防医学協会	401
滝沢中央病院	30
計	1,222

#### 2 脳ドック

脳疾患の早期発見、早期治療を目的として、45歳以上の希望する組合員575人を対象に、以下の5医療機関において、事業費23,579千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	194
県立中央病院	37
盛岡赤十字病院	92
北上済生会病院	99
県予防医学協会 本所	153
計	575

#### 3 ライフプラン総合講座

組合員の健康管理意識を高め、健康の保持・増進を図るため、健康管理講座を実施した。

【受講者数】 244人 【事業費】 1,504千円

#### 4 メンタルヘルスサポート事業

こころの健康の保持・増進とこころの病気の早期発見・早期対応、再発予防を図るため、県教育委員会と共催で、メンタルヘルスに関する以下のセミナーを実施した。 [単位：人]

区分	目的	対象者	期日	回数(開催地)	参加者数
教職員のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する基礎知識と理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成を図る。	一般教職員	平成25年7月30日、8月8日、9日	3回(釜石市、盛岡市、奥州市)	142
管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する知識や対応方法について習得を図る。	管理監督者	平成25年6月19日、7月4日	2回(大船渡市、盛岡市)	188
管理監督者メンタルヘルス特別セミナー	災害起因の心身不調、人事異動に伴う体調不良等への対応等について、専門医から助言を受ける。	管理監督者	平成25年12月18日	1回(盛岡市)	175

#### 5 施設利用補助(サンセール盛岡利用補助)

組合員等によるサンセール盛岡の利用に対し、計63,561千円を補助した。

区分	利用人数等	補助額(千円)	補助の概要
宿泊	2,366人	4,732	宿泊利用1人につき、2,000円を補助
会食	18,069人	52,984	会食利用1人につき、利用額に応じ3,000円～1,000円を補助
会議	392件	4,612	過半数が組合員のとき、50%最高25千円を補助
法事・慶事	6組	167	法要・慶事利用1組につき、最高20万円を補助
年金受給者	533件	1,066	宿泊利用1人につき、2,000円を補助
計		63,561	

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第4 貸付事業

第5 宿泊施設

第4 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする場合に貸付を行っており、平成25年度における新規貸付の状況は次のとおりである。

【平成25年度新規貸付件数】

[単位：件、千円]

区分	件数	貸付金額	制度の概要
一般貸付	60	82,000	組合員が臨時に資金を必要とする場合 □限度額 200万円
住宅貸付	8	68,910	組合員が自己用の住宅の新築等をする場合 □限度額 1,800万円
住宅災害貸付	3	39,000	住宅に非常災害を受け、新築等をする場合 □限度額 1,900万円
教育貸付	15	26,300	組合員やその子弟が大学等に入学する場合 □限度額 550万円
医療貸付	2	2,400	組合員やその親族が医療を受ける場合 □限度額 120万円
結婚貸付	0	0	組合員やその子が結婚する場合 □限度額 200万円
葬祭貸付	1	600	組合員が親族の葬祭を行う場合 □限度額 200万円
高額医療貸付	0	0	組合員が高額療養費を支払う場合 □限度額：高額療養費相当額
災害貸付	0	0	組合員や被扶養者が非常災害を受けた場合 □限度額 200万円
出産貸付	0	0	組合員が出産費を支払う場合 □限度額：出産費相当額
計	89	219,210	

第5 宿泊施設

岩手支部は、組合員等の福利厚生施設として、盛岡宿泊所「サンセール盛岡」を設置している。当該施設は、組合員に限らず広く一般県民に利用されており、その利用状況は次のとおりである。

区分等	利用状況	備考	
宿泊部門	収容定員	79人	
	宿泊可能人数	28,835人	収容定員79人×営業日数365日
	宿泊延べ人数	11,400人	
	利用率	39.5%	11,400人÷28,835人
宿泊外部部門	収容定員	848人	
	利用可能人数	309,520人	収容定員848人×営業日数365日
	利用延べ人数	97,210人	
	うち会議利用	43,607人	
	宴会利用	40,891人	
	婚礼利用	42人	
	グリル等	12,670人	
利用率	31.4%	97,210人÷309,520人	
計	108,610人	宿泊延べ人数11,400人+宿泊外利用延べ人数97,210人	

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 厚生福利事業

第2節 教職員互助会

本県における教育文化の振興発展に寄与し、併せて教職員及び教育関係職員の福利増進と生活の安定を図ることを目的として、以下の諸事業を実施した。

第1 短期給付事業

区分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	73,284,605	被扶養者 29,885件	被扶養者が療養を受けたとき給付
無給会員給付金 (過年度分)	240,000	28条休職者 8件	会員が休職し無給となったとき給付 □28条休職者：3万円 (平均12月) (平成24年度で廃止)
出産保育費	7,350,000	会員…… 151人 配偶者… 94人	会員又は被扶養配偶者が出産したとき給付 □会員・配偶者：3万円
災害見舞金	100,000	2件	会員が火災等の災害を受けたとき損害の程度により給付 □3万円～60万円
弔慰金	8,100,000	会員………12人 配偶者…… 6人 被扶養者… 9人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：50万円、配偶者：20万円、被扶養者：10万円
計	89,074,605		

第2 長期給付事業

区分	給付額 (円)	人数	制度の概要
生きがい対策 支援助成金	122,374,624	571人 うち定年退職………283人 勸奨退職……… 81人 死亡退職……… 8人 普通退職……… 53人 特別会員……… 35人 その他 (異動等) 111人	会員資格6か月以上の会員が退会したとき給付 □ ①8,500円×会員年数(入会～平成24年度) ②3,000円×会員年数(平成25年度～) ①+② = 給付合計額 (1人平均214,316円)

第3 厚生福利事業

区分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	172,539,599	63,828件	会員が療養を受けたとき給付
入院見舞金	13,077,000	会員……… 9,813日 被扶養者… 16,341日	会員又は被扶養者が入院したとき給付 □会員・被扶養者：1日につき500円
介護休暇給付金	2,445,509	28件	会員が介護休暇を取得したとき給付。 □1日につき給料日額の100分の60に相当する額から 共済組合の介護休業手当金を控除した額。

第4章 厚生福利  
 第2節 教職員互助会  
 第3 厚生福利事業

区 分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
小学校入学祝金	5,160,000	516人	会員の被扶養者、配偶者の被扶養者に認定されている子が小学校に入学したとき給付 □10,000円
弔慰金 (過年度分)	0	0人	配偶者 (会員又は被扶養者を除く) が死亡したとき給付 □被扶養者以外の配偶者: 200,000円 (平成24年度で廃止)
施設利用補助	5,187,000	宿泊利用……4,271件 うち全教互指定旅館 4,235件 サンセール盛岡 36件  会食利用………311件 婚礼利用………0件	宿泊利用補助: 会員及び被扶養者が指定施設を宿泊で利用したとき補助 □全教互指定旅館: 1泊につき1,000円 □サンセール盛岡: 1泊につき2,000円 (特別会員) 会食利用補助: 特別会員が会食でサンセール盛岡を利用したとき補助 □1人1回につき6千円以上の利用: 3,000円 5千円以上6千円未満の利用: 2,000円 3千円以上5千円未満の利用: 1,000円 婚礼利用補助: 会員及びその子が、結婚披露宴でサンセール盛岡を利用したとき補助 □150,000円を上限に1組の利用額の25%
退職慰労記念品費	34,400,000	旅行券………547人 香典料……… 8人	平成24年度までの会員が、退職又は異動により退会したとき、平成24年度末までの会員年数に応じて旅行券を交付 □会員年数1年以上10年未満: 20,000円 10年以上20年未満: 40,000円 20年以上30年未満: 60,000円 30年以上: 80,000円 死亡により退会したとき遺族に香典料を支給 □香典料: 50,000円
遺児育英資金	2,000,000	4人	会員が死亡したとき、被扶養者のうち、当該年度末までの間に満18歳以下である遺児があるとき給付 □遺児1人 500,000円
ライフプランセミナー	1,131,020		□ライフプランを基本に「健康管理」「年金」「生涯生活設計」について基礎研修と選択研修の講座を実施 □退職予定者を対象に退職準備セミナーを開催
公益文化事業費	4,958,000		□岩手教育芸術祭開催 (他団体と共催) □東日本大震災被災校への図書カード寄贈 □文化公演会 (他団体と共催)
広報活動事業費	4,773,420		□互助会報発行: 年4回 □会報表紙写真募集 □福祉のしおり
保険外医療給付金	2,949,032	マッサージ等…234件 妊婦検診……… 27件 歯科治療……… 57件 不妊治療……… 24件	会員が保険適用外医療 (マッサージ等、歯科治療、妊婦検診及び不妊治療) を受けたとき給付 □1年度について10,000円以内
身体矯正器具等購入(修理)補助	18,982,342	眼鏡………1,912件 補聴器………0件	眼鏡、補聴器、補装具のいずれかを購入 (修理) したとき補助 □2年度に1回に限り10,000円以内
ホームヘルパー雇用補助	380,606	5件	会員、配偶者、会員又は配偶者の扶養家族、会員又は配偶者の父母が、在宅療養中に介助者及び家事援助者を1年度に5日以上雇用して、その費用を負担したとき補助 □1日2,000円以内 (1年度に60日を限度) ただし、介護保険の在宅支援給付を受けている場合は、その自己負担額の範囲内とする。
心身リフレッシュ支援助成	38,400,700	15年………355人 25年………408人	会員の会員継続年数が15年、25年に達したとき助成 □会員年数15年: 40,000円、25年: 60,000円 □助成品目: 旅行券又は図書カード
計	306,384,228		

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第4 特別弔慰積立事業

第5 貸付事業

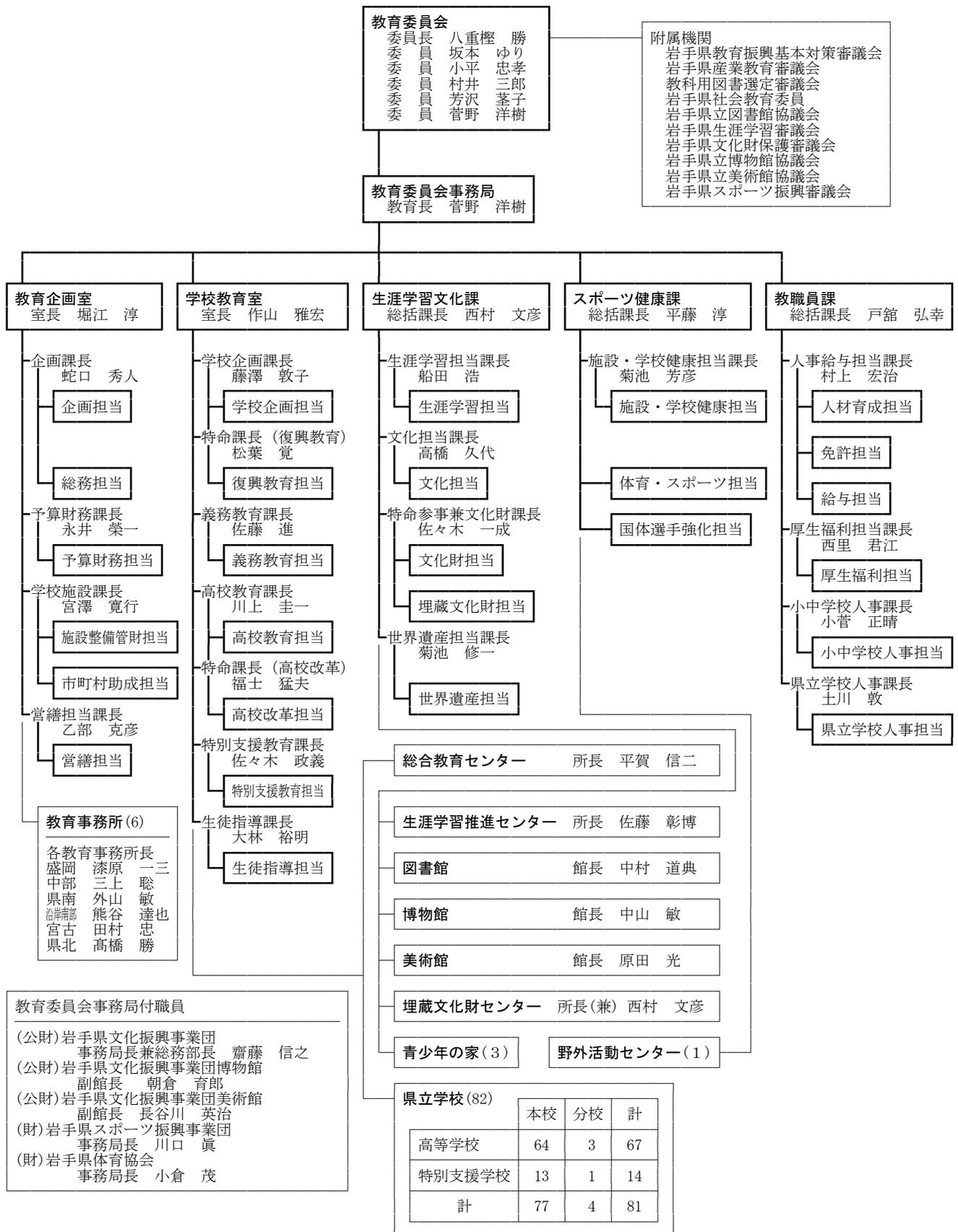
第4 特別弔慰積立事業

区 分	給付額（円）	件数（人数）	制度の概要
特別弔慰金 (過年度分)	150,000	会員………… 0人 配偶者………… 0人 被扶養者… 3人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：20万円、配偶者：10万円、被扶養者：5万円
積立給付金	35,316,800	積立金… 569人	退会により会員の資格を失ったとき、当該会員が平成25年3月までに積立てた額を給付 □積立金・毎月200円積立の累計額
計	35,466,800		

第5 貸付事業

区 分	貸付額（円）	件 数	制度の概要
生活資金	259,200,000	179件	会員が臨時に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
奨学資金	64,900,000	38件	会員又はその子弟が高校、大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
海外旅行資金	3,000,000	3件	会員が海外旅行をする場合で旅行日前2か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額100万円
結婚資金	11,800,000	8件	会員又はその子が結婚する場合で婚姻の前後6か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
計	338,900,000	228件	

1 県教育委員会機構図（平成25年5月1日現在）



## 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

### 岩手県教育振興基本対策審議会委員（平成25年6月30日現在）

野田 武 則	（釜石市長）
高橋 由 一	（金ヶ崎町長）
似内 宏 和	（遠野市教育委員会委員長）
鳩岡 矩 雄	（二戸市教育委員会教育長）
鈴木 祐 子	（（社）岩手県PTA連合会副会長）
福田 國 幸	（岩手県高等学校PTA連合会理事）
佐藤 哲 郎	（岩手県社会教育連絡協議会副会長）
浅沼 道 成	（（財）岩手県体育協会理事）
野田 みどり	（（社）岩手県芸術文化協会）
遠藤 洋 一	（元盛岡第一高等学校長）
鎌田 文 聰	（岩手大学教育学部教授）
高屋 裕美子	（岩手県立盛岡第三高等学校評議員）
澤口 たまみ	（エッセイスト、盛岡大学短期学部非常勤講師）
高橋 寿 子	（農事組合法人いさわ産直センターあじさい代表理事組合長）
増田 久 士	（釜石シーウェイブスRF C事務局長）
三浦 光 子	（臨床心理士）
谷村 久 興	（谷村電気精機株式会社代表取締役社長）
吉田 道 一	（盛岡教育事務所在学青少年指導員）

※ 平成25年7月1日以降委員選任なし

### 岩手県社会教育委員（平成25年7月1日現在）

阿部 智衛子	（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご名誉理事）
及川 求	（岩手県立一関清明支援学校長）
大橋 清 司	（岩手県社会教育連絡協議会長）
小笠原 洋子	（盛岡市立高松小学校長）
金谷 茂	（（社）岩手県PTA連合会長）
熊坂 伸子	（普代村教育委員会教育長）
齋藤 肇	（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長（チャグチャグスポーツクラブ事務局長））
瀬川 愛子	（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
高橋 蔵	（岩手県青年団体協議副会長）
高橋 聡	（岩手県立大学社会福祉学部教授）
田口 博子	（岩手県弦楽研究会会員）
千葉 仁	（岩手県立盛岡大高等学校長）
恒川 かおり	（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）
細川 恵子	（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）
室井 麗子	（岩手大学教育学部准教授）
森 義 真	（公募委員）

（任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日）

### 岩手県立図書館協議会委員（平成25年7月1日現在）

山内 昭	（岩手県学校図書館協議会長）
下机 暁美	（田野畑村社会教育委員）
宮手 一 恵	（NPO法人うれし野こども図書館理事）
千 錫 烈	（盛岡大学文学部准教授）
藤原 哲	（岩手日報社編集局学芸部長）
斎藤 純	（作家）
吉丸 蓉子	（盛岡市教育委員会委員）
箱石 恵美子	（岩泉町立図書館長）

（任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日）

### 岩手県生涯学習審議会委員（平成25年7月1日現在）

阿部 智衛子	（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご名誉理事）
及川 求	（岩手県立一関清明支援学校長）
大橋 清 司	（岩手県社会教育連絡協議会長）
小笠原 洋子	（盛岡市立高松小学校長）
金谷 茂	（（社）岩手県PTA連合会長）
熊坂 伸子	（普代村教育委員会教育長）
齋藤 肇	（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長（チャグチャグスポーツクラブ事務局長））
瀬川 愛子	（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
高橋 蔵	（岩手県青年団体協議副会長）
高橋 聡	（岩手県立大学社会福祉学部教授）
田口 博子	（岩手県弦楽研究会会員）
千葉 仁	（岩手県立盛岡第二高等学校長）
恒川 かおり	（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）
細川 恵子	（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）
室井 麗子	（岩手大学教育学部准教授）
森 義 真	（公募委員）

（任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日）

## 参考資料

### 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

#### 岩手県文化財保護審議会委員（平成25年5月1日現在）

朝日田 卓（北里大学海洋生命学部教授）  
大島 晃一（元一関市博物館副館長）  
熊谷 常正（盛岡大学教授）  
佐藤 由紀男（岩手大学教授）  
高橋 あけみ（仙台市博物館主査）  
土井 宣夫（岩手大学教授）  
中屋 洋子（元岩手大学非常勤講師）  
根本 智行（石巻専修大学教授）  
橋本 裕之（追手門学院地域文化創造機構特別教授）  
政次 浩（東北歴史博物館副主任研究員）  
（任期：平成24年5月1日～平成26年4月30日）

#### 岩手県立博物館協議会委員（平成25年6月23日現在）

佐藤 典子（盛岡市立山王小学校校長）  
高橋 清之（盛岡市立巻堀中学校校長）  
工藤 良裕（岩手県立盛岡第四高等学校校長）  
佐々木 訓（岩手県青年団体協議会副会長）  
野田 和子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
米澤 慎悦（（一社）岩手県PTA連合会顧問）  
齋藤 桃子（岩手町立石神の丘美術館主任学芸員）  
遠藤 健悦（滝沢村教育委員会教育長）  
前田 千香子（岩手県立博物館友の会会員）  
鈴木 多聞（（株）岩手日報社編集局学芸部次長）  
名越 利幸（岩手大学教授）  
遠山 稿二郎（岩手医科大学教授）  
飯坂 真紀（画家・民俗芸能研究者）  
齋藤 めぐみ（盛岡ふるさとガイドの会会員）  
（任期：平成25年6月23日～平成27年6月22日）

#### 岩手県立美術館協議会委員（平成26年3月1日現在）

鳥羽 真喜子（盛岡市立洪民小学校校長）  
佐藤 嘉彦（盛岡市立上田中学校校長）  
横田 禮子（学校法人スコーレ盛岡スコーレ高等学校校長）  
瀬川 愛子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
五十嵐 のぶ代（（社）岩手県PTA連合会副会長・母親委員会委員長）  
菊池 房江（岩手県工芸美術協会会長）  
菅原 和彦（（株）岩手日報社論説委員）  
長澤 みち子（岩手県立美術館友の会会長）  
吉田 浩次（（株）川徳取締役相談役）  
石塚 庸子（盛岡グランドホテル人事部人材開発課マネージャー）  
金子 正勝（（公社）日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長）  
そのだ つくし（漫画家）  
佐々木 繁美（（公社）盛岡市文化振興事業団盛岡市民文化ホール館長）  
阿部 裕之（岩手大学教育学部教授）  
（任期：平成26年3月1日～平成28年2月29日）

#### 岩手県スポーツ振興審議会委員（平成25年6月23日現在）

松尾 光則（矢巾町教育委員会委員長）  
谷村 邦久（岩手県商工会議所連合会副会長）  
鷹 齋 文昭（（財）岩手県体育協会副会長兼理事長）  
松尾 和彦（岩手県高等学校体育連盟理事長）  
西郷 晃（岩手県中学校体育連盟理事長）  
廣長 千鶴子（岩手県スポーツ推進委員協議会女性委員会委員長）  
朴田 香代（岩手県小学校体育研究会広報部員）  
上濱 龍也（岩手大学教育学部准教授）  
石動 孝（社団法人岩手県医師会副会長）  
首藤 信一（ソウルオリンピックハンドボール競技日本代表）  
竹村 馨（アトランタオリンピックシンクロノイズドスイミング団体編メダリスト）  
高橋 英絵（公募委員）  
長屋 あゆみ（公募委員）  
（任期：平成24年6月23日～平成26年6月22日）

### 3 県教育委員会会議（平成25年度）

#### 4月定例会（平成25年4月15日）

事務報告1 平成25年2月県議会定例会の概要について

#### 5月定例会（平成25年5月20日）

議案第1号 第71回国民体育大会デモンストレーションスポーツの実施申請書の提出に関し議決を求めることについて

#### 6月定例会（平成25年6月17日）

議案第2号 岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

議案第3号 岩手県立図書館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて

#### 7月定例会（平成25年7月16日）

事務報告1 平成25年6月県議会定例会の概要について

#### 8月定例会（平成25年8月19日）

議案第4号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

議案第5号から議案第12号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 9月定例会（平成25年9月17日）

事務報告1 平成26年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜の概要について

事務報告2 平成25年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について

事務報告3 岩手県立高等学校共同実習船の建造について

議案第13号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 10月臨時会（平成25年10月11日）

第1 会期決定の件

第2 委員長選挙

第3 委員長選挙に伴う委員長職務代理者の指定

第4 委員長選挙に伴う委員長職務代理者の順位の決定

第5 議席の決定

#### 10月定例会（平成25年10月21日）

事務報告1 平成26年度岩手県立高等学校入学選抜実施要項について

事務報告2 平成26年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数について

事務報告3 第68回国民体育大会の結果について

議案第14号 第71回国民体育大会冬季大会の開催に関し議決を求めることについて

議案第15号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

議案第16号 岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

議案第17号 文化財の指定に関し議決を求めることについて

議案第18号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

議案第19号 平成26年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて

議案第20号 公立中学校長の人事に関し議決を求めることについて

議案第21号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 11月定例会（平成25年11月18日）

事務報告1 岩手県立高田高等学校校舎等新築工事について

事務報告2 平成25年9月県議会定例会の概要について

議案第22号 いわて特別支援教育推進プランの策定に関し議決を求めることについて

議案第23号 学校職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

議案第24号及び議案第25号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

議案第26号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

#### 12月定例会（平成25年12月16日）

事務報告1 平成25年12月県議会定例会の概要について

事務報告2 平成26年度県立一関第一高等学校入学選抜に係る出願状況について

議案第27号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

## 参考資料

### 3 県教育委員会会議

#### 1月定例会（平成26年1月22日）

事務報告1 平成26年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜検査の実施について

#### 2月定例会（平成26年2月17日）

事務報告1 教科用図書採択地区の設定の一部改正について

議案第28号 岩手県立美術館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

議案第29号から議案第34号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

議案第35号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて

#### 3月臨時会（平成26年3月3日）

議案第36号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて

議案第37号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて

議案第38号 県立学校の校長及び事務長の人事に関し議決を求めることについて

議案第39号 教育委員会委員の辞職に関し議決を求めることについて

#### 3月定例会（平成26年3月18日）

事務報告1 平成25年度全国高等学校総合体育大会冬期大会、平成25年度全国中学校体育大会冬期大会、第69回国民体育大会冬期大会の結果について

協議1 岩手県教育委員会の事務を市町村が処理する事務処理の特例に関する規則の一部を改正する規則の指示専決処理について

議案第40号 文化財の指定及び保持団体の認定並びに文化財の指定の一部解除に関し議決を求めることについて

議案第41号 岩手県教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則

議案第42号 岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則

議案第43号 岩手県教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令

議案第44号 県立学校事務処理規程の一部を改正する訓令

議案第45号 岩手県教育委員会が保有する行政文書の開示等に関する規則及び岩手県教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の一部を改正する規則

議案第46号 教科用図書選定審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

議案第47号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて

議案第48号 公立小中学校長の人事の議決に係る変更に関し議決を求めることについて

議案第49号から議案第52号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

議案第53号 学校職員の一般の退職手当等の一部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

#### 3月臨時会（平成26年3月27日）

議案第54号 教育長の任命に関し議決を求めることについて

#### 4 県教育委員会関係主要行事（平成25年度）

- 4月9～10日 第1回岩手県社会教育主事等会議〔盛岡地区合同庁舎〕  
 10日 第1回公所長会議〔県庁舎〕  
 17日 第1回県立学校長会議〔サンセール盛岡〕  
 11～12日 第1回代表指導主事会議〔県庁舎〕  
 15日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 18～19日 第1回県指導主事会議〔県庁舎、ほか〕  
 25日 県立学校副校長会議〔サンセール盛岡〕
- 5月8～9日 県立学校等新任副校長研修講座〔盛岡地区合同庁舎〕  
 14～16日 県立学校等新任校長研修講座〔清温荘〕  
 20日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 23日～6月23日 第64回岩手県高等学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕
- 6月 17日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕
- 7月6～7日 全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会・プレフォーラム〔宮古市ほか〕  
 10～26日 全国高等学校野球選手権大会岩手大会〔盛岡市ほか〕  
 16日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 19日 県小・中学校教育課程協議会〔総合教育センター〕  
 20～23日 岩手県中学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕  
 24日 第1回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議〔盛岡地区合同庁舎〕  
 28日～8月20日 全国高等学校総合体育大会〔大分県、福岡県、佐賀県、長崎県〕  
 31日 第4回岩手県スポーツ振興審議会〔県庁舎〕  
 31日 第37回全国高等学校総合文化祭(31日から8月4日)
- 8月 6日 第46回東北学校保健大会兼第49回岩手県学校健康教育研究大会〔マリオス〕  
 17～25日 全国中学校体育大会〔東海ブロック〕  
 19日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 20日 岩手県美術選奨・芸術選奨表彰式〔サンセール盛岡〕  
 23～25日 第39回東北総合体育大会〔山形県ほか〕
- 9月5～6日 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育委主管課長会議〔山形県〕  
 11日 第1回児童生徒表彰式（はばたき賞）〔県庁舎〕  
 13日 第1回岩手県文化財保護審議会〔県庁舎〕  
 17日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 18日 交通安全教育指導者講習会〔アイーナ〕  
 28日～10月8日 第68回国民体育大会〔東京都〕
- 10月 2日 学習定着度状況調査の実施〔各小中学校〕  
 4日 第36回岩手県高等学校総合文化祭開会式〔奥州市文化会館乙ホール〕  
 5日 第66回岩手芸術祭開幕フェスティバル〔県民会館〕  
 11日 教育委員会議臨時会〔教育委員室〕  
 18日 第2回県立学校長会議〔盛岡地区合同庁舎〕  
 21日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 29～30日 第2回県社会教育主事等会議〔生涯学習推進センター〕
- 11月 1日 「いわて教育の日」記念式典〔盛岡劇場〕  
 13日 第1回教育長表彰式〔教育長室〕  
 15日 教育表彰〔県民会館〕  
 16～17日 全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会〔マリオス〕  
 18日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 22日 第12回岩手県中学校総合文化祭開会式〔県民会館〕  
 29日 第2回代表指導主事会議〔県庁舎〕
- 12月 16日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕

## 参考資料

### 4 県教育委員会関係主要行事

- 1月 9日 第48回岩手県学校健康教育研究大会 [マリオス]  
18日 教育振興運動集約県大会 [花巻市文化会館]  
24日 第2回県指導主事会議 [総合教育センター]  
22日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
23日 岩手県就学指導委員会 [水産会館]  
31日 幼稚園等新規採用教員研修運営協議会 [県庁舎]
- 28～2月2日 第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会 [栃木県]  
30日 第5回岩手県スポーツ推進審議会 [県庁舎]
- 2月 4日 第2回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [盛岡地区合同庁舎]  
6～7日 岩手県生涯学習推進研究発表会 [生涯学習推進センター]  
6～7日 第3回代表指導主事会議 [県庁舎]  
12日 第2回児童生徒表彰式 (はばたき賞) [盛岡地区合同庁舎]  
12日 第3回岩手県社会教育主事会議 [サンセール盛岡]  
17日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
19日 第2回教育長表彰式 [教育長室]  
18日 第3回県立学校長会議 [サンセール盛岡]  
20日 第2回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 [盛岡地区合同庁舎]  
20日 第2回岩手県文化財保護審議会 [県庁舎]  
21～24日 第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 [山形県]
- 3月 3日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]  
18日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
27日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]  
31日 退職者感謝状贈呈式 [県民会館]

## 5 私立学校

### (1) 私立学校審議会

#### ア 委員（平成25年9月25日現在、五十音順）

今 西 界 雄	（双葉幼稚園園長）
大 森 紀代美	（盛岡生活文化研究室幹事）
荻 原 禮 子	（盛岡白百合学園中学校長 高等学校長）
柏 眞喜子	（東北公営企業株式会社代表取締役社長）
久 保 榮 子	（学校法人コアトレース理事長）
工 藤 純 世	（学校法人つばめ学園理事長）
咲 間 まり子	（岩手県立大学社会福祉学部教授）
佐 藤 勝	（元岩手県教育委員会教育長）
田 代 高 章	（岩手大学教育学部教授）
横 田 禮 子	（盛岡スコーレ高等学校長）

#### イ 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

平成25年9月25日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

学校法人願成寺学園 一関幼稚園

学校法人わかば学園 わかば幼稚園

学校法人岩手女子奨学会 岩手女子高等学校

専修学校の設置認可について

学校法人コアトレース 岩手公務員専門学校

平成26年3月26日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

学校法人双葉学園 双葉幼稚園

### (2) 私立学校等認可の状況

平成25年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

ア 学校の収容定員に係る学則変更認可…… 4 件

イ 専修学校の設置認可…………… 1 件

(3) 助成の状況（平成25年度最終予算）

ア 県費補助

(ア) 私立学校運営費補助

幼稚園・小・中・高等学校補助……………	4,269,139千円
過疎地域私立高等学校補助（4校）……………	157,441千円
特別支援教育費補助（30幼稚園）……………	102,704千円
教育改革推進特別経費……………	255,600千円
特別支援学校補助（1校）……………	96,068千円
専修学校補助（15校）……………	66,275千円
(イ) 私立学校教職員退職金給付事業費補助……………	138,570千円
(ウ) 日本私立学校振興・共済事業団補助……………	49,174千円
(エ) 私立高等学校等授業料減免補助……………	22,951千円
(オ) 認定こども園整備事業費補助……………	254,958千円
(カ) 私立学校被災児童生徒等就学支援事業費補助…	91,446千円
(キ) 私立学校等災害復旧事業費補助……………	73,083千円

イ 岩手県私学教育振興会貸付金

施設整備・経営資金貸付……………	221,000千円
------------------	-----------

(4) 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成25年11月8日知事表彰を行った。

- 個人 赤坂昌吉（盛岡大学附属高等学校 校長）
- 長岡一恵（盛岡スコーレ高等学校 教諭）
- 伊藤新也（花巻東高等学校 教諭）
- 藤原孝史（岩手中・高等学校 教諭）

## 6 県教育委員会が所管する公益法人・公益信託等（平成26年3月31日現在）

## 【公益法人】

番号	種別	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	財団法人	岩手育英会	大正14年9月10日	育英奨学	盛岡市津志田14-37-2(盛岡市教委内)
2	財団法人	岩手県学校給食会	昭和33年5月1日	学校給食関係事業	盛岡市流通センター北1-12-1
3	財団法人	岩手県高校教育会館	昭和34年11月6日	高校関係職員の福利厚生	盛岡市志家町11-13
4	財団法人	岩手県体育協会	昭和41年4月28日	県民体育の普及振興	盛岡市青山4-13-30
5	財団法人	大船渡市育英奨学会	昭和49年8月19日	育英奨学	大船渡市盛町字宇津野沢15(大船渡市教委内)
6	財団法人	盛岡市体育協会	昭和55年5月19日	体育・スポーツの振興	盛岡市上田3-17-60
7	財団法人	伊藤育英会	昭和58年9月19日	育英奨学	花巻市大通り1-12-14
8	財団法人	岩手県スポーツ振興事業団	昭和60年3月26日	スポーツの振興	盛岡市みたけ1-10-1
9	財団法人	岩手県文化振興事業団	昭和60年4月8日	文化の振興	盛岡市内丸13-1(県民会館内)
10	財団法人	小林奨学育英会	昭和62年12月21日	育英奨学	奥州市水沢区中町127(株式会社マツヤ内)
11	財団法人	北上市体育協会	平成7年3月17日	スポーツの振興	北上市相去町高前壇27-36
12	財団法人	盛岡市文化振興事業団	平成9年10月15日	文化の振興	盛岡市盛岡駅西通2-9-1
13	社団法人	岩手県サッカー協会	平成17年4月1日	サッカーの振興	紫波郡紫波町紫波中央駅2-1-1

## 【一般法人】

番号	種別	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	財団法人	福岡高等学校奨学会	昭和5年11月11日	育英奨学	二戸市福岡字上平10
2	財団法人	岩手教育会館	昭和27年8月18日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
3	財団法人	岩手県教職員互助会	昭和47年4月1日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
4	財団法人	遠野市教育文化振興財団	昭和49年4月22日	教育文化の振興	遠野市新町1-10(遠野市教委内)
5	財団法人	岩手県青少年会館	昭和49年8月30日	社会教育の振興	盛岡市みたけ3-38-20
6	財団法人	軽米教育施設運営会	昭和50年4月1日	教育施設の管理	九戸郡軽米町大字軽米9-51-1
7	財団法人	岩手県学校安全互助会	昭和52年4月1日	学校事故被災者救済	盛岡市本町通2-1-36
8	財団法人	岩手県教育振興基金	昭和61年9月25日	教育研究団体等への助成	盛岡市菜園1-11-15
9	社団法人	八幡平市体育協会	平成2年2月19日	体育・スポーツの振興	八幡平市大更37-105-12
10	財団法人	奥州市文化振興財団	平成4年4月20日	文化の振興	奥州市水沢区佐倉河字石橋41
11	財団法人	岩手県スキー連盟	平成4年11月24日	スキーの振興	盛岡市大新町3-25
12	財団法人	金ヶ崎町生涯スポーツ事業団	平成5年11月22日	生涯スポーツの振興	胆沢郡金ヶ崎町西根森山31-2
13	社団法人	岩手県PTA連合会	平成12年7月17日	PTA活動の振興	盛岡市みたけ3-38-20(岩手県青少年会館内)
14	財団法人	北上市文化創造	平成15年2月13日	文化の振興	北上市さくら通り2-1-1

参考資料

6 県教育委員会が所管する公益法人・公益信託等

【特例民法法人】

番号	種別	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	財団法人	高村記念会	昭和40年11月4日	高村光太郎記念館の管理	花巻市花城町4-28（総合花巻病院内）
2	財団法人	岩手育英奨学会	昭和42年7月14日	育英奨学	盛岡市内丸10-1（県教委教育企画室内）
3	社団法人	岩手県文化財愛護協会	昭和44年7月1日	文化財愛護思想の普及	盛岡市上田字松屋敷34（県立博物館内）
4	社団法人	久慈学校給食協会	昭和47年3月24日	学校給食関係事業	久慈市寺里30-77
5	財団法人	大船渡市体育協会	昭和47年4月24日	体育振興	大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）
6	財団法人	岩手県退職教職員互助会	昭和48年7月3日	教育文化の振興	盛岡市大通1-1-16
7	社団法人	岩手県芸術文化協会	昭和50年7月21日	芸術文化の振興	盛岡市内丸13-1（県民会館内）
8	財団法人	九戸教育施設運営会	昭和51年1月28日	教育施設の管理	九戸郡九戸村大字山根5-95
9	財団法人	宮沢賢治記念会	昭和51年5月28日	文化遺産の管理保全	花巻市鍛冶町4-13
10	財団法人	紫波社会体育振興会	昭和51年12月20日	社会体育の振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
11	社団法人	奥州市体育協会	昭和54年10月22日	体育・スポーツの振興	奥州市水沢区秋葉町24-3
12	財団法人	滝沢村体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	岩手郡滝沢村大字鶴岡字御庭田1-1
13	社団法人	一関市体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3
14	財団法人	岩手町体育協会	昭和57年3月29日	体育・スポーツの振興	岩手郡岩手町大字子抱4-12
15	財団法人	紫波町体育協会	昭和58年3月23日	体育・スポーツの振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
16	財団法人	雫石町体育協会	昭和58年4月30日	体育・スポーツの振興	岩手郡雫石町第1地割字高前田104
17	社団法人	久慈市体育協会	平成元年1月23日	体育・スポーツの振興	久慈市新中の橋4-13-3
18	財団法人	宮古市体育協会	平成元年5月22日	体育・スポーツの振興	宮古市小山田2-1-1
19	社団法人	岩手県ピアノ音楽協会	平成3年3月20日	芸術文化の振興	盛岡市緑が丘2-2-11 カーサ・ヴェルデ102
20	財団法人	花巻市体育協会	平成6年3月22日	スポーツの振興	花巻市城内1-43
21	社団法人	深澤紅子野の花美術館	平成8年3月21日	画家深澤紅子の業績の公開展示	盛岡市紺屋町4-8

【公益信託】

名称	許可年月日	目的・事業	受託者	受託者
公益信託田村清蔵記念奨学基金	昭和57年8月25日	育英奨学	田村 清蔵	三菱UFJ信託銀行株式会社

参考資料

7 県教育関係諸団体

7 県教育関係諸団体（平成26年5月1日現在）

No.	団体名	事務局所在地	事務局電話番号	代表者
1	岩手県小学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-623-8955	陣ヶ丘 安 雄
2	岩手県中学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-622-0572	中 村 雅 英
3	岩手県高等学校長協会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	高 橋 廣 至
4	岩手県小中学校副校長会	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-651-2858	大 森 正 章
5	岩手県高等学校副校長協議会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	佐 藤 有 有
6	岩手県小学校教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	多 田 英 史
7	岩手県中学校教育研究会	盛岡市上田2-1-1 上田中学校内	019-623-4237	佐 藤 嘉 彦
8	岩手県高等学校教育研究会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5101	土 川 敦
9	岩手県小規模・複式学校教育研究連盟	岩手町川口41-145-2 北山形小学校内	0195-62-9152	佐々木 則 子
10	岩手県高等学校定時制通信制教育協会	盛岡市上田2-3-1 杜陵高等学校内	019-652-1813	菊 池 和 豊
11	岩手県学校保健研究会	紫波町稲藤字牡丹野5-1 紫波第三中学校内	019-673-7305	西 川 勝 夫
12	岩手県学校給食研究会	盛岡市長田町16-1 河北小学校内	019-622-6256	稲 垣 キツ子
13	岩手県公立小中学校事務職員研究協議会	盛岡市玉山区下田字下田106 渋民中学校内	019-683-2150	高 橋 広 道
14	岩手県公立学校事務長会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5102	川 村 隆 夫
15	岩手県公立高等学校事務職員協会	遠野市六日町3-17 遠野高等学校内	0198-62-2823	千 葉 喜久夫
16	岩手県特別支援学校連絡協議会	盛岡市北山1-10-1 盛岡視聴覚支援学校内	019-624-2986	高 橋 勉
17	岩手県特別支援教育研究会	盛岡市本町通2-18-1盛岡仁王小学校内	019-623-4214	多 田 英 史
18	岩手県国公立幼稚園協議会	北上市和賀町長沼6-6-3 藤根幼稚園内	0197-46-2322	佐 藤 拓 美
19	一般社団法人岩手県私立幼稚園連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	坂 本 洋
20	一般社団法人岩手県私学協会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	小田島 順 造
21	岩手県市町村教育委員会協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会総務課内	019-651-4111	八 巻 恒 雄
22	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	盛岡市大沢川原3-5-18 盛岡医療福祉専門学校内	019-624-8600	龍 澤 正 美
23	一般社団法人岩手県PTA連合会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6444	金 谷 茂
24	岩手県高等学校PTA連合会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-625-6386	内 舘 茂
25	岩手県特別支援学校PTA連合会	盛岡市手代森6-10-14 盛岡となん支援学校内	019-623-3907	石 川 聡
26	岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会	一関市滝沢字水口103-2 一関市立真滝幼稚園内	0191-21-2156	登 嶋 高 志
27	岩手県私立幼稚園PTA連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	中 島 伊 織
28	岩手県私立小中高等学校保護者会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	及 川 えり子
29	岩手県子ども会育成会連絡協議会	矢巾町又兵衛新田7-214-7	019-697-4957	三 浦 保 治
30	岩手県生涯学習振興協会	花巻市北湯口2-82-13 生涯学習推進センター内	0198-27-4555	高 橋 寛
31	岩手県図書館協会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	酒 井 久美子
32	岩手県青年団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6412	高 橋 蔵
33	(特活)岩手県地域婦人団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-648-6620	及 川 公 子
34	岩手県ユネスコ協会連盟	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	三田地 宣 子
35	岩手県社会教育連絡協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会生涯学習スポーツ課内	019-651-4111	大 橋 清 司
36	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	千 葉 仁 一
37	ボーイスカウト岩手県連盟	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1995	末 永 正 志
38	ガールスカウト日本連盟岩手県支部	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1153	平 井 ふみ子
39	一般社団法人岩手県文化財愛護協会	盛岡市上田字松屋敷34 県立博物館内	019-661-9688	佐 藤 宏
40	岩手県読書推進運動協議会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	酒 井 久美子
41	岩手県中学校文化連盟	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-604-0126	小 岩 和 彦
42	岩手県高等学校文化連盟	盛岡市津志田26-17-1 盛岡第四高等学校内	019-635-1068	工 藤 良 裕
43	岩手県中学校体育連盟	盛岡市愛宕町1-1 下小路中学校内	019-651-1942	作 山 雅 宏
44	岩手県高等学校体育連盟	盛岡市高松4-17-16 盛岡第三高等学校内	019-661-8115	和 山 博 人
45	公益財団法人岩手県体育協会	盛岡市青山4-13-30	019-648-0400	達 増 拓 也
46	岩手県生涯スポーツ推進協議会	盛岡市みたけ1-10-1 (公財)岩手県スポーツ振興事業団内	019-641-1127	大 矢 正 昭
47	岩手県学校保健会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局スポーツ健康課内	019-629-6193	石 川 育 成
48	一般財団法人岩手県学校安全互助会	盛岡市本町通2-1-36	019-654-3027	高 橋 嘉 行
49	公益財団法人岩手県学校給食会	盛岡市流通センター北1-12-1	019-638-9429	盛 川 通 正
50	公立学校共済組合岩手支部	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教職員課内	019-629-6126	高 橋 嘉 行
51	一般財団法人岩手県教職員互助会	盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館内	019-622-7762	高 橋 嘉 行
52	財団法人岩手英奨学会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教育企画室内	019-623-2050	原 久 雄
53	公益財団法人岩手県文化振興事業団	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-654-2235	池 田 克 典
54	一般社団法人岩手県芸術文化協会	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-626-1202	柴 田 和 子
55	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	盛岡市みたけ1-10-1	019-641-1127	大 矢 正 昭
56	公益社団法人岩手県私学振興会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-652-0960	龍 澤 正 美
57	岩手県産業教育振興会	盛岡市羽場18-11-1 盛岡工業高等学校内	019-639-7250	阿 部 正 樹

岩手県教育年報 平成25年度版

発行 岩手県教育委員会

編集 岩手県教育委員会事務局教育企画室

所在地 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県庁10階

電話番号 019-629-6106

ファクシミリ番号 019-629-6119

電子メールアドレス DB0001@pref.iwate.jp